

桐生市立小中学校の教育環境に関するアンケート調査結果

1 概要

(1) 実施主体

桐生市教育委員会

(2) 調査目的

桐生市立小中学校適正規模・適正配置審議会において、小中学校における学校規模の適正化や将来を見据えた学校配置の在り方、少子化に対応した魅力ある学校づくりなどについて検討する際の参考資料とするため、保護者、教職員及び児童生徒に対し意識調査を行うものです。

(3) 調査対象

調査種別	調査対象
保護者	① 桐生市立小学校5年生の保護者 ② 桐生市立中学校2年生の保護者 ③ 令和4年度小学校入学予定の未就学児の保護者
教職員	④ 桐生市立小学校の教職員 ⑤ 桐生市立中学校の教職員
児童生徒	⑥ 桐生市立小学校5年生の児童 ⑦ 桐生市立中学校2年生の生徒

(4) 調査方法 各小中学校及び保育園・幼稚園を通じて、調査票を配布・回収

(5) 調査期間 令和3年6月23日（水）～令和3年7月20日（火）

(6) 配布数及び回答数

配布数 3,893 通

回答数 3,679 通

回収率 94.5%

調査種別		配布数	回答数	回収率
保護者	小学校5年生	706	678	96.0%
	中学校2年生	795	728	91.6%
	未就学児童	648	590	91.0%
	計	2,149	1,996	92.9%
児童生徒	小学校5年生	706	699	99.0%
	中学校2年生	795	741	93.2%
	計	1,501	1,440	95.9%
教職員	小学校	153	153	100.0%
	中学校	90	90	100.0%
	計	243	243	100.0%
合計		3,893	3,679	94.5%

(7) アンケート調査結果 別紙のとおり

桐生市立小中学校の教育環境に関するアンケート調査結果

目 次

1	桐生市立小学校5年生の保護者	1
2	桐生市立中学校2年生の保護者	23
3	令和4年度小学校入学予定の未就学児の保護者	41
4	桐生市立小学校の教職員	63
5	桐生市立中学校の教職員	81
6	桐生市立小学校5年生の児童	97
7	桐生市立中学校2年生の生徒	107

《調査結果の見方》

- ・調査結果について、構成比を表すグラフまたは集計表の場合、小数点第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを表記しています。このため、数値の合計が100.0パーセントにならない場合があります。

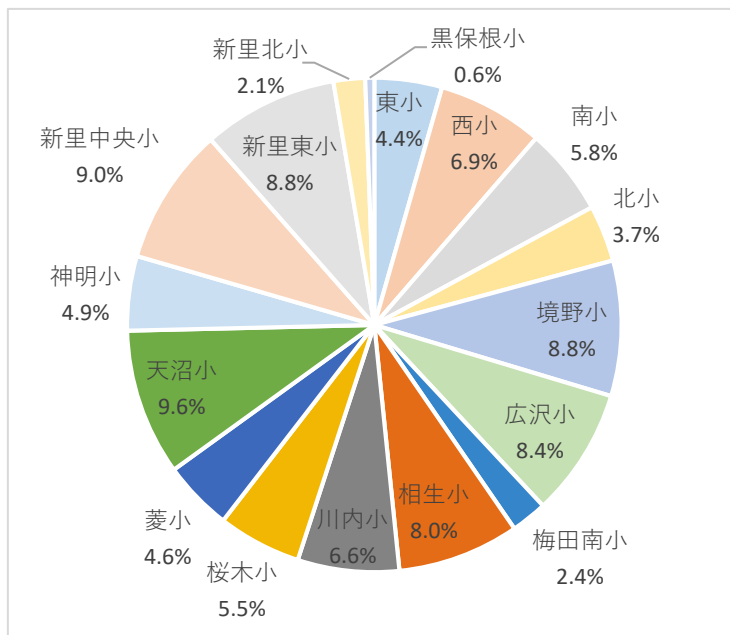
保護者（小学校5年生）集計結果

1 あなたのお子様のことについてうかがいます

問1 あなたのお子様に通っている小学校の名前を選んでください。（1つ選択）

（単回答）

学校名	回答数	割合
東小	30	4.4%
西小	47	6.9%
南小	39	5.8%
北小	25	3.7%
境野小	60	8.8%
広沢小	57	8.4%
梅田南小	16	2.4%
相生小	54	8.0%
川内小	45	6.6%
桜木小	37	5.5%
菱小	31	4.6%
天沼小	65	9.6%
神明小	33	4.9%
新里中央小	61	9.0%
新里東小	60	8.8%
新里北小	14	2.1%
黒保根小	4	0.6%
回答者総数	678	100.0%



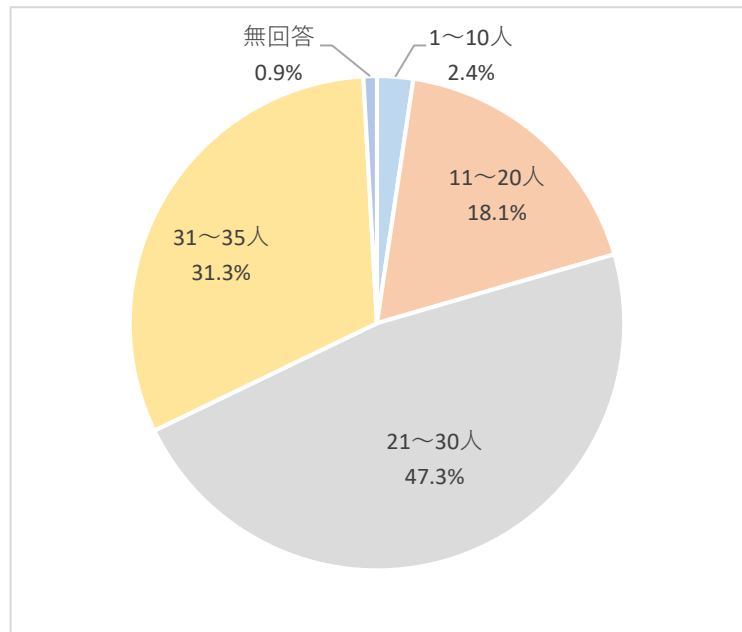
2 学級の人数と、その印象についてうかがいます

問2 あなたのお子様の学級には、何人の児童がいますか。（1つ選択）

1学級の人数については、「21～30人」の割合が最も高く（47.3%）、次いで「31～35人」（31.3%）、「11～20人」（18.1%）となっている。

（単回答）

選択肢	回答数	割合
1～10人	16	2.4%
11～20人	123	18.1%
21～30人	321	47.3%
31～35人	212	31.3%
無回答	6	0.9%
回答者総数	678	100.0%

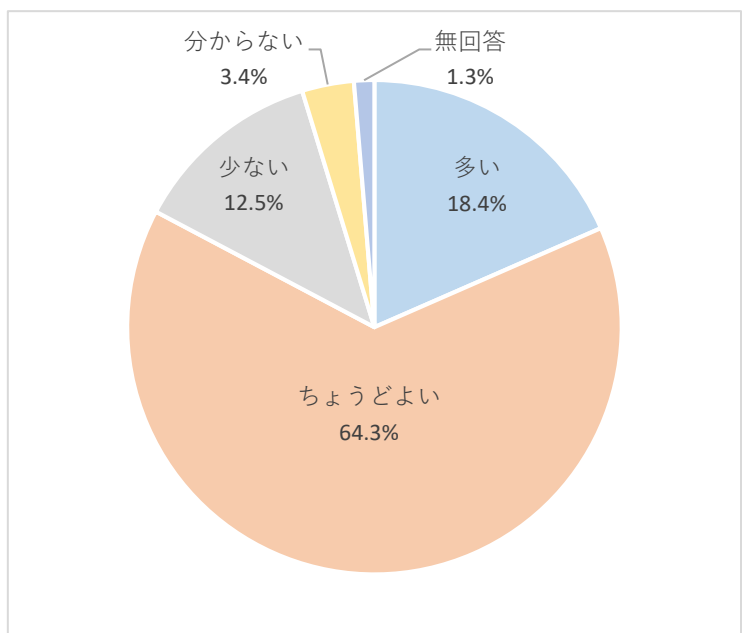


問3 あなたのお子様の学級の児童数について、どのように感じていますか。（1つ選択）

1学級の人数の印象については、「ちょうどよい」の割合が最も高く（64.3%）、次いで「多い」（18.4%）、「少ない」（12.5%）となっている。

（単回答）

選択肢	回答数	割合
多い	125	18.4%
ちょうどよい	436	64.3%
少ない	85	12.5%
分からない	23	3.4%
無回答	9	1.3%
回答者総数	678	100.0%

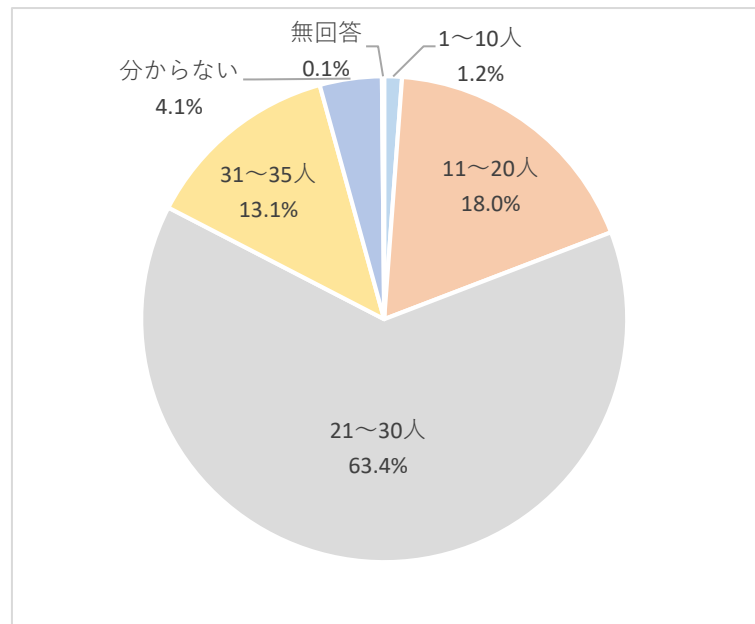


問4 小学校の一つの学級には何人くらい児童がよいと考えますか。(1つ選択)

1学級の理想的な人数については、「21～30人」の割合が最も高く(63.4%)、次いで「11～20人」(18.0%)、「31～35人」(13.1%)となっている。

(単回答)

選択肢	回答数	割合
1～10人	8	1.2%
11～20人	122	18.0%
21～30人	430	63.4%
31～35人	89	13.1%
分からない	28	4.1%
無回答	1	0.1%
回答者総数	678	100.0%



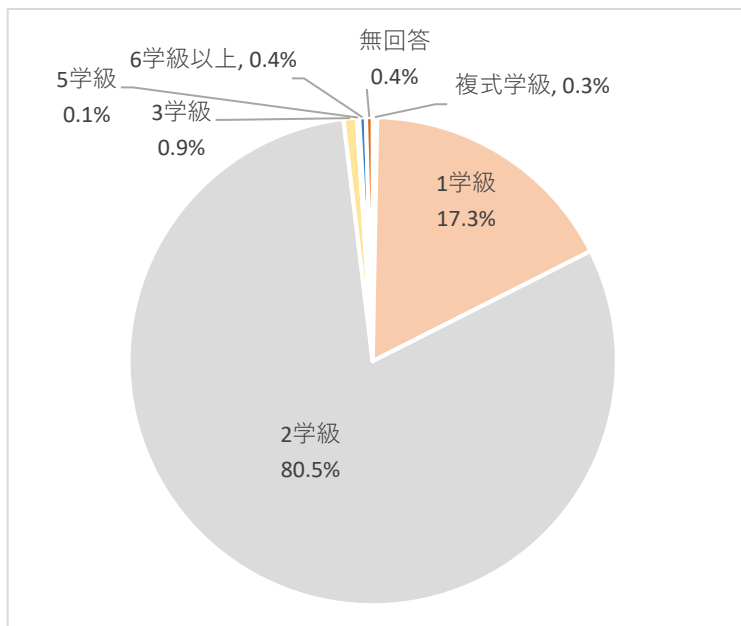
3 学級数についてうかがいます

問5 あなたのお子様の学年には、学級がいくつありますか。（1つ選択）

1学年の学級数については、「2学級」の割合が最も高く（80.5%）、次いで「1学級」（17.3%）となっている。

（単回答）

選択肢	回答数	割合
複式学級	2	0.3%
1学級	117	17.3%
2学級	546	80.5%
3学級	6	0.9%
4学級	0	0.0%
5学級	1	0.1%
6学級以上	3	0.4%
無回答	3	0.4%
回答者総数	678	100.0%

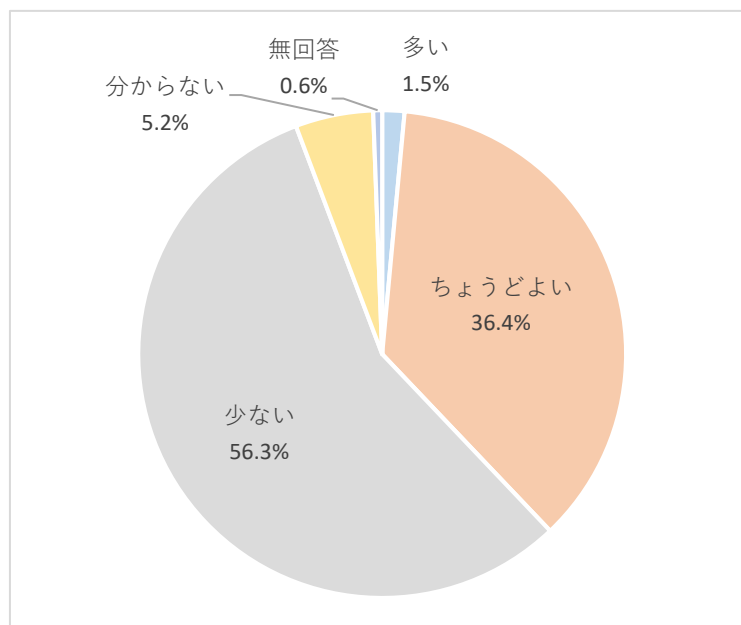


問6 あなたのお子様の学年の学級数について、どのように感じていますか。（1つ選択）

1学年の学級数の印象については、「少ない」の割合が最も高く（56.3%）、次いで「ちょうどよい」（36.4%）となっている。

（単回答）

選択肢	回答数	割合
多い	10	1.5%
ちょうどよい	247	36.4%
少ない	382	56.3%
分からない	35	5.2%
無回答	4	0.6%
回答者総数	678	100.0%

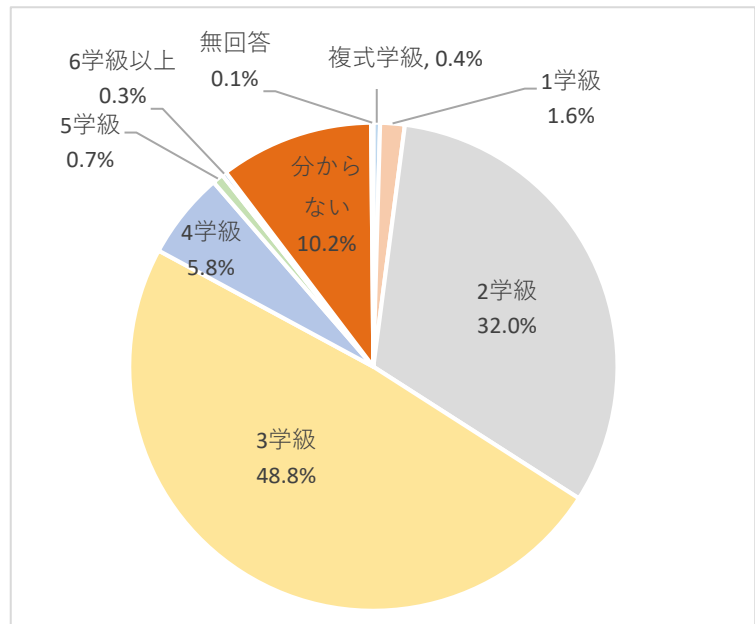


問7 小学校の一つの学年にはいくつの学級があればよいと考えますか。(1つ選択)

1学年の理想的な学級数については、「3学級」の割合が最も高く(48.8%)、次いで「2学級」(32.0%)、「分からない」(10.2%)となっている。

(単回答)

選択肢	回答数	割合
複式学級	3	0.4%
1学級	11	1.6%
2学級	217	32.0%
3学級	331	48.8%
4学級	39	5.8%
5学級	5	0.7%
6学級以上	2	0.3%
分からない	69	10.2%
無回答	1	0.1%
回答者総数	678	100.0%



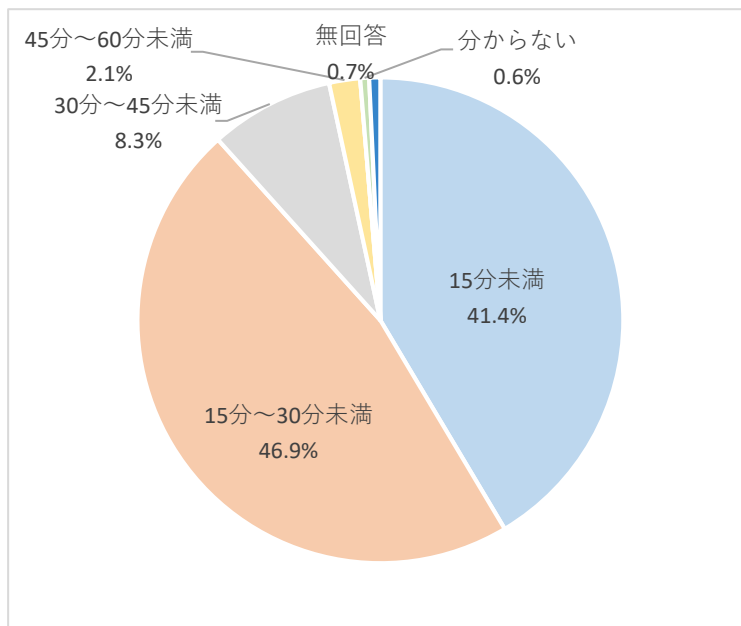
4 通学環境についてうかがいます

問8 あなたのお子様の通学には、どれくらいの時間がかかりますか。(1つ選択)

通学時間については、「15分～30分未満」の割合が最も高く(46.9%)、次いで「15分未満」(41.4%)となっている。

(単回答)

選択肢	回答数	割合
15分未満	281	41.4%
15分～30分未満	318	46.9%
30分～45分未満	56	8.3%
45分～60分未満	14	2.1%
60分以上	0	0.0%
分からない	4	0.6%
無回答	5	0.7%
回答者総数	678	100.0%

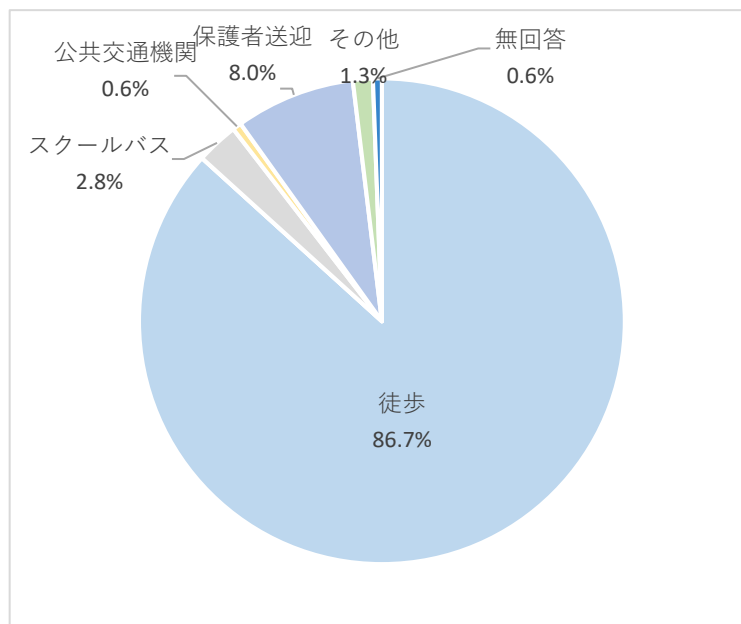


問9 あなたのお子様は、主にどのような方法で通学していますか。(1つ選択)

通学方法については、「徒歩」(86.7%)の割合が最も高くなっている。

(単回答)

選択肢	回答数	割合
徒歩	588	86.7%
自転車	0	0.0%
スクールバス	19	2.8%
公共交通機関	4	0.6%
保護者送迎	54	8.0%
その他	9	1.3%
無回答	4	0.6%
回答者総数	678	100.0%

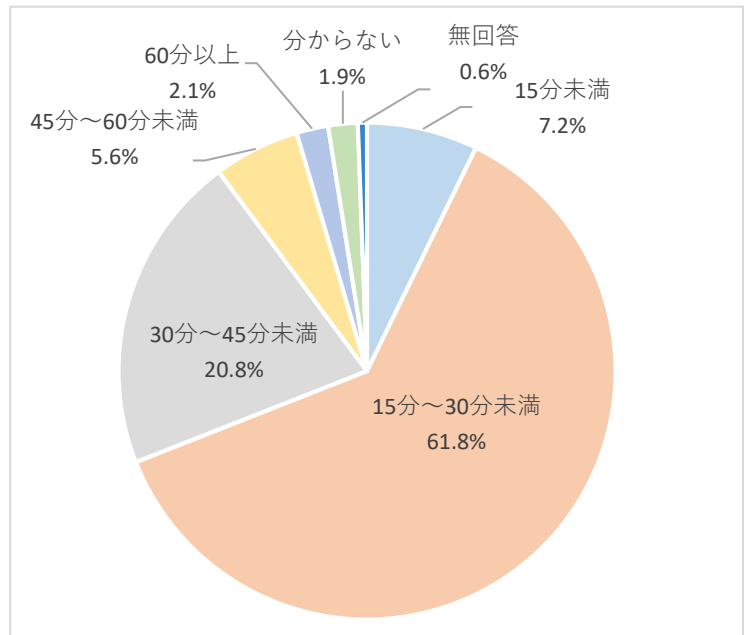


問10 小学生にとって通学の限度（最長）と思われる時間はどのくらいですか。
 (1つ選択)

通学時間の限度については、「15分～30分未満」の割合が最も高く（61.8%）、次いで「30分～45分未満」（20.8%）となっている。

(単回答)

選択肢	回答数	割合
15分未満	49	7.2%
15分～30分未満	419	61.8%
30分～45分未満	141	20.8%
45分～60分未満	38	5.6%
60分以上	14	2.1%
分からない	13	1.9%
無回答	4	0.6%
回答者総数	678	100.0%

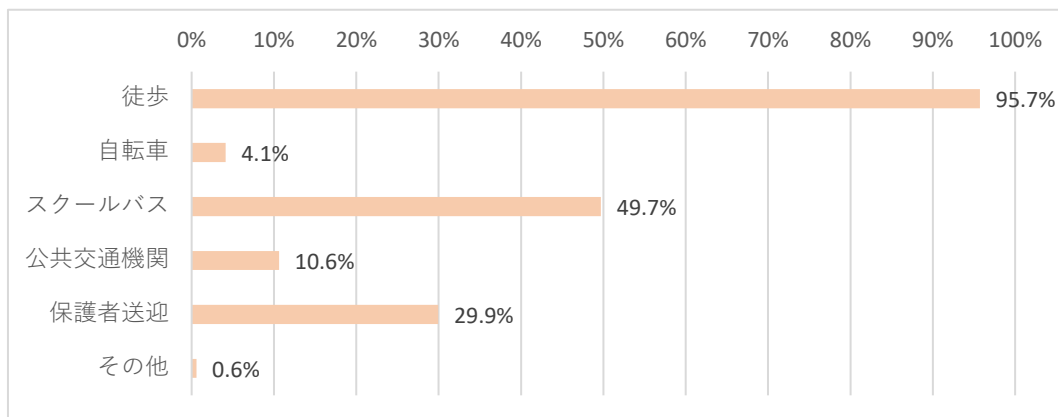


問11 小学生が通学するのに考えられる方法はどれですか。（あてはまるもの全て選択）

小学生が通学するのに考えられる通学方法については、「徒歩」の割合が最も高く（95.7%）、次いで「スクールバス」（49.7%）、「保護者送迎」（29.9%）となっている。

（複数回答）

選択肢	回答数	割合
徒歩	649	95.7%
自転車	28	4.1%
スクールバス	337	49.7%
公共交通機関	72	10.6%
保護者送迎	203	29.9%
その他	4	0.6%
回答総数	1,293	



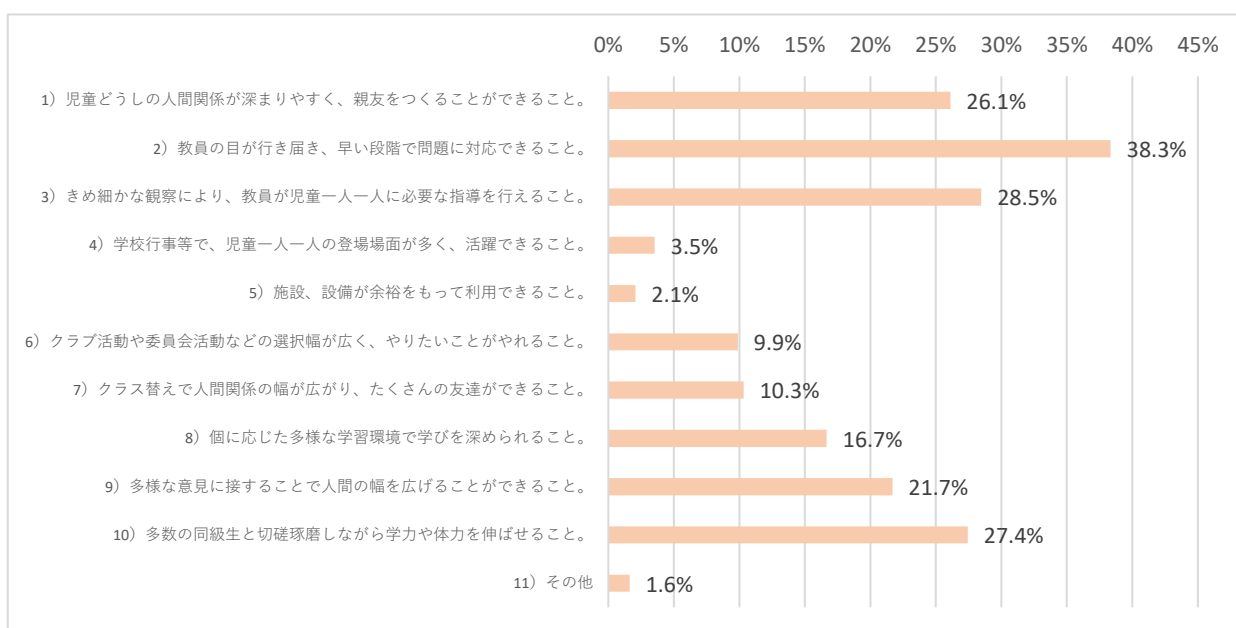
5 学校規模に関わる教育環境についてうかがいます

問12 小学校に期待することは何ですか。（あてはまるもの上位2つ選択）

小学校に期待する事項については、「教員の目が行き届き、早い段階で問題に対応できること。」の割合が最も高く（38.3%）、次いで「きめ細かな観察により、教員が児童一人一人に必要な指導を行えること。」（28.5%）、「多数の同級生と切磋琢磨しながら学力や体力を伸ばせること。」（27.4%）となっている。

（複数回答）

選択肢	回答数	割合
1) 児童どうしの人間関係が深まりやすく、親友をつくることができること。	177	26.1%
2) 教員の目が行き届き、早い段階で問題に対応できること。	260	38.3%
3) きめ細かな観察により、教員が児童一人一人に必要な指導を行えること。	193	28.5%
4) 学校行事等で、児童一人一人の登場場面が多く、活躍できること。	24	3.5%
5) 施設、設備が余裕をもって利用できること。	14	2.1%
6) クラブ活動や委員会活動などの選択幅が広く、やりたいことがやれること。	67	9.9%
7) クラス替えて人間関係の幅が広がり、たくさんの友達ができること。	70	10.3%
8) 個に応じた多様な学習環境で学びを深められること。	113	16.7%
9) 多様な意見に接することで人間の幅を広げることができること。	147	21.7%
10) 多数の同級生と切磋琢磨しながら学力や体力を伸ばせること。	186	27.4%
11) その他	11	1.6%
回答総数	1,262	

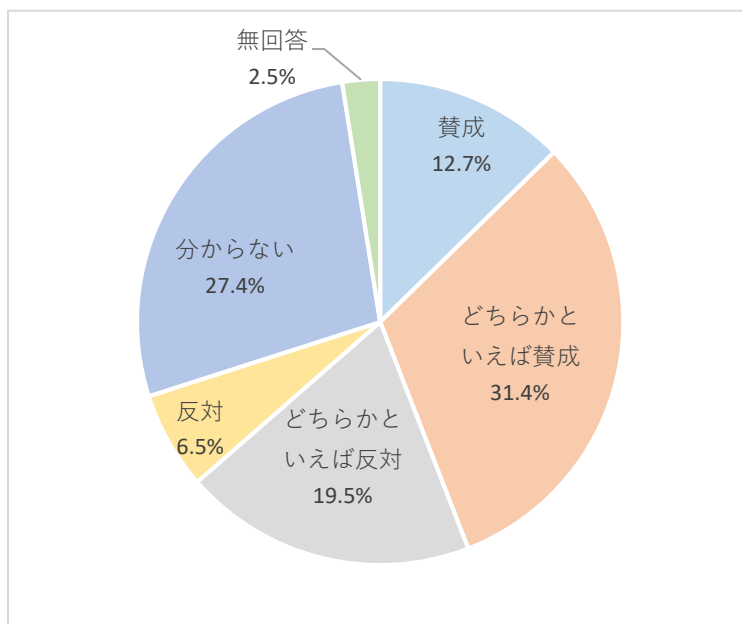


問13 小中学校の小規模化への対応として、学校の統合を進めている自治体もあります。
このような対応についてどのように考えますか。(1つ選択)

学校の統合に関する考えについては、「どちらかといえば賛成」の割合が最も高く(31.4%)、次いで「分からない」(27.4%)、「どちらかといえば反対」(19.5%)となっている。

(単回答)

選択肢	回答数	割合
賛成	86	12.7%
どちらかといえば賛成	213	31.4%
どちらかといえば反対	132	19.5%
反対	44	6.5%
分からない	186	27.4%
無回答	17	2.5%
回答者総数	678	100.0%



【問14】 桐生市の教育環境の充実や学校規模の適正化等についてどのように考えますか。

(自由記述)

- ・様々なことに挑戦・経験できるような機会があるといいなと思います。少人数だと難しいのかもしれませんが、選択の幅が狭まらないような環境であってほしいです。
- ・町中の小学校はほとんどが小規模校であると思われるので、統廃合の議論がされるのは仕方がないと考えています。しかし、統廃合することで通学距離が長くなると小学生（特に低学年）には行き来が大変となるほか防犯上の心配も高まるため、それらの対策にも配慮していただければと思います。また、授業の中で「街なか探検隊」といった地域学習が行われており、地域愛を生み出して、将来の定住やコミュニティーの形成につながる良い機会と捉えています。統廃合によって地域学習の場が児童の住む地域から離れてしまうことでその効果が薄れてしまうことを心配しています。単に統廃合ありきで議論を進めるのではなく、定住・移住促進等の部署と連携をとって児童数の確保、小学校の存続に努めていただければと思います。
- ・体を動かせる公園や広場が少ない。ボールを使って自由に遊べるところが近くにない。
- ・多数の小学校から集まった子供がいる中学校で、小学校の段階で授業内容の学びの差が無いよう配慮しているのか不安。学校ごとで習わないまま中学校へ行くことで他校の生徒にバカにされたり、いじめ対象等ならないか。対処をきちんとしてほしい。
- ・子供が減っているから、統合も仕方ないと思う。
- ・人数的な統合は仕方ないが、通学に時間がかかるようになるのは困る。送迎も毎日行き帰りはできません。
- ・学校の統合などで環境が変わることには少し不安があります。児童の数が増えることで教員の目が行き届かないところが出てこなければいいなと思います。
- ・小学校の統合の情報もうかがっています。少人数で無理を続けるよりも選択肢としては適切かと思います。
- ・クラスの人数は抑えつつも、クラス数は2クラス以上であってほしい。中途半端な少人数化は孤立を生むことにつながる。県内他市と比較して教育環境に恵まれていないように感じる。タブレット等の普及の遅れや給食に対する考え方など。
- ・学校の統合により、通学距離が長くなることや時間がかかることはなるべく少ない方がよいと思います。家庭学習・時間等考えると、少ない移動の時間が望ましいです。寝る時間が遅くなってしまうことで子供たちは疲れてしまっています。
- ・桐生市には、自然・文化・歴史・スポーツ・風土・芸術等々他の市町村に引けを取らない豊かな教育資源があるにもかかわらず、それらを地元で学ぶ児童生徒の学びに生かされていないと感じます。特に小学生で地域について学ぶ際に、もっと内容を充実させられると思う。また、芸術、文化、スポーツ面で子供たちに「本物」に触れる機会があればうれしいです（現状では関心ある家庭が各々環境を整えるしかない。我が家ではわざわざ他の市町村で行われるイベントやコンサートへ行くなどしています）

- ・いつもお世話になっております。これからも子供たちが安心して楽しく学校生活を送れるよう見守っていただけたらと思います。よろしく願いいたします。
- ・統廃合を予想しての論議はよいが、子供の数を増やすような政策を考えるべきでは？
- ・ほどよい人数がいる中では競争心や人間関係の関わり方を様々な視点で学べ、社会人になったときのための順応性を養っていけるのではないかと思います。
- ・統合自体に反対ではありませんが、通学距離が長くなるのは賛成できません。スクールバスなどの拡充がなければ、交通事故の確率も上がると思いますし、特に体力のない低学年のお子さんが置き勉禁止の中、長い距離を通学するのは危険で心配です。統合によっておこるデメリットについて反対する気持ちです。
- ・スクールバスなど安全で保護者・児童の通学負担が少ない方法をとった上ならば学校数を減少して、多数の同級生と関り、にぎやかな行事が行えるとよいと思います。教員も本当に良い先生だけが残ってほしいです。
- ・教科担当制は小学生にはまだ早い気がしました（経験してみても）。教科の進み具合や教科ごとの宿題を担当が把握できていなく児童が質問してもわかりませんでした。小学生の間はまだ自分で管理が完璧に難しいところです。担任の先生の存在もとても大きいです。小中学校をひとつくり考えるのではなく、その年齢に合わせた学校の在り方をお願いしたいです。よろしく願いいたします。
- ・子供が減っている中ですが、だからと言って統合をすることが子供たちにとってはマイナスとなる要素がたくさんあるのではないかと考えています。人数が増える分、担任の先生方の目が一人一人に行き届かなくなり、個人のもめごとやいじめなどが増えると思います。通学にしても統合をするということになるとそれだけ通学にも時間がかかり、保護者への負担も増えると思います。小規模化をするのではなく、子供たち一人ひとりと向き合える環境を作っていただきたいです。
- ・教科担任制は、先生方の負担を少なくするとともに、より深く学ぶことができ、また、担任以外の先生とのかかわりを持つことができるのでとても良い取り組みだと思います。学級数が少ないと先生の数も限られていて教科担任制は難しく、クラス替えが無いと子供たち同士の付き合いも広がりようがなく感じます。ただ学校は地域のコミュニティの場でもあるので、容易になくしたり合わせたりはできないようにも思います。
- ・教育行政の再考。無記名とあるが、封筒にクラスの出席番号が付記されている点には理解に苦しむ。上記内容に集約されているとの思慮。上位環境を求めるなら同市を選択に入れない現状。

- ・上の子の時に統合がありましたが、子供同士打ち解けきれずに大きなもめごとに発展することがありました。少子化の昨今、合理化のため統合は致し方ないと思います。しかし、行うのであれば、統合して子供たちが全員卒業するまで心の変化を見守ってほしいですし、時には細かくモニタリングしてほしいと考えます。現場の先生任せではなく、自治体の方でしっかりと問題が起きたときに対処していただけるといいと思っています。少子化であるからこそ子供たち一人ひとりの心の成長にも目を配れる桐生市であってほしいと期待しています。
- ・学校の統合について「どちらかという賛成」にマークしたが、「賛成」というより「仕方がない」という気持ちだ。梅田地区のように登下校にスクールバスを使えば少し遠くても安心して通わせることができると思う。中学については自転車通学もできるのであまり規模が小さいよりは部活動や友達を選べる規模がよいと思う。ただ、あまり大きくなり、教職員が把握しにくくなると非行の心配も出てくると思うので、1学年3クラスくらいまでがよいと思う。
- ・公立の幼稚園が少なく、人間関係を作る際に小学校入学からなじめるか不安がある。もっと地域に根付いた教育環境を考えていただきたい。
- ・各学校によって設備の老朽化が目立つところがある。小中学校の統合により集約と設備の改修などを上手にやってほしい。
- ・学級数が少ない中にも良いところがあり、多数ある中にも良いところがあり、迷うところが多々ありますが、大人の都合でなく、1番は、未来ある子供たちのことを考えてほしいと強く願います。世界は広いことを知ってほしいです。マニュアルだけが正しいわけではないと考えています。
- ・上記（統廃合への賛否）について特にありません。桐生市の人口が増えることを望みます。
- ・学校によって雰囲気がいぶ違うように見受けられます。教育環境は規模だけの適正化では測れないものもあると思います。今の学校の雰囲気を今後も大切にしていってほしいので、学校の統合は数字だけで決めないでほしいです。慎重にご検討をお願いします。
- ・6年間1学級というのは友人関係の経験値が低くなってしまっていると思います。
- ・無理に統合しなくていいと思います。今回のコロナ感染症などがあったときの対応ができるのかが心配です。働く親のことも考えてほしい。勉強が遅れる。
- ・適正化の推進は、生徒数の減少などを考えると理解できる。子供のことを考えると、安全に通学できること、先生方がしっかりと生徒を見て成長のサポートをしていただける環境を作っていただきたいです。
- ・前橋市等のようにタブレットを使用した方法を取り入れてほしいです。
- ・教員の目が行き届くように教員の人数を増やしてほしい。タブレットの使用をもっと有効的に多く使用してほしい。スクールカウンセラーの来校日をもっと増やしてほしい。プールと更衣室をきれいにしてほしい。

- ・統合となると通学にかかります。通学路がもっと整備されるとよいなと思います。
(ガードレール等)
- ・1クラス当たりの児童の人数をもっと少なくして、学級数を増やしたほうが良いと思います。日常的に接する児童(友達)の人数が今より少なくなると思うので、クラス間の交流(合同授業など)を増やすのが良いと思います。学校教育は古すぎるので、もっともっともっと新しいことを取り入れて教育すべきだと思います。
- ・小規模ではけんかをしたりいじめにあった場合に困ります。大規模すぎると先生の目が届きません。先生が忙しく指導が行き届かないのでは…?
- ・子供が少ないので統合も良いと思いますが、今は昔と違い不審者などが多いと、通学距離を考えると学校から遠い子供は危ないから心配だけど、だからと言ってクラスが少ないといういろいろな子供との関係が上手に付き合えなくていろいろな人との接し方ができなくなってしまうのもどうかなと思う。
- ・今現在生徒数は減少しているけれど、その学校に応じたやり方や対応で他の学校に合わせるのではなく現場に合った対応で進めていただきたい。市内にはたくさんのやり方が個々に違っていても良いと思います。学校には子供が勉強を学べる環境であってほしいと思います。
- ・いつもお世話になっております。教育に力を入れている市は、人口が増えると確信しています。正直に申し上げますと、教育環境が充実している太田市へ友人の多くが引越しをしています。とても残念に思います。外部の教育機関などと協力して桐生市の教育が、より魅力的であるものになることを願っております。(たとえば英語教育活動において海外との交流を活発に行うなど)子供たちの未来、桐生市の未来のために何卒よろしくお願いいたします。
- ・桐生市内の小学校で、教え方や考え方など違う学校の保護者と話す機会があると、随分と違うと感じることが多々ある。学校の特徴といえばよいのかもしれないが、統一されていないような気がします。例えば行事、授業参観、最低限の宿題(長期休暇を含む)の量などです。
- ・3年前に広沢小2学年で行われていた「インクルーシブエデュケーション」の行方はどうなったのでしょうか?方向性は素晴らしかったのに、続けないのでは、子供たちも先生方も学級運営のあまりの違いに混乱してしまうし、とてももったいないと感じています。低学年では特にクラスの児童数が多いことで担任の負担はとて大きいのではないのでしょうか?学校は単純に大きければよい学びの環境になるわけではないと感じています。子供3人のうち上2人が学校に合わず家庭で過ごしています。学びの選択肢の充実、先生方の事務仕事等の軽減(ボランティア、有償のお手伝いなど桐生には群大生や桐生大の学生がたくさんいますよ!!)等大切だと思います。

- ・オンライン授業の環境をどんどん進めてほしい（今後感染症の状況がすぐに良くなるとは思えないため）。
- ・授業中はもちろんですが、休み時間の中でのけがや体の不調などがあった場合は、速やかに家庭への連絡を取ってほしい。
- ・統合を進めることは予算が抑えられてよいことなのかなとは思いますが、新型コロナウイルス等もあり、大規模、密集をなるべく避けて、小規模化、分散させて、各校が連携できる環境づくりができれば、それを市主導で全ての学校が情報共有できれば良いなとも考えます。子供は学区内の決まった学校が人生の全てなのだと、どうしても思ってしまうのですが、自分の学校の他にも学校はある、と知るのもいいのかもしれません。多様性のある世の中なので、子供（あるいは親）が選べるといいなと思いました。
- ・生徒が減少する中で小学校の統合もやっていくしかないと思います。ある程度の規模や人数が確保されなければ、集団の中で多様な考えに触れる機会を確保することも難しいと思います。なお、小学生の自転車通学は危険と思われるので、スクールバスでの対応をお願いしたいと思います。
- ・少子化により、年々小学校の児童数は減っていますが、小学生の時期に居住地から遠い学校への通学というのは、親子ともに負担が大きくなるのではないかと思うので、むやみに統合は進めてほしくないです。
- ・統合により学校が遠くなる場合、安全に登下校できるように考えてほしい。保護者が送迎する場合の駐車場も含めて考えるべきだと思う。
- ・他の市に比べて勉強の進め方が遅いのではないかと思います。
- ・子供が少なく統合をしなければいけないのかもしれませんが、1クラス20人以下として先生が個々の生徒に目を配れるようになってくるといいと思います。（昔よりいじめも増えているので）
- ・学校の統廃合は避けられないと思う。特別支援教育の有難さ、利点等理解し、個人的な現状については問題ないが、「特別支援教育」ということを考えた時、最終的な理想としてはインクルーシブ教育の実現ではないかと思う。学びの場、子供同士の交流の場を隔てることなく、スペシャルニーズな子供への合理的配慮が十分にできるようになってほしいと願う。教育環境の充実にはハード面も大事だが、ソフト面にこそより注意を向けることが必要と思う。
- ・中学校の統合を進めていただきたいです。梅田中学校は現在男の子はバスケットボール部と卓球部の2択です。女の子はバレー部とテニス部の2択です。野球や陸上サッカーとクラブチームに入っている生徒もいます。子供たちにやりたい部活を選択し、やらせてあげたいです。梅田南小に通学していても清流中に行ってしまうお子様も増えています。梅田中1学年10名以下になってしまう未来がすぐ来ってしまうかもしれず、親として心配です。

- ・小5の女の子ですが、中学の通学の関係で、心配事もあります。入学を考えている中学が自宅から遠いことと急な坂が多く、重い荷物を背負っての自転車通学が日々の負担となるのではと心配しています。坂道の少ない別の中学への入学も考え中ですが、一つの提案として通学用の自転車を電動アシスト付自転車も選択可能ならありがたいと思います。降雨時等の自家用車での自転車の持ち運びを考慮すると小型自動車しか所有していないため、折り畳み自転車も選択できるとありがたいです。また、全市的に統合が進むと通学距離が長くなる児童生徒が増えるため、通学時におりひめバスを積極的に活用できるように路線及びダイヤの見直しをご検討いただければと思います。
- ・学校の授業で中学や高校の受験に対応してほしい。
- ・桐生市の出生数が年々減少している現状は理解していますが、他の自治体では増加している市も実際はあります。若い方が桐生市に魅力を感じない現状があります。他自治体と比較したとき、子育ての支援、学校への支援予算を減らしていること、税金が高いことなど…。親同士で他自治体との差を感じたとき、多くの方が桐生市に住みたいと思わないのです。人口が減少しているから、仕方ないという感じ方では、益々桐生市は高齢者ばかりになっていくと感じています。そして、子供たちに負担が生じ、小規模化、統合に進んでしまうのだと思っています。
- ・保護者の意見を聞いていただきありがとうございます。現場の先生方をはじめ、大切な学校生活を送る子供たちが一番安心して集団生活を過ごせるように一番大事にしていきたいです。私は本部役員を長く経験しています。いつか今の教育現状になることは知っていました。現実になった今、時代に合わせて法律の見直しも必要ではないかと考えています。少子化の今、現場に合わせて子供たちを一番にきめてもらえることを願っています。
- ・一つ一つの学校の児童数が減っているのであれば、1クラスの人数を減らすか、補助教員を配置するなどしてサポートを強化してほしいです。息子はADHD傾向が強いのですが、通級するほどではありません。しかし、担任の先生だけでは手が回らないように感じます。家庭でも親が学習サポートをしています。授業中も集中できるように補助教員の必要性を強く感じています。改善を切に望みます。
- ・小学校のクラス人数を聞くと少ないけれど他校の生徒と一緒にになると多いと思う。現在のクラス人数としては適正だと思うけれど、合併して学校設備に力を入れられるならばそれもよいと思う。
- ・25人程度の学級にして教員の数は減らさず、きめ細かい教育をしてほしいと思います。統廃合により居住地域と学校区が離れるのは好ましくありません。近所に友だちがいて、他の住民とも顔の見える街づくりの一環としても考えていただきたいです。

- ・私の時代の小学生のときよりも少子化となり、一クラスの児童の人数は減っているように思いますが、子供の個性が強くて（落ち着きがない、ふざける、歩き出す、騒ぐなど）担任の先生への負担の内容が変化しているように思います。学校で行える教育もありますが、まずは家庭でしっかりと子供と向き合い、時間をとれることも大切だと思います。教育環境の充実、学校規模の適正化を考えるとともに、家庭でのしつけや子供とのかかわり方を再度考え、学校家庭の両者で取り組めるとよいと思いました。個々のレベルに合った教育を受けられると児童全体の学力の向上にもつながると思いました。
- ・6年間クラス替えが無いほどの小規模だと、精神的にダメージを受けたときつらいように思う。大きい地域に分け、スクールバスの利用も視野に入れ、適正配置が行われると保護者の送迎の負担も減りよいと思う。
- ・魅力ある街づくりを進め、子育て世帯の増加を目指し、適正規模の学校が増えて教育環境が充実できたらいいと思う。
- ・私は県外出身ですが、少子化で仕方ないことと思いますが、とても人数が少ないと思います。子供同士のトラブル等少人数過ぎて逃げ場が無くなってしまっているので、少しトラブルがあると殻に閉じこもりやすい気がします。ちなみに、県外出身の私は、小学校45人7クラス中学校50人11クラスあったので、人間関係に何かあっても気にならなかったような気がしました。少なくともうちの子は周りの目がとても気になってしまうようです。
- ・一人1台PCやタブレットを持つのが当たり前になりつつあります。群馬でもGIGAスクールが始まりましたが、コロナがなければここまで急速に整備されなかったのかなとも感じています。本体の確保やネット環境の構築など大変なことは重々承知していますが、先手先手で新しいことをどんどん取り入れてほしいです。リモート授業やデジタルで課題を配信、提出ができるようになることを期待しています。また、PC、タブレットや周辺機器、デバイス等の基礎知識（扱い方や名称）の勉強やタイピングの授業があってもよいと思います。ネット検索や動画視聴で終わりではもったいないです。
- ・統合することにより自宅から学校までの通学に時間がかかってしまうことや人間関係が難しくなり、不登校になってしまう子がいると思う。小学校から中学校に進学する際、いくつもの小学校が統合して一つの中学校になるなど…。
- ・担任制を廃止し、教諭による責任の分散をやめること。少子化という現実を踏まえ、PTAと育成会の解散。誰でもトイレ（トランスジェンダー、車いす等）の設置。支援クラスと協力クラスの差別化の廃止（同じ学年のクラスメートとして同じ教室にランドセルを置く）。のびのびクラス（通常の授業についていけない子供のために放課後火（算）水（国）木（理）金（社）等居残り授業）があるとよい。

- ・通級教室がそれぞれの学区内にあるとよい（支援学校まで通うのに親の負担が大きい）。通級支援コーディネーター、スクールカウンセラー、担任、かかりつけ医との連携がないと感じる。何か問題があっても各それぞれに相談するしかなく、最終的には親が悩み苦しみを解決していくしかない。もっと学校全体、社会全体で子育てを支援していただきたいと思います。育成会廃止。活動が親の負担が大きく時代に合っていない。
- ・コロナ禍でPC一人一台に向けて計画が進んでいるとは思いますが、身体や心の成長への影響を考えながら進めてほしいと思います。電磁波等が心配です。
- ・運動会等行事が人が少なすぎてつまらない。
- ・少子化対策にまずはもっと桐生市には力を入れていただきたいです。やはり人数が多ければ多いほど選択肢は増えると思います。隣の市のみどり市では（笠懸）人数も多くなってきているようで、新しい小学校まで建設されていて本当にすごいことだと思います。親である私たちから見てもみどり市で子育てしたいなと思ってしまうのが本音です。一番魅力に感じてしまうのは給食費が無料なところ。規模を縮小するのは最後の手段だと思いますが、その前に人口を増やす努力をしてみてもどうでしょうか。
- ・1クラスしかない少人数の学校は統合した方がよいと思います。
- ・タブレット学習が個人宅でも早めに行えるように進めてほしい。
- ・桐生市の学校規模は他市に比べ小規模ではありますが、このくらいが先生、生徒、地域の方々と連携がとりやすく、人間同士の関係も深まるためちょうどよい環境だと感じられます。無理にデジタル化や英語教育を押し進めていくのではなく、人間同士が心地よい環境のなかで絆を深めながら学びを深めていくことが理想と考えます。
- ・統合にはどちらかという賛成ですが、現在、コロナが収束していないため、統合により1クラスの人数の増加、学校全体の人数の増加が考えられるので、もう少し先のことではないかと思います。学校も古く、統合する場合は、コロナにも対応できる広さ、環境づくりができる新しい校舎にしてほしいです。（学童も含む）。他の学校ではスクールバスの運転手さんもコロナに感染したりという話も聞きます。子供が安全に学校へ通えること、毎日過ごせることが今は一番大事だと思います。
- ・学校が統合するともっと遠くなり、スクールバスなどの対応が必要になるかもしれません。時間によっては親の通勤時間を変えたりしないといけなくなると大変だなと思います。大人数だと運動会などは盛り上がりすぎるかもしれませんが、今は少人数でひとりひとりをしっかり先生に見てもらった方が安心だと思いますので、あんまり統合しすぎないようにしてほしいと思います。
- ・統合することで通学が大変・危険・心配が増えることはないようにしていただきたいです。
- ・統合はある程度、時代の流れとして仕方ない。求めるものは、一つの学級内でしっかり目が行き届くかどうか。個に応じた多様な学習環境を準備してもらえるか、です。

- ・1クラスしかない子供同士で（親同士も）問題があったときに子供は大変。希望があれば区域で決められている学校ではないところに行けると親としても有り難いと思う（理由が何でも）。給食の時間が短すぎる。TVで最低でもという時間を見たけれど、それ以下でよろしくないと思う。
- ・小中学校の学校規模の適正化については、太田市の中学校と小学校を統合したように、小中一貫校制度の導入を桐生市も検討すべきかと思います。
- ・よく最近の小学生は体力がないといいますが、外で遊ぶのも、ボール遊び禁止の公園ばかりなので、自由に遊ぶことができないと思います。いくら「コロナ禍」と言っても、その前から使えないので、困っていました。夏休み中のプールですらなくなっているという現状です。教育は学問だけではないと思っています。
- ・少子化となっているので、生徒数が少ないのは仕方がないと思います。クラスの生徒数が少ないので目が届きやすいメリットもあると思います。テレビで以前見ましたが、東京の中学校では、担任制をなくして、先生方が学年全員の生徒を見るという方式をとったそうです。これは素晴らしいことだと思いました。個性を伸ばせるような学校教育をやってほしいと思います。
- ・のびのびと成長できる環境であってほしいです。人として大切なことを身に付けてほしい。
- ・5年生で1学級に36人は多いと思います。体も大きくなった児童を担当の先生一人で見るのはとても大変だと思います。
- ・教育環境の充実については、人それぞれ考え方が違います。今のままではだめ、今のままでいいと思う人、どうでもいいと思う人意見がちがうので、それぞれに合わせるのは難しいと思うので、桐生市が考えていることを貫き通すのが一番だと思います。学校規模の適正化も上と同様考えていることを貫き通してください。ダメと言ったらやめるような考えなら、最初からやらない方がいい。
- ・30人以上を1名の先生が見るのは負担が大きい。20～25人くらいでないと先生が大変だと感じる。
- ・タブレットなどを使用した授業に対して対応ができるように学級の人数を20人未満にしてほしいです。
- ・現在の小学校での学校、学級の人数等ちょうどよく感じる。友だち同士の関係も深まりやすく、先生方も目が届くちょうどよい環境と感じます。
- ・小規模校が多くあることにおいて、教員数が保てない大変さはわかるが、その分、生徒一人一人に目が届いているのではないかとも思い、安心して通わせることができている。また、児童生徒数が少人数であるが、親としては友人関係を把握しやすく安心できている側面もあり、学校統合については反対である。

- ・私が子供のころと比べると、1学級の人数がとても少ないですが、教室も広々と使用でき、先生の目も行き届きやすく、とても良いなと感じています。
- ・学習の目的（何のための勉強なのか等）を明確に子供たちに伝えやすい規模感であってほしいです。
- ・小学生のうちには少人数で先生方の目が行き届いた方がよい。先生方が全児童の顔と名前が分かるようなアットホームな中で学校生活を送れている神明小はとてもよいと感じる。
- ・統合をするのかしないのか、地域性的の問題がありますが…例えば2つの小学校が一つの中学校に統合されることでいじめなどの問題が多くなると聞いております。6年間ちがう環境の中で育ってきた中で統一することによってお友達のことを分かり合えないのかなと思います。
- ・学級数で教員数が決まっているのがおかしいと思います。児童一人あたりの教員数を増やすことでよりきめ細かい教育を実行できると思います。
- ・近年の小学生の体格では、旧来より使われてきた校舎では小さいと思います。教室に上級生を30人ほど入れると教室が狭くスペースとして不便ですし、緊急時（自然災害や暴漢の襲来時）の避難の際の行動に制限が多く、リスクです。1つの学級に多くの生徒がいることで出口が混雑して危険です。管理する側にとっても負担です。先生方も生徒が多いことで問題を解けない子に付いてしまい、できる子が放置されている場合もあるようなので、1学級の生徒数を減らし、学級数を増やして教員の人数を増やし、より個々の能力を伸ばせるようにするべきです。
- ・学校施設の老朽化対策について取り組んでほしいです。
- ・学校の統合を進めていくのは児童数が少ないため、仕方がないことだとは思いますが、1クラスの児童数が30人ぐらいだった場合、きめ細かな指導を行っていただけるよう担任の先生を1クラス2名にしていきたいです。
- ・都会と比べ、様々なところで遅れている、学習レベルの差を感じます。英語のクラスは特にレベル分けクラスにする等できないのか？と思います。英会話を習っている子やハーフ家庭もいて、30人程度のクラスで全員同じレベルの授業は時代に合っていないように思います。もっと学校内で子供同士が切磋琢磨できる環境であればと思います。
- ・上記(14)【問12】全て重要なことと思うが、それ以前に通学路の安全について考え、実行してほしい。
- ・何が正解なのか！！今、考えられることをするしかないと思います。
- ・教育環境としては教員の子供への対応の違いが気になります。トラブルが起きても一人の子には話を聞くが、もう一人の子はあまり聞かないなど。授業妨害する子に対し別室に移動させるなどをするべき。きちっと受けている子を巻き込んでまで授業を止めるのはどうなのか。教育環境は決して良くないと思う。

- ・通学の（登下校の）安全、学童利用の充実が図れれば統合もよいと思います。新里東小は学童が長期休み（春・夏・冬休み）のみの利用ができないので不便です。（他の学童ではできるのに春だと3・4月など月単位でしか利用申し込みができません）
- ・具体的にはありませんが、子供がより良い環境の中で育ってほしいのでメリットの多い新しいことはどんどん取り入れてほしいです。
- ・子供が安心して通える環境づくりを心掛けてほしいです。
- ・一人ひとりの子供が生きやすく学びを深めていけるような学校、教育であってほしい。個性を大事にして、一人一人に、生まれて生きていることの素晴らしさを感じて、成長していけるような教育環境の充実を切に願う。
- ・子供たちのことをちゃんと考え、将来必須になる分野にしっかり設備投資してほしい。
- ・桐生市はいつになったら給食費の負担がなくなるのか。教育として塾に通わせたりしたくても家計的負担になっているところもあると思う。前橋他給食費の親の負担はないのに桐生市はいつまで負担し続けるのか。
- ・学童の一般家庭での利用料金をもう少し見直してほしいです。おやつ代や設備費などでいろいろとかかるのかもしれませんが…。利用しやすい料金で家庭の負担も少なく学童の利用者も増えるのかなと思いました。
- ・小中の統合は、少ない児童数では統合しても人間の幅や学力など広がらないように思う。他、中学校と中学校の統合の方が児童数も増え、高校へのステップアップになると思います。小規模は小学生のうちだけでいいのでは…。
- ・小中と合同にすることは、いいことかもしれないが、同学年の人数が増加することにはならない。その中でも男女の偏りはしようがないが、高学年はなるにつれて友達の関係も難しくなってくるし、子供たち同士の情報の仕方が乏しくなってしまう。

○その他意見

【問9】 その他

- ・学区外のため、途中まで車で行き、そこから徒歩で学校へ行き、帰りは帰宅先まで徒歩で。
- ・朝：市バス、帰り：スクールバス
- ・登校：自家用車、下校：徒歩
- ・基本徒歩で行き帰りしますが、たまに迎えに行ったりしています。
- ・登校班まで：車、登校班から：徒歩
- ・登校は徒歩、下校はスクールバス。

【問11】 その他

- ・上記以外の方法があるので選択
- ・我が家は遠いので、低学年のうちは途中まで車で送迎し、そこから徒歩にしました。
- ・高学年になったら、自転車でもよい気がする。

【問12】 その他

- ・指導力、問題意識、向上心、専門性等々教員としての資質を高くお持ちの先生にご指導いただけること。子供たちの可能性を広げ伸ばせるのは学校において教師に他ならない。どの先生に受け持っていていただいても安心して送り出したいと願います。
- ・給食を食べられること（なんぴとも）
- ・まっとうな教諭による指導
- ・インクルーシブ教育の実現
- ・個性を尊重し、のびのびと毎日が楽しい学校環境を望む。圧を感じるような大声などは避けてほしい。
- ・一人の人間として、自分は何ができるのか、どんな人間になりたいのか、教育がないと世界はどうなるのか等。生きるすべを考える時間があること。
- ・学校、クラスを問わず、平等な教育を受けられること。
- ・実体験（実習・実験・体験授業など）を通して人間の幅を広げること。
- ・学級数よりも、学級の人数を少なくしてもらいたい。
- ・社会性
- ・LGBTについて、人種差別について知ってほしい。

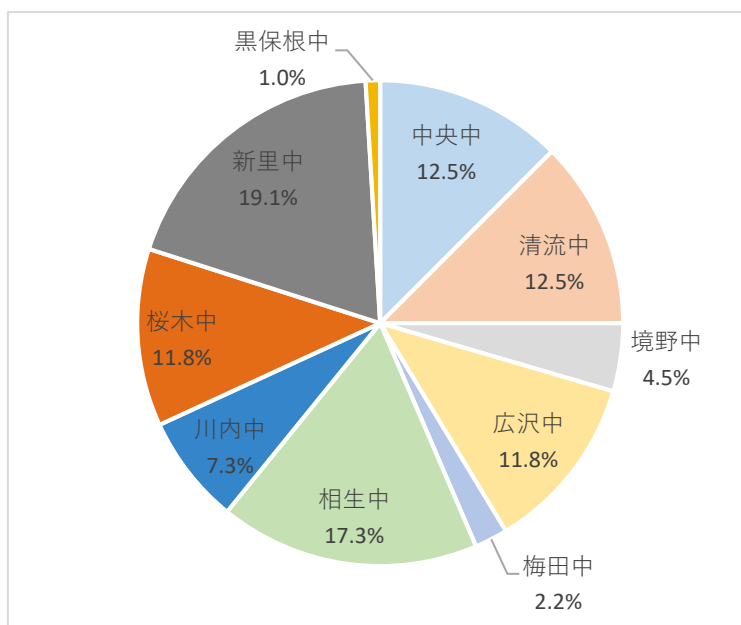
保護者（中学校2年生）集計結果

1 あなたのお子様のことについてうかがいます

問1 あなたのお子様に通っている中学校の名前を選んでください。（1つ選択）

（単回答）

学校名	回答数	割合
中央中	91	12.5%
清流中	91	12.5%
境野中	33	4.5%
広沢中	86	11.8%
梅田中	16	2.2%
相生中	126	17.3%
川内中	53	7.3%
桜木中	86	11.8%
新里中	139	19.1%
黒保根中	7	1.0%
回答者総数	728	100.0%



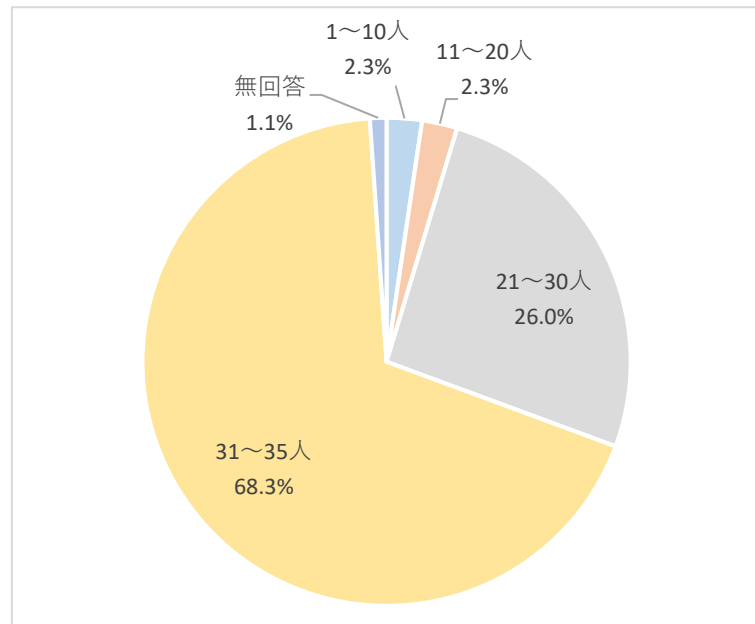
2 学級の人数と、その印象についてうかがいます

問2 あなたのお子様の学級には、何人の生徒がいますか。（1つ選択）

1学級の人数については、「31～35人」の割合が最も高く（68.3%）、次いで「21～30人」（26.0%）となっている。

（単回答）

選択肢	回答数	割合
1～10人	17	2.3%
11～20人	17	2.3%
21～30人	189	26.0%
31～35人	497	68.3%
無回答	8	1.1%
回答者総数	728	100.0%

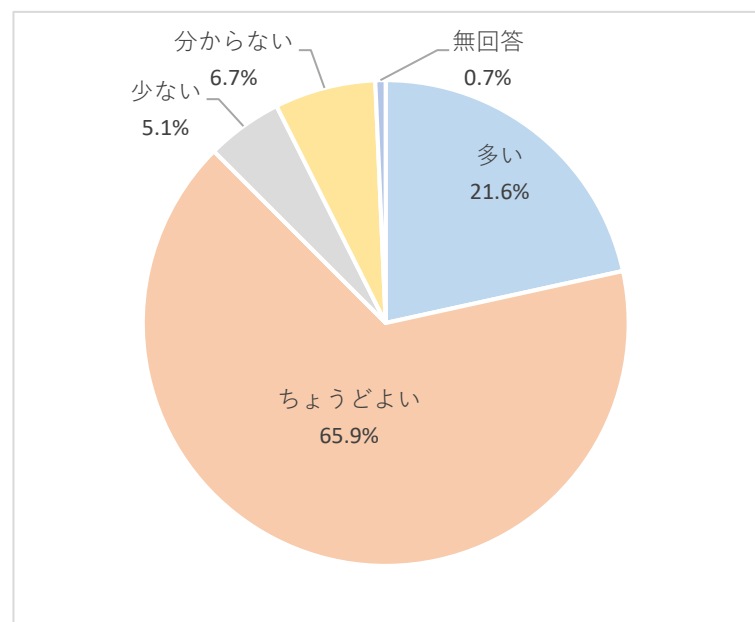


問3 あなたのお子様の学級の生徒数について、どのように感じていますか。（1つ選択）

1学級の人数の印象については、「ちょうどよい」の割合が最も高く（65.9%）、次いで「多い」（21.6%）となっている。

（単回答）

選択肢	回答数	割合
多い	157	21.6%
ちょうどよい	480	65.9%
少ない	37	5.1%
分からない	49	6.7%
無回答	5	0.7%
回答者総数	728	100.0%

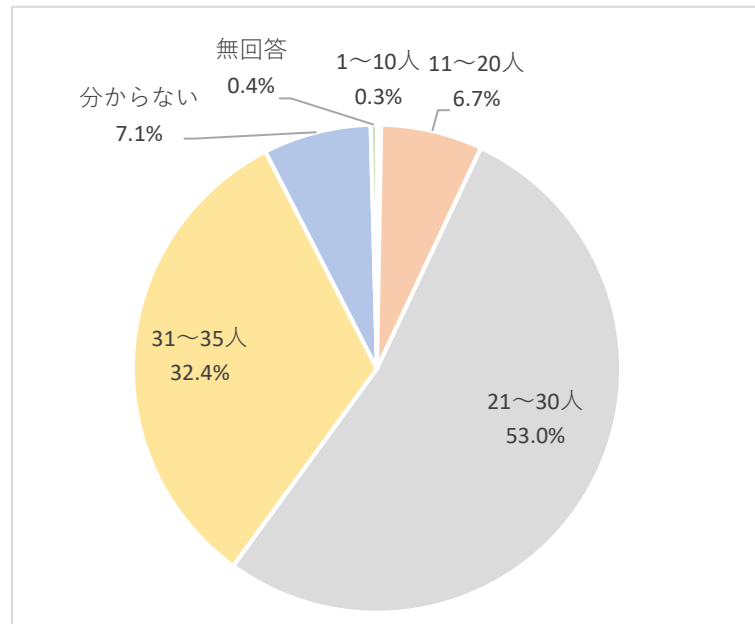


問4 中学校の一つの学級には何人くらい生徒がいればよいと考えますか。(1つ選択)

1学級の理想的な人数については、「21～30人」の割合が最も高く(53.0%)、次いで「31～35人」(32.4%)となっている。

(単回答)

選択肢	回答数	割合
1～10人	2	0.3%
11～20人	49	6.7%
21～30人	386	53.0%
31～35人	236	32.4%
分からない	52	7.1%
無回答	3	0.4%
回答者総数	728	100.0%



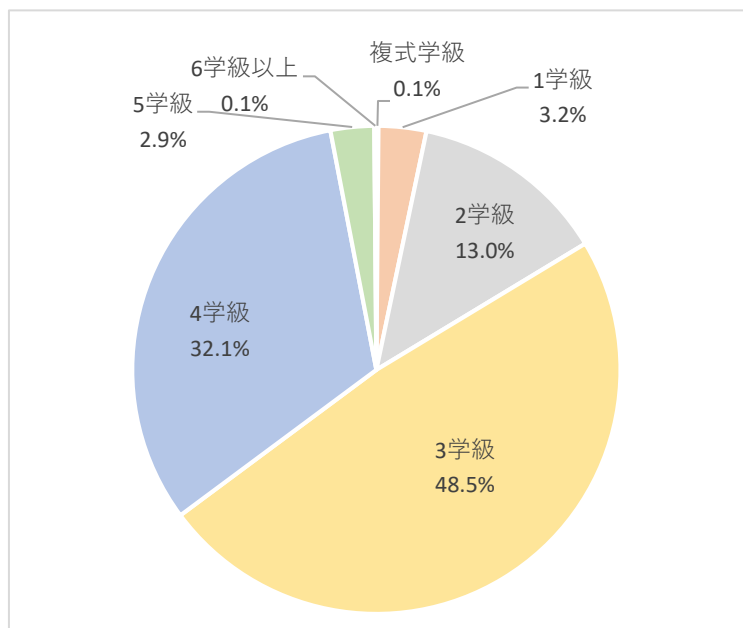
3 学級数についてうかがいます

問5 あなたのお子様の学年には、学級がいくつありますか。（1つ選択）

1学年の学級数については、「3学級」の割合が最も高く（48.5%）、次いで「4学級」（32.1%）、「2学級」（13.0%）となっている。

（単回答）

選択肢	回答数	割合
複式学級	1	0.1%
1学級	23	3.2%
2学級	95	13.0%
3学級	353	48.5%
4学級	234	32.1%
5学級	21	2.9%
6学級以上	1	0.1%
無回答	0	0.0%
回答者総数	728	100.0%

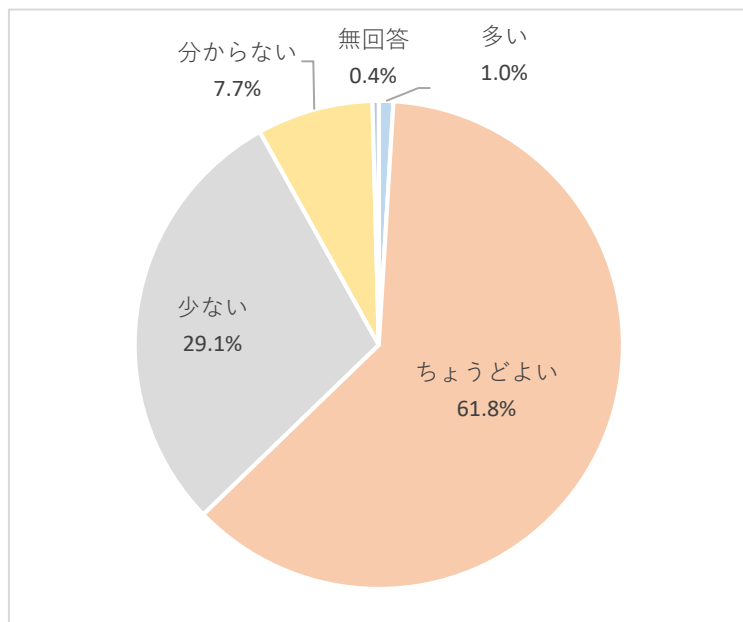


問6 あなたのお子様の学年の学級数について、どのように感じていますか。（1つ選択）

1学年の学級数の印象については、「ちょうどよい」の割合が最も高く（61.8%）、次いで「少ない」（29.1%）となっている。

（単回答）

選択肢	回答数	割合
多い	7	1.0%
ちょうどよい	450	61.8%
少ない	212	29.1%
分からない	56	7.7%
無回答	3	0.4%
回答者総数	728	100.0%

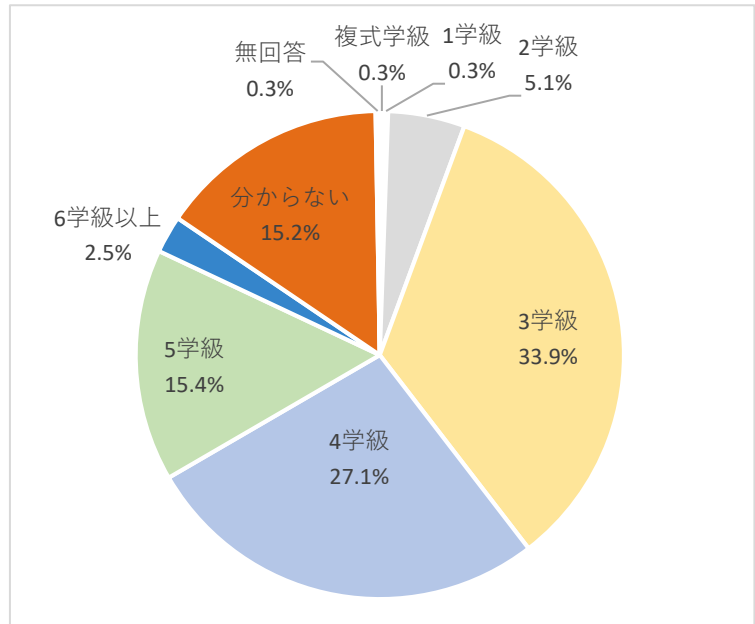


問7 中学校の一つの学年にはいくつの学級があればよいと考えますか。(1つ選択)

1学年の理想的な学級数については、「3学級」の割合が最も高く(33.9%)、次いで「4学級」(27.1%)、「5学級」(15.4%)となっている。

(単回答)

選択肢	回答数	割合
複式学級	2	0.3%
1学級	2	0.3%
2学級	37	5.1%
3学級	247	33.9%
4学級	197	27.1%
5学級	112	15.4%
6学級以上	18	2.5%
分からない	111	15.2%
無回答	2	0.3%
回答者総数	728	100.0%



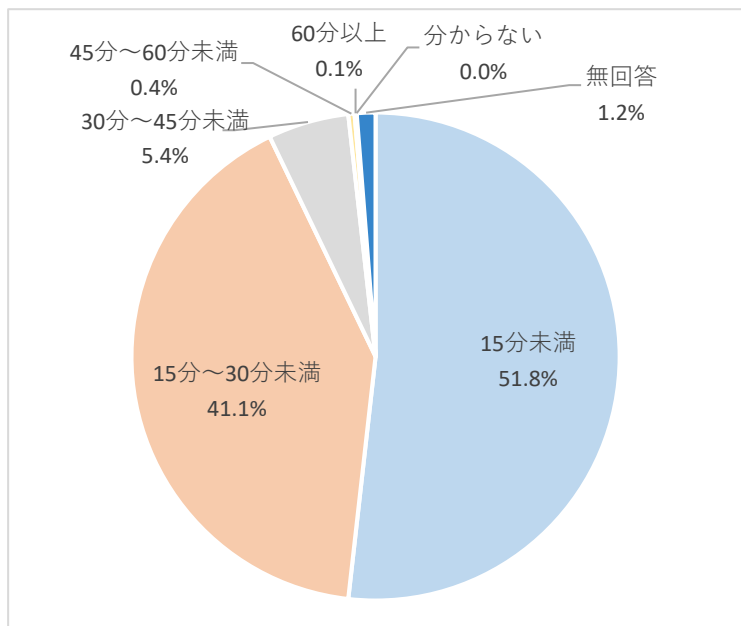
4 通学環境についてうかがいます

問8 あなたのお子様の通学には、どれくらいの時間がかかりますか。(1つ選択)

通学時間については、「15分未満」の割合が最も高く(51.8%)、次いで「15分～30分未満」(41.1%)となっている。

(単回答)

選択肢	回答数	割合
15分未満	377	51.8%
15分～30分未満	299	41.1%
30分～45分未満	39	5.4%
45分～60分未満	3	0.4%
60分以上	1	0.1%
分からない	0	0.0%
無回答	9	1.2%
回答者総数	728	100.0%

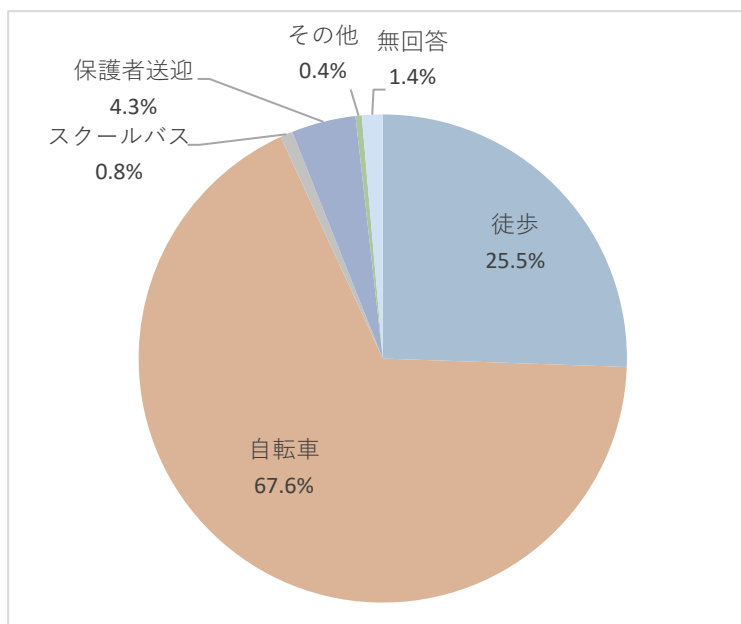


問9 あなたのお子様は、主にどのような方法で通学していますか。(1つ選択)

通学方法については、「自転車」の割合が最も高く(67.6%)、次いで「徒歩」(25.5%)となっている。

(単回答)

選択肢	回答数	割合
徒歩	186	25.5%
自転車	492	67.6%
スクールバス	6	0.8%
公共交通機関	0	0.0%
保護者送迎	31	4.3%
その他	3	0.4%
無回答	10	1.4%
回答者総数	728	100.0%

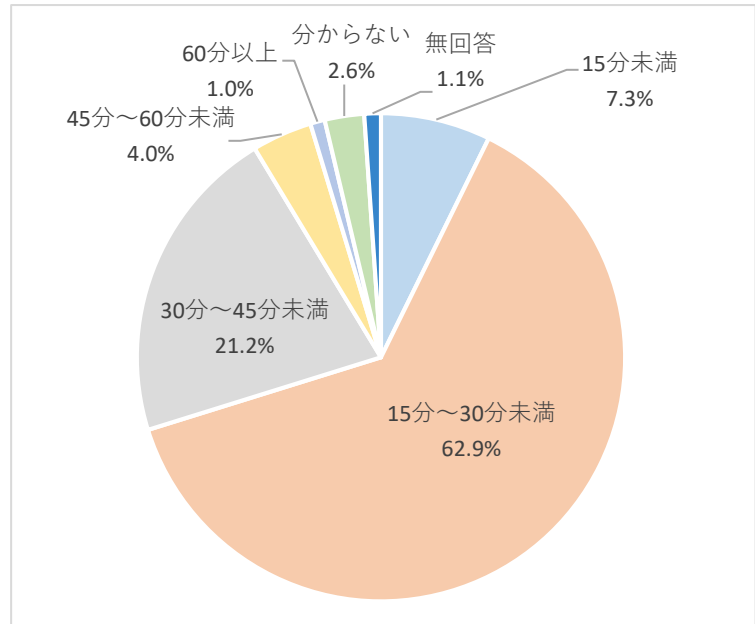


問10 中学生にとって通学の限度（最長）と思われる時間はどのくらいですか。
 (1つ選択)

通学時間の限度については、「15分～30分未満」の割合が最も高く（62.9%）、次いで「30分～45分未満」（21.2%）となっている。

(単回答)

選択肢	回答数	割合
15分未満	53	7.3%
15分～30分未満	458	62.9%
30分～45分未満	154	21.2%
45分～60分未満	29	4.0%
60分以上	7	1.0%
分からない	19	2.6%
無回答	8	1.1%
回答者総数	728	100.0%

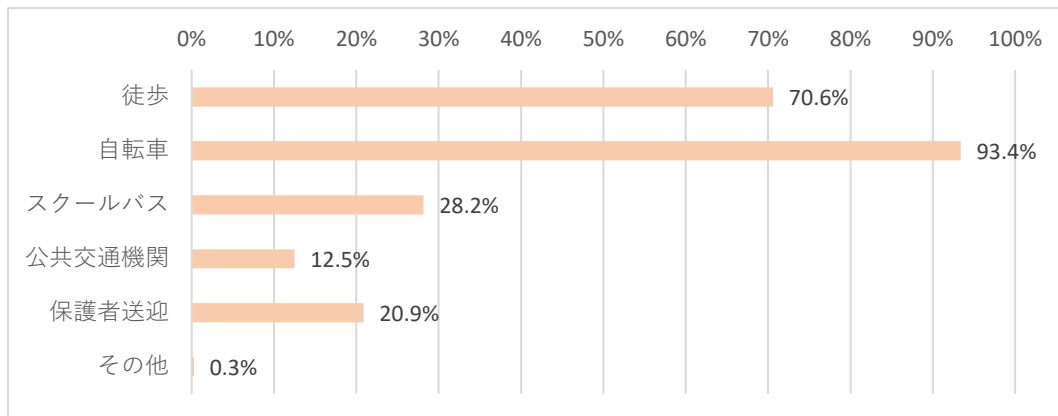


問11 中学生が通学するのに考えられる方法はどれですか。（あてはまるもの全て選択）

中学生の理想的な通学方法については、「自転車」の割合が最も高く（93.4%）、次いで「徒歩」（70.6%）、「スクールバス」（28.2%）となっている。

（複数回答）

選択肢	回答数	割合
徒歩	514	70.6%
自転車	680	93.4%
スクールバス	205	28.2%
公共交通機関	91	12.5%
保護者送迎	152	20.9%
その他	2	0.3%
回答総数	1,644	



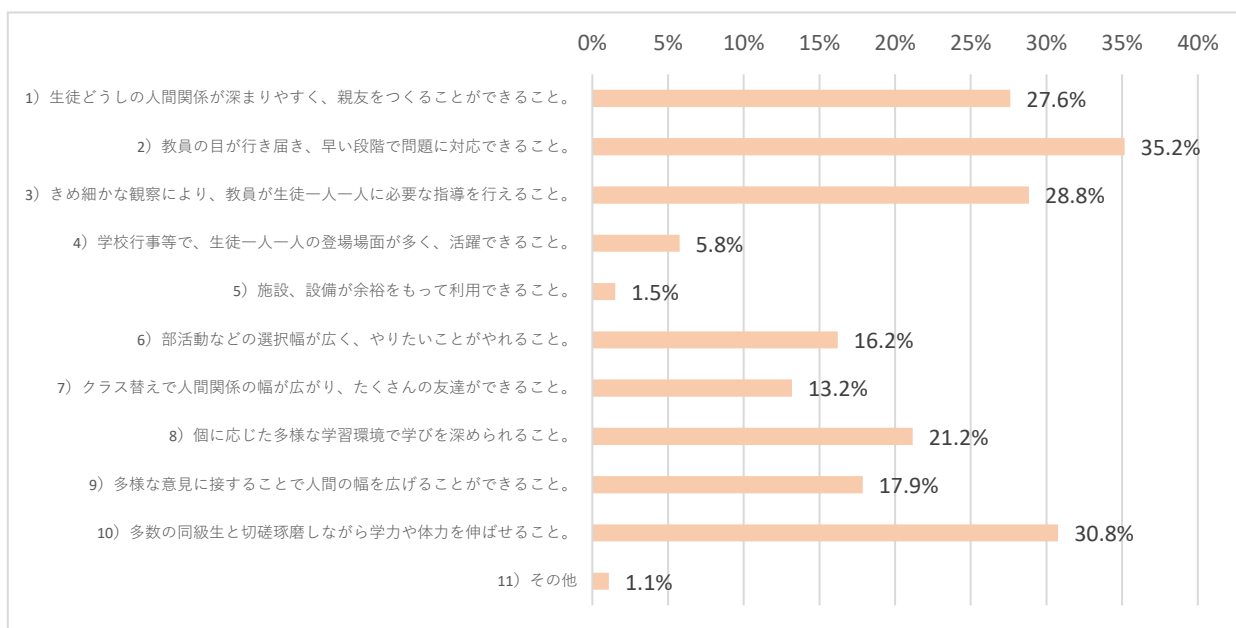
5 学校規模に関わる教育環境についてうかがいます

問12 中学校に期待することは何ですか。（あてはまるもの上位2つ選択）

中学校に期待する事項については、「教員の目が行き届き、早い段階で問題に対応できること。」の割合が最も高く（35.2%）、次いで「多数の同級生と切磋琢磨しながら学力や体力を伸ばせること。」（30.8%）、「きめ細かな観察により、教員が生徒一人一人に必要な指導を行えること。」（28.8%）となっている。

（複数回答）

選択肢	回答数	割合
1) 生徒どうしの人間関係が深まりやすく、親友をつくることができること。	201	27.6%
2) 教員の目が行き届き、早い段階で問題に対応できること。	256	35.2%
3) きめ細かな観察により、教員が生徒一人一人に必要な指導を行えること。	210	28.8%
4) 学校行事等で、生徒一人一人の登場場面が多く、活躍できること。	42	5.8%
5) 施設、設備が余裕をもって利用できること。	11	1.5%
6) 部活動などの選択幅が広く、やりたいことがやれること。	118	16.2%
7) クラス替えて人間関係の幅が広がり、たくさんの友達ができること。	96	13.2%
8) 個に応じた多様な学習環境で学びを深められること。	154	21.2%
9) 多様な意見に接することで人間の幅を広げることができること。	130	17.9%
10) 多数の同級生と切磋琢磨しながら学力や体力を伸ばせること。	224	30.8%
11) その他	8	1.1%
回答総数	1,450	

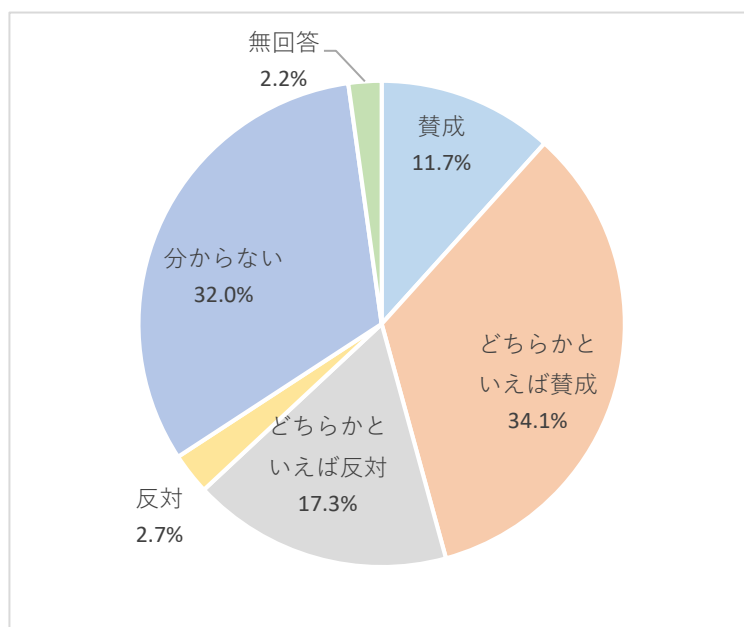


問13 小中学校の小規模化への対応として、学校の統合を進めている自治体もあります。
このような対応についてどのように考えますか。(1つ選択)

学校の統合に関する考えについては、「どちらかといえば賛成」の割合が最も高く(34.1%)、次いで「分からない」(32.0%)、「どちらかといえば反対」(17.3%)となっている。

(単回答)

選択肢	回答数	割合
賛成	85	11.7%
どちらかといえば賛成	248	34.1%
どちらかといえば反対	126	17.3%
反対	20	2.7%
分からない	233	32.0%
無回答	16	2.2%
回答者総数	728	100.0%



【問14】 桐生市の教育環境の充実や学校規模の適正化等についてどのように考えますか。

(自由記述)

- ・中央中学区なので、適正配置があります（今後もおそらく）。学区の再編を大胆に行うことが必要であろうと思います。また、学区だけでなく、市として行政区そのものの再編まで視野に入れた根本的なまちづくりが求められる時期であろうと思います。
- ・先生方は多忙すぎると思います。教員の数を増やして持ち時間を減らしたり、部活動の指導を教員OB等に協力をお願いするなどして余裕をつくることが教育環境の充実につながると思っています。（土日に部活動をしていただけるのはとてもありがたいが、休みなしで仕事をする先生のことを考えるととても申し訳ない気持ちになります）
- ・小学校は3クラス、中学校は4クラスくらいの学校規模が理想と考えています。
- ・複式学級になるほど子供が少ないのであれば、統合はやむなしと思うが、そうでなければ、統合は慎重であってほしいと思います。一度廃校となれば、その活用法なども問題となる。中高一貫校の設立や多言語教育、理系特化型、芸術特化型等「桐生で学ばせたい」と他の地域の親から思われるような学校の設立も視野に入れて、50年、100年先の桐生のビジョンも含め、統廃合は考えるべきではないでしょうか。
- ・もっと学校の統合を進め、教育の質を高め、特に英語教育の充実を目指すようにとにかく特徴ある教育を考えて進めてもらいたい。
- ・子供の数は減っていますが、学校の数は減らさない方がよいと考えます。インフラが整っている都会ならまだしも、そうではない地方ですから、学校の数が減ることは通学時間が増えるわけで、自転車通学の子が多い中、事故が増えそうで、嫌だなと思います。群馬県の中高生自転車事故は全国No.1が続いています。これを改善させてから学校の統合は進めるべきと考えます。
- ・桐生市の学力レベルは年々下がっているように感じるので、底上げできるよう市としても取り組んでいただきたい。
- ・偉い人、年寄りばかりが集まる会議で全てを決めないで、今子育てしている人、これから桐生で子供を育てる若い世代の意見を聞いて色々決めてください。形だけのアンケートで若い人の意見を聞いたことにしないで、会議の中心をそういう人にしていった方が未来の子供たちのためになると思います。
- ・習熟クラス（国語や数学）など開いたほうが良いと思う。
- ・校長のリーダーシップにより、特色ある教育課程や行事等を推進し、子供たちが多様な価値観に触れ、豊かな経験を通して「知・徳・体」がバランスよく育まれるような学校、教育環境を期待します。中学校の適正規模は、1学年4～5学級（1学級30人程度）と考えます。しかし、小規模校の良さもあるので、特色ある小規模校をあえてつくり、学区を弾力的に扱う工夫なども考えられるかと思います。
- ・人数が少なくなる前に中規模の状態を少なくとも保てるように早めに対策をとるべき。

- ・学校の統廃合より、学級数を減ずること、学級数を減ずるより各学級の生徒数を少なくしてゆくことを優先していただきたい。
 - ・登下校のことですが、歩道車道両方とも狭いため、とても危険に感じることが多い。道が狭いため、子供たちと自動車との距離が近い。歩道やガードレールをもう少しどうにかならないでしょうか。
 - ・小規模では人間関係が確立されてしまいがちだが、新しい出会いによって新しく築かれていく人間関係により成長があると思います。ただ、その過程でいじめ等いろいろあると思います。その時、先生方の細部までのご指導が必要かと思われまます。たくさんのクラスで少人数が望まれます。
 - ・学校によって、児童生徒数にばらつきがありすぎると思います。人間関係や学力にも影響が大きいと感じています。もう一度、統合を含めた学校配置や学区の見直し等を市全体で行ってほしいと思います。
 - ・宿題と定期テスト、服装、頭髪等固定担任制を廃止した元麴町中学校校長の工藤勇一さんの教育改革は、自律性、主体性のある子供を育てるためにはとても素晴らしいと思います。
-
- ・統合により通学の時間が長くなってしまう場合は、スクールバスなど配慮が必要と思う。特に小学生は。
 - ・ここ何年かの間で子供たちの数が更に少なくなりました。しかし先生方との距離感を考えると統合ばかりがよいとは思えません。
 - ・いつも子供たちのためにありがとうございます。出生数の推移表を見てとても驚き、この人数だと統合も仕方がないと思います。子供たちの教育環境も大切ですが、先生方も現状、朝早くから夜遅くまで、そして中学校になれば土日部活と親よりも子供と向き合っている時間が長いのではと感じます。日々頭が下がる思いです。先生方が心身ともに健康で子供たちと接することができるように、先生方の働き方の改善もお願いしたいです。
 - ・義務教育の9年間は、防犯も含めて通学が近い方がよい。
 - ・異なる地域の学校が統合されるより、同じ地域の小中学校を一緒にする方法がよいと思います。徒歩で通学できる範囲にあることが子供たちの体力を育てることにもつながり、地元への愛着も育つと思います。また、小中で一つの施設を利用し、先生方も共通となり、配置される先生も増えて子供もいろいろ大人から刺激を受けることが可能となります。小さい子は大きいお兄さん、お姉さんに憧れ、お兄さんお姉さんは小さい子の面倒を見る経験も増えます。地域の異年齢での子供同士の交流が少ない状況なので、学校で交流できればお互い良いのでは。部活動も小学校高学年から参加できて中1の学年で本格的に取り組む競技を決めるのもよいかと。PTA役員も小中共通でいいかもと思いました。
 - ・不登校への対応策（場所）が少ない。フリースクールがない。適応教室が不便なところにあるため、通えない。学校以外の居場所を用意してほしい。
 - ・少子化により学校の規模が小さくなっていることで、中学生の場合、部活動の人数不足で活動がしにくくなっている（特に団体競技）のは考えなければならないと思う。部活動を学校単位ではなく、学校の枠を超えて行うことはできないか？課題は多いと思うが、子供のやりたいことをできるだけさせてあげたいと思う。

- ・子供が減っているのに子育て連の活動内容は変わらないことが不満です。子供会活動が家庭への負担とならないようにしてほしい。今後、オンライン授業や体調不良などの教員が出たときに授業がストップすることのないようにサポートできる先生を増やしてほしい。
- ・上記適正化以前にまず少子化問題や市内人口減少問題について真摯に取り組み、市外や県外の取組を参考にしてほしい。
- ・学校のプールの水着を（女子）短パンみたいのにしてあげるといいと思います。
- ・現在も区域を越えて他中学に通うことが認められている現状です。いっそ統合を進めていく中では、中学を選べるのがあってよいのではないのでしょうか？小中学校は、どこも地域と密接な関係があって教育が成り立っていると考えます。統合が進む中で今まで一緒に取り組んできた地域が置き去りにされないよう学校、家庭、地域が一体となり義務教育が行われることを望みます。全ての面において大が小を制することは決してありません。特に中学の場合、部活動を中心とした考えの中で（特に保護者がそういう考え）、統合が議論されることには反対です。学習面においては小規模校のきめ細かな対応はありがたい限りです。
- ・小・中学校が統合なら賛成です。
- ・県の中でも桐生市の学力が低いと聞きました。全体的な学力を底上げするような具体的な取組は何かされているのでしょうか？学校図書館で勉強に関するものが少ないと子供から聞きました。もっと充実させてもらいたいです。調べたいときに学校PCを自由に使える、生徒一人一人タブレットを配布して家でも活用できるようにしてもらいたいです。
- ・問7で「いくつの学級があればよいか」という質問に4学級と書きましたが、先生が一人一人に勉強を教えてあげたり、悩みがあって相談をしたい子などいろいろしっかり目が行き届き、それだけの人数でできるのであれば、4学級以上増えてもよいと思います。それに対してクラスの人数も減らしたりなどがあるのも子供たちのためであればよいのではと思います。
- ・少子化問題は今の社会の現実だと思っています。児童生徒の人数によっての学級数、教員の配置の基準を見直すべき時なのだと思います。時が流れていくのと同じように基準をかえなければ、問題は山積みになっていくのだと思います。部活動に関しても部があっても指導できる職員がいらないのでは（全くの素人の先生）、なくてもいいのではと思います。保護者の協力を求め、指導するのではなく、外部コーチとしてきちんとした指導者の資格を持った方の正しい指導をお願いしたいと思います。大切な子供の命を預けているので！！今の部活動の在り方に不安と不満があります。コロナで部活ができないときの方が安心感がありました。（子供には部活ができなく残念だけど）
- ・生まれも育ちもずっと桐生です。実家の近所に住んでいるので、自分のときよりクラス数（子供の数）が少なくなりましたね。小：昔4クラス→今2クラス、中：昔8クラス→今4クラス。校則もこまごまかなり増えましたね。下の子が中学に行く頃にはジェンダーも含め対応が変わってくるのでしょうか…ギチギチに校則を固めるばかりでなく、メリハリができるとよいと思います。

- ・学習スペースが少ない。少子化に伴い、統合することもやむを得ないことかと思うが、少人数に対応していくことはできないものかと思う。統合することによってのメリットが大きいのだと思うが、変わらない教育が繰り返されることで世間の流れに乗り切れていないと思う。学習する楽しさや知る喜びをもっとのびのびとさせていただきたいと思う。
- ・市街地にある中学校は公共交通機関も整備され、統合して多少通学距離が長くなっても子供の通学が対応可能と思います。しかし、郊外の中学校では公共交通機関はない。通学中事故や事件に巻き込まれた際、助けを求められないといった環境です。既存施設で考えず、駅近くなど設置場所を一緒に検討してください。
- ・タブレットの配布が遅すぎる。教育環境を整える体制への反応が鈍い。
- ・可能であれば、市町村の枠を超えた統合があれば、なおよいと思います。例えば、笠懸北小と天沼小はあんなにも近いのに、もったいない気がします。ある程度の人数が集まったほうがいろいろな可能性が広がる気がします。ここまで少子化が進むと単独市町村だけで対応するのは難しいのではないかと思います。
- ・不登校の児童が減るようにスクールカウンセラーの先生とその生徒の悩みを聞いてくれる先生がもっと必要だと思います。不登校の子が通う代わりに学校が誰でも通えるような便利な場所にしてあげてほしいと思います。幸い息子は何も疑問を持たずに毎日学校に通っていますが、それができない子もいるのは事実です。学校生活で楽しくなく、家庭にも何か問題がある子は、誰かが目を向けて受け止めてくれれば立ち直ることもできると思います。
- ・英語学習の充実。
- ・学校の統合を進める上で、生徒の自宅から学校までの距離をきちんと考慮し、部活動の実施時間等も慎重に検討してほしい。（特に終了時間）
- ・少子化を活かした教育ができたらいいなと思います。個性を伸ばせるような教育をお願いします。
- ・桐生市の中でも部活動を行う環境に大きく差があるのはなぜでしょうか？（施設設備顧問の先生の経験等）相生中は他校よりよくないと感じています。先生に関しても問題のある先生がいらっしゃいますが、他校から転任させても改善にならないのではないですか。中学生という大事な時期を充実して過ごせるようにしていただきたいです。
- ・少子化による統合は致し方ないと思います。スクールバスの充実により通学もクリアできるのでは？
- ・学校の冷暖房の設置状況や使用について、先生によって設置温度や使用状況に差があり、学習に集中できないことがある。もう少し柔軟な対応をお願いします。
- ・生徒数が少ないという理由で統合というのは反対です。高校ならまだしも、中学で公共交通機関を利用しなくてはならなくなるのはかなり大変だと思います。親も毎日送り迎えは、仕事もありますし、かなりの負担になってしまうかと。

- ・「個に応じた」ということで考えると、少人数のままでは選択肢は狭くなってしまふのかとも思いますが、現在の学校で統合というのは通学面で難しいのかなと思います。
- ・年々子供の出生率も低下し、中学校の生徒もますます減少するため、学校の統合により現在よりも施設や設備など充実でき、多数の友人や先生に接して学んだり意見の交換により大変な思春期的人格形成に必要なと考えています。
- ・学校を減らし過ぎるのもどうかと…。場所に偏りがなければいいと思います。
- ・公立幼稚園に通う園児数を見ると、とても無駄だと思います。そこにかけている人件費、施設維持費は義務教育にかけるべきだと思います。保育園の需要の多さ、私立幼稚園等もあることを考えると、公立幼稚園の存在意義に疑問を抱いています。また、黒保根義務教育学校にするより川内小・中にスクールバスで通学させて多数の同級生と切磋琢磨したり、部活を選べる方が子供たちのためになるのではないのでしょうか。
- ・統合により学級数が増えることはいいかもしれませんが、先生の目が行き届かなくなるのではないかという心配もあります。公立の中学校でも勉強、生活面、進路のことを一人一人ちゃんと見て指導していただきたいと思っています。
- ・子供が少なくなるからと言って小学校や中学校を合体すればいいってことではない。通学問題もあるし、友達関係もあるので、そこらへんはやはり考えてもらいたいです。
- ・環境が許されるのであれば、多くの生徒や多くの大人と接することは、子供たちにとっては大切だと思います。小規模でもよいところはたくさんあると思いますが、その場合は、接する大人が大きく影響すると思います。また、通学時の安全性についても並行して考えていただきたいと思っています。現状を把握し、法律や規則を、未来を担う子供たちのために変化させていくことも考えていただけると幸いです。
- ・通学方法について、距離が遠く、30分以上かかってしまうため、徒歩通学か自転車通学かを選択可能にしてほしいです。
- ・少子化により生徒数が少なくなってしまうのは仕方ないですが、統合されることで通学が遠くなったり地域に学校がなくなってしまうのはさみしさもあります。少人数ならば少人数なりに授業での発問を多くできるように時間をとったりしていけたらよいと考えます。教員の配置についても多くの学生が塾に通っている現状で、十分に満たされているとは言えないと思います。配置数の法律自体を検討していただけたらと考えます。少ない子供たちですが、この子達で日本の未来を支えてくれるからです。生徒人数が少ないならば、学校間留学なども楽しいかもしれません。（行事は一緒に行くなど）
- ・通学距離にかかわらず自転車通学を可能にしてもらいたい。（学校以外の習い事の都合上）
- ・1クラス少人数制にして1人1人に寄り添った手厚い授業環境を充実してほしい。統合により教員数を削減するのではなく、各教科の授業の補助員として2～3人付け、しっかり授業内容が理解できるような環境の充実してほしい。桐生市独自の教育方針や教員の配置。部活動の専門教員配置として子供たちの可能性を伸ばしてほしい。

- ・部活動の外部コーチが配置されているが、機能していないと感じられます。部活動も大事な教育の場所です。外部コーチを配置できる環境であるのならば、外部コーチの在り方を見直していただき、教員の負担も軽減できるようなシステムづくりをお願いいたします。
- ・校内に通級教室があるとよい。情緒、学習それぞれ苦手な面を少しでも克服していけるような環境があると子供も少しずつ自信がつき、次のステップへの希望や意欲がわくと思う。そのためには特別支援の知識や経験がある教員の増員が望ましい。
- ・みどり市では一人一人にタブレットを配布したりしているが、桐生市ではそのような取組はないのですか？他の市などでも行われていることにも目を向け、子供にとって良い環境を作っていただければと思います。
- ・私自身が桐生市内にて小・中・高と12年間過ごしました。私の時代は小：3クラス、中：8クラス、高：8クラスと最も多い人数で学校生活を送ってきましたが、小学校はとても過ごしやすい印象があります。中学は2校が1校になるため、8クラスでしたので、全く話したこともない人たちもいました。ただ、クラスが多いというのは、行事の時（合唱コンクール、体育祭など）では本当に盛り上がるし、ライバル心や向上心、クラスの団結は間違いなく高まります。現在～未来のこの少子化は止められません。ただ、学校というのは（学生時代は）このような子供～青年時代の思い出づくり、よく知らなかった同級生との協力などによって新しい友達ができたり、とにかく『いろいろな人がいるんだ』ということを学ぶ場だと思っています。「学校統合し、スクールバスで登校する』のは現実的で安全で素敵な未来になると思います。クラス替えは必要です！！（不登校、いじめなどのためにも）1クラス制はなくした方が、絶対子供のためによいと思います。
- ・少なければよい、多ければよいと言えませんが、どちらもメリット、デメリットはあると思います。その中での質が大切だと思っています。少なければよくなるのですか？多ければよくなるのですか？答えに困る質問もあるかなとも感じました。子供達が楽しく学んで人間関係、勉強ができればいいと思っています。
- ・話を聞くだけで何もしないのではなく、何が適正か見て考えてほしい。学校に不安なく進級・進学できる環境になることが理想です。
- ・地域ごとに人数がちがうので仕方ないが、また、指導する先生の数にも限りがあるとは思いますが、少人数制の方が一人一人に気を配ってもらえるし、子供たちも意見を、いろいろな相談などもしやすいかと思う。学力も低下しているの、一人一人に合わせた勉強のレベルの進み方がよいのではないかと思う。
- ・学校の規模がどの程度子供たちに影響を与えるかはわかりませんが、学校の統合によって通学時間が長くなってしまふことは子供たちの大切な時間を奪うことになってしまうので、あまり良いことだとは思えません。小規模校にもその学校なりの良さがあると思いますが、活動の幅が制限されてしまうのも事実なので、子供たちが住んでいる地区ではなく、自由に選べるのができたらいいなと思います。

- ・1年のときは5クラスだったのに、2年になると4クラスになりました。学年が上がるとなぜクラスが減るのか疑問です。2・3年は進路等でとても重要になってくるので5クラスのままがよかったです。（今年はコロナの関係で密になることがよくなかったのに、クラスの人数が増えるのは特におかしいと思っていました）
- ・コロナをきっかけにデジタル化が進んでいますが、タブレットが用意されても使用があまりされていない。市町村によって差があり、学力の差にもつながると思う。
- ・電子黒板、タブレット活用や在宅学習の活用とクラス全体で協力する学習の両立。
- ・放課後補習授業をしていただけるとの希望があり、大変ありがたいと思いましたが、部活動の時間を割くと試合に出場させてもらえなくなると思い補習に参加することができませんでした。このようなことを改善していただけるとより良い桐生市の教育環境になるのではないかと思います。
- ・先生が生徒一人一人に目が行き届きやすいように1クラス30人以下がいいと思います。教室も余裕をもって一人分のスペースを使える方がよい。
- ・授業についていけないように思えることがあるので、レベル分けした学習があればいいと思う。
- ・新里中の生徒は、自宅から学校まで距離がある子が多いです。街灯も少ない、動物は出る、一人一人にGPSを持たせるわけでもなく、スクールバスもない。子供が帰宅するまで心配な親は、送り迎えをするしかありません。親の負担が大きいです。学校の統合となると、親子で安心して通える安全な環境がまず必要だと思います。新里で現在、子供を守る対策ができていないのに、今後安全を整えることができるのか不安でしかありません。

○その他意見

【問9】 その他

- ・祖父宅まで車で送迎、その後徒歩や自転車で通学。
- ・朝：自転車、帰り：車
- ・朝：自家用車、帰り：徒歩

【問11】 その他

- ・桐生市内の中学校で安全保護のため全ての生徒が自転車で通学する学校があったり、どんなに暗くても歩きで通っている中学があるのはおかしいと思う。桐生市で統一したほうがいいのではないのでしょうか。
- ・基本的には自転車は反対です。マナー、ルールがとても悪いから。

【問12】 その他

- ・常態であれば期待することはない。
- ・将来の目標、夢を見られるようなこと。
- ・よくわかりません。
- ・生徒の個性をきちんと把握し、（3番目の答えと重複するかもしれませんが）人権を尊重した指導をすることができる教員がいること。
- ・学習力に応じ、適した指導をしていただきたい（人数を区切り、基礎学力の定着など）
- ・孤立を防ぐため、仲の良い友達を必ず一人は同じクラスに入れる等の配慮をしていただきたい。一人でいることがなければ、いじめ等も防げると思いますが（毎年学校に提出している仲よい友達を記入する意味とは？）
- ・期待することは特にありません。ただ、先生一人に対する生徒数が多すぎて先生の心に余裕がない環境では、子供たちにとって良い環境を作ることができないと思います。
- ・部活動での練習試合等での勝負も大切でしょうが、一人一人の出番を均等に活躍できることを期待します。

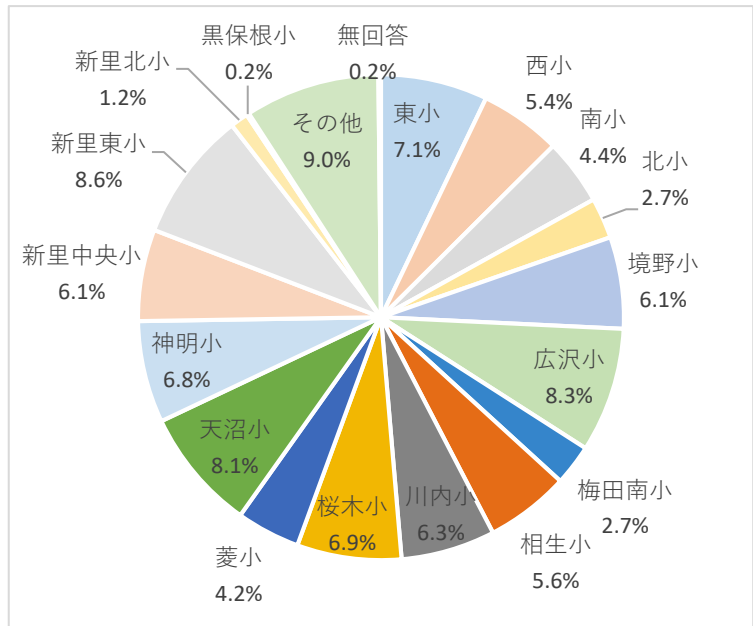
保護者（令和4年度小学校入学予定の未就学児）集計結果

1 あなたのお子様のことについてうかがいます

問1 あなたのお子様が入学する予定の小学校の名前を選んでください。（1つ選択）

（単回答）

学校名	回答数	割合
東小	42	7.1%
西小	32	5.4%
南小	26	4.4%
北小	16	2.7%
境野小	36	6.1%
広沢小	49	8.3%
梅田南小	16	2.7%
相生小	33	5.6%
川内小	37	6.3%
桜木小	41	6.9%
菱小	25	4.2%
天沼小	48	8.1%
神明小	40	6.8%
新里中央小	36	6.1%
新里東小	51	8.6%
新里北小	7	1.2%
黒保根小	1	0.2%
その他	53	9.0%
無回答	1	0.2%
回答者総数	590	100.0%



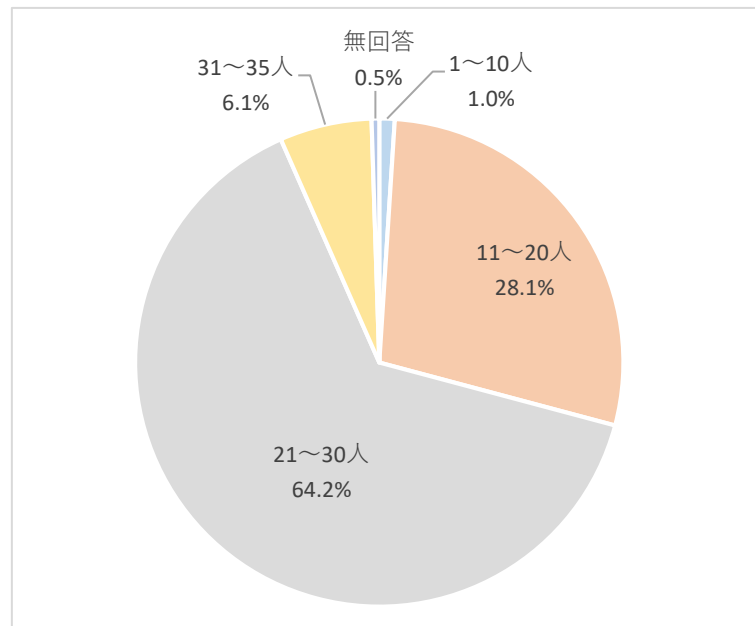
2 学級の人数と、その印象についてうかがいます

問2 小学校の一つの学級には、何人の児童がいればよいと考えますか。（1つ選択）

1学級の理想的な人数については、「21～30人」の割合が最も高く（64.2%）、次いで「11～20人」（28.1%）となっている。

（単回答）

選択肢	回答数	割合
1～10人	6	1.0%
11～20人	166	28.1%
21～30人	379	64.2%
31～35人	36	6.1%
無回答	3	0.5%
回答者総数	590	100.0%



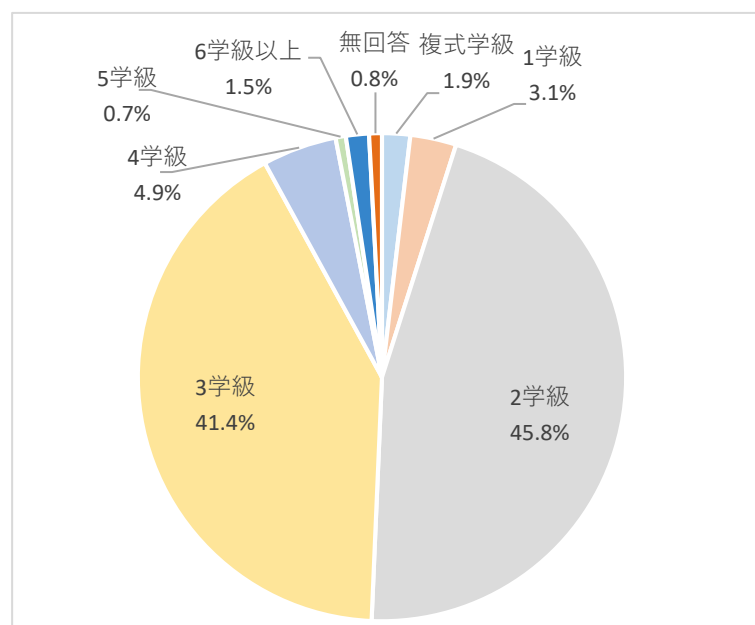
3 学級数についてうかがいます

問3 小学校の一つの学年には、いくつの学級があればよいと考えますか。（1つ選択）

1学年の理想的な学級数については、「2学級」の割合が最も高く（45.8%）、次いで「3学級」（41.4%）となっている。

（単回答）

選択肢	回答数	割合
複式学級	11	1.9%
1学級	18	3.1%
2学級	270	45.8%
3学級	244	41.4%
4学級	29	4.9%
5学級	4	0.7%
6学級以上	9	1.5%
無回答	5	0.8%
回答者総数	590	100.0%



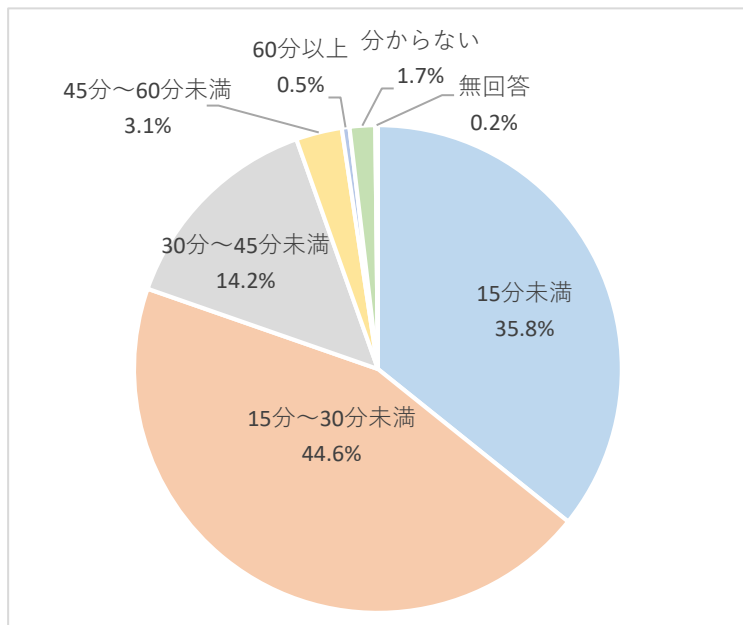
4 通学環境についてうかがいます

問4 あなたのお子様の通学には、どれくらいの時間がかかる見込みですか。（1つ選択）

通学時間の見込みについては、「15分～30分未満」の割合が最も高く（44.6%）、次いで「15分未満」（35.8%）、「30分～45分未満」（14.2%）となっている。

（単回答）

選択肢	回答数	割合
15分未満	211	35.8%
15分～30分未満	263	44.6%
30分～45分未満	84	14.2%
45分～60分未満	18	3.1%
60分以上	3	0.5%
分からない	10	1.7%
無回答	1	0.2%
回答者総数	590	100.0%

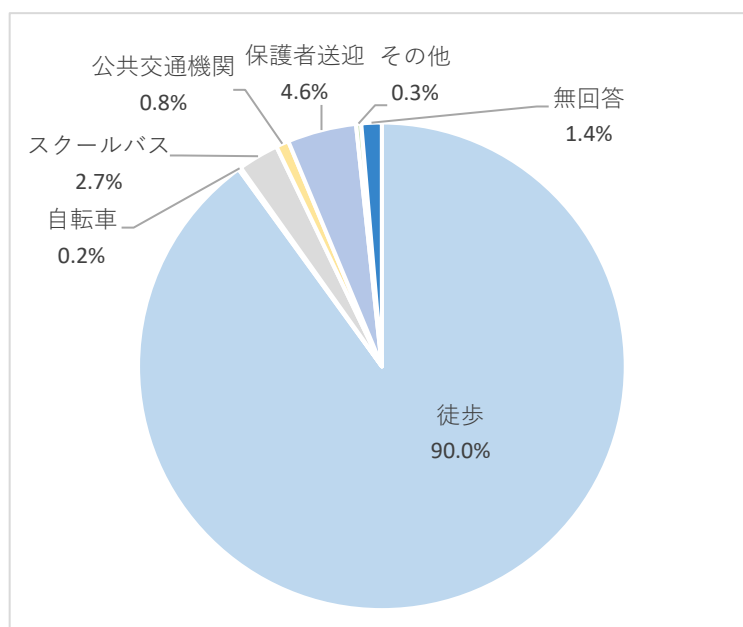


問5 あなたのお子様の通学方法は、主に次のどれになる予定ですか。（1つ選択）

通学方法の予定については、「徒歩」（90.0%）の割合が最も高くなっている。

（単回答）

選択肢	回答数	割合
徒歩	531	90.0%
自転車	1	0.2%
スクールバス	16	2.7%
公共交通機関	5	0.8%
保護者送迎	27	4.6%
その他	2	0.3%
無回答	8	1.4%
回答者総数	590	100.0%

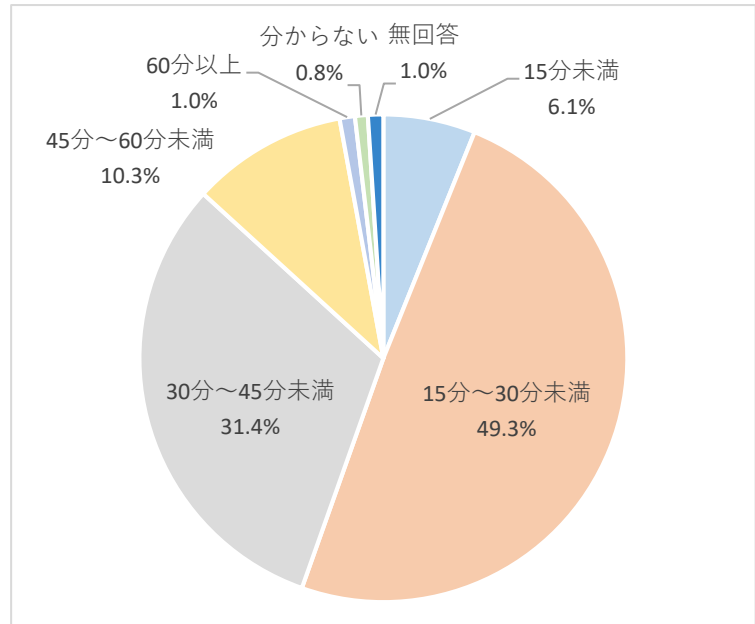


問6 小学生にとって通学の限度（最長）と思われる時間はどのくらいですか。
 (1つ選択)

通学時間の限度については、「15分～30分未満」の割合が最も高く（49.3%）、次いで「30分～45分未満」（31.4%）、「45分～60分未満」（10.3%）となっている。

(単回答)

選択肢	回答数	割合
15分未満	36	6.1%
15分～30分未満	291	49.3%
30分～45分未満	185	31.4%
45分～60分未満	61	10.3%
60分以上	6	1.0%
分からない	5	0.8%
無回答	6	1.0%
回答者総数	590	100.0%

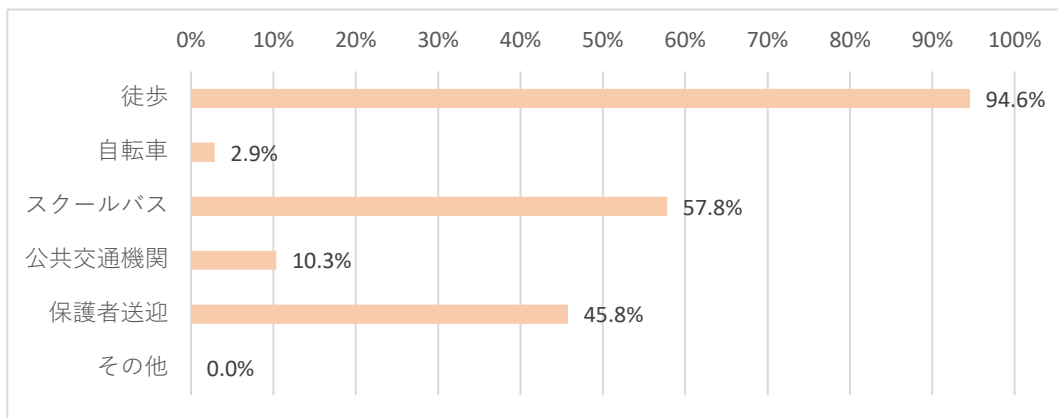


問7 小学生が通学するのに考えられる方法はどれですか。（あてはまるもの全て選択）

小学生の通学方法については、「徒歩」の割合が最も高く（94.6%）、次いで「スクールバス」（57.8%）、「保護者送迎」（45.8%）、「公共交通機関」（10.3%）となっている。

（複数回答）

選択肢	回答数	割合
徒歩	558	94.6%
自転車	17	2.9%
スクールバス	341	57.8%
公共交通機関	61	10.3%
保護者送迎	270	45.8%
その他	0	0.0%
回答総数	1,247	



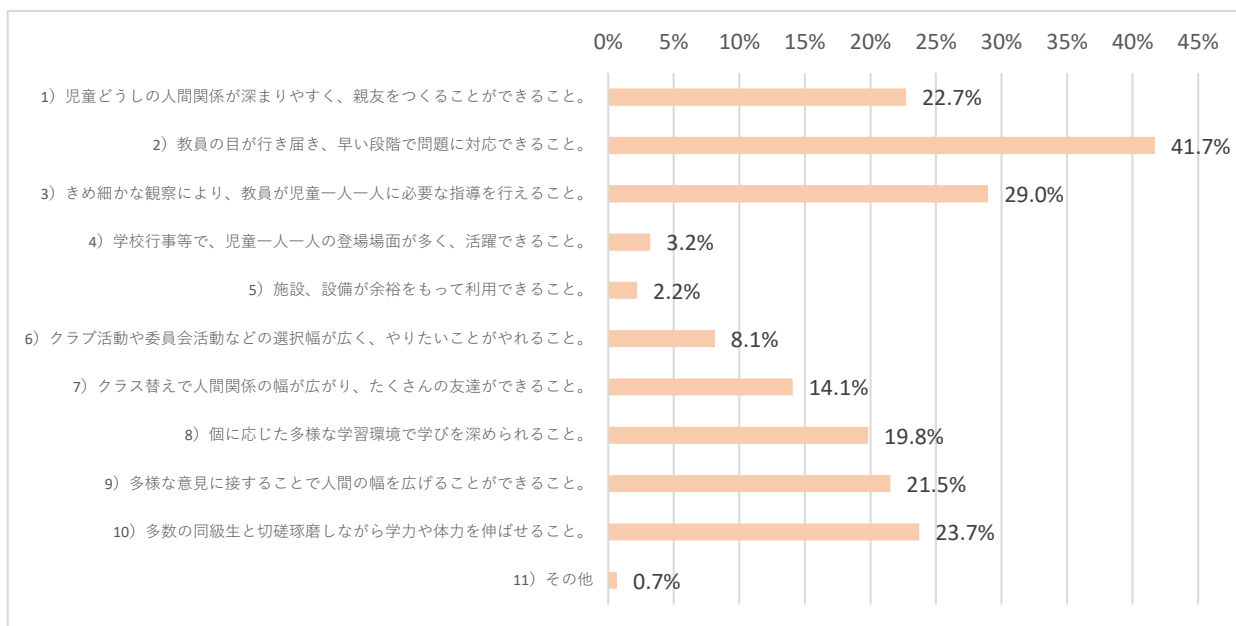
5 学校規模に関わる教育環境についてうかがいます

問8 小学校に期待することは何ですか。（あてはまるもの上位2つ選択）

小学校に期待する事項については、「教員の目が行き届き、早い段階で問題に対応できること。」の割合が最も高く（41.7%）、次いで「きめ細かな観察により、教員が児童一人一人に必要な指導を行えること。」（29.0%）、「多数の同級生と切磋琢磨しながら学力や体力を伸ばせること。」（23.7%）となっている。

（複数回答）

選択肢	回答数	割合
1) 児童どうしの人間関係が深まりやすく、親友をつくることができること。	134	22.7%
2) 教員の目が行き届き、早い段階で問題に対応できること。	246	41.7%
3) きめ細かな観察により、教員が児童一人一人に必要な指導を行えること。	171	29.0%
4) 学校行事等で、児童一人一人の登場場面が多く、活躍できること。	19	3.2%
5) 施設、設備が余裕をもって利用できること。	13	2.2%
6) クラブ活動や委員会活動などの選択幅が広く、やりたいことがやれること。	48	8.1%
7) クラス替えて人間関係の幅が広がり、たくさんの友達ができること。	83	14.1%
8) 個に応じた多様な学習環境で学びを深められること。	117	19.8%
9) 多様な意見に接することで人間の幅を広げることができること。	127	21.5%
10) 多数の同級生と切磋琢磨しながら学力や体力を伸ばせること。	140	23.7%
11) その他	4	0.7%
回答総数	1,102	

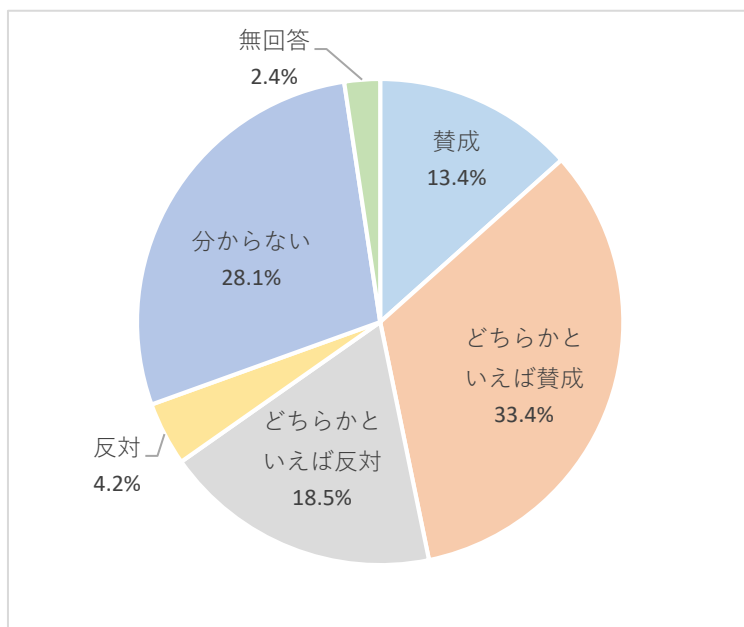


問9 小中学校の小規模化への対応として、学校の統合を進めている自治体もあります。
 このような対応についてどのように考えますか。(1つ選択)

学校の統合に関する考えについては、「どちらかといえば賛成」の割合が最も高く
 (33.4%)、次いで「分からない」(28.1%)、「どちらかといえば反対」(18.5%)となっ
 ている。

(単回答)

選択肢	回答数	割合
賛成	79	13.4%
どちらかといえば賛成	197	33.4%
どちらかといえば反対	109	18.5%
反対	25	4.2%
分からない	166	28.1%
無回答	14	2.4%
回答者総数	590	100.0%



【問10】 桐生市の教育環境の充実や学校規模の適正化等についてどのように考えますか。

(自由記述)

- ・第一に子供たちが安全に登下校できたら親も安心です。教育環境もまず安全で子供たちがのびのびできればよいと思います。
- ・通学路の危険個所がまだまだ多いと思います（堤町に住んでいますが、道幅が狭く、朝は車もスピードを出して自転車も裏道、抜け道として通るので、本当に危ないです。工事があるとなおさら）決まった区間だけ、もしくは集合場所を決めてそこから学校までスクールバスなどに生徒を乗せるなど登校する時だけでも安全に安心して学校へ行けるようになったら親としてもうれしいです。もちろん、歩いて学校へ行くことが子供たちの体力作りにもなるので大切なことだと思います。
- ・まともに学習をできるクラス単位での教育環境をしっかりと作っていただきたいです。まともな教育環境の妨げになる要因（特に問題時の対処）の対応策を基準を作り一律化してほしいです。小規模学級ではクラス崩壊、授業にならないという状況が存在しているということも小学生のお母さんたちから話を聞いています。その場合は中学から私立に変えるらしいです。
- ・「桐生の未来を担い、世界に羽ばたく人づくり」とありますが、そのためにはまず、子供たち一人ひとりの個性を大切にし、自律した人間に育てることが大切なのではないのでしょうか？集団の中で多様な考えに触れ…そのためには、「自分自身の考え」をしっかりと持っていないと、友人と切磋琢磨することは難しいのではないのでしょうか？今、わが子が通う幼稚園は少人数で、複式学級です。多人数がよい方からしたらデメリットしかないと言われるかもしれませんが、少人数であればあるほど、子供一人ひとりがしっかりと考え、ちゃんと行動しないと遊びも片付けも成り立ちません。少人数から多人数になり、やっていけるのかという不安はありません。自分のことができれば多人数の中でも大丈夫だと思えるからです。多人数には多人数のメリットがあるように、少人数のメリットもあります。子供の何が大切かをしっかりと考えていただきたいと思います。
- ・子供の人数が減ってしまっているが、人数が少なくても学べることはたくさんあると思います。1クラスの人数が少なくても先生が目が届きやすい点や子供たちもみんなと仲良くする大切さなどが少ない人数だからこそ話したことがない子がいないような環境になると思います。個人的には親の私の母校でもあるので、できれば統合して無くなるのではなく、残してほしいです。
- ・教育環境につきまして、少人数であることのメリット、デメリットはそれぞれあると思いますが、複式学級は希望いたしかねます。その年齢に合った教育環境が必要であり、1学年でも違えば影響が大きいと考えます。

- ・それぞれの地域の特性の中であるべきように育ち、どれが一番よいかと決められるものではないと思っています。子供にも先生方にも無理のない状態であることが大切だと思います。一律の制度にまとめるのではなく、柔軟な対応をしていただくことを望みます。
- ・小学校の授業参観などで、20人程度の児童数でも先生の負担は大きいと感じることが多々ある。サポートする人がいれば、子供も先生も安心して授業に取り組めるのではないか。分からないときはもちろん、理解できて時間を持て余しているときにもサポートは必要だと思う。できない子はできるようになるまで、できる子は学びを深められるような環境になってほしい。学習進度を平等にすることにより、学ぶことへの意欲をみんなが持てるようにすることが大切だと思う。児童数が減るほど、子供一人の価値は上がり、きめ細かな指導が必要となる。ただ、数に合わせて人数を配置するのではなく、現場が必要とする人員、人材を配置できるようになってほしい。
- ・一定規模の集団を確保いただくことに賛成です。同時にきめ細やかな指導、フォローを学校側、先生にお願いしたいと思います。様々なバックグラウンドを持つ子供が集まりますので、他の児童、保護者の顔が見える、コミュニケーションが取れる機会の設営をお願いしたいです。
- ・教員一人に対する業務が多く、多忙を極めているので、教員数を増やし、一人当たりの仕事量を減らし、定時で帰れるような環境を作してほしいです。
- ・タブレット学習の充足。メールやSNSを使った情報共有（お便りの数を減らす）。統合になった場合、遠方の児童はスクールバスをできるようにする。
- ・今の時代において子供たちの個性が昔に比べて非常に目立っているように思います。その中で、1クラスの児童数が多いと対人関係にもトラブルや問題も起こしやすく、学習に影響があるのも仕方ありません。そうした上で少人数制の学級ですと担任の方と児童が限られた時間の中でも落ち着いて勉学に取り組めるのだと感じます。
- ・学校の小規模化を実施することで、1学年当たりの人数が増え、幅広い友達との交友関係及び教員との関りが期待できる点については賛成だが、学校が統合することで自宅からの距離が遠くなり、通学時間が増えてしまう児童がいることは明確。できるだけ徒歩で通ってほしいというに対して思うが、親の送迎が必要になると仕事の都合もあるので、特に朝は大変になるだろうと思う。体力づくりの面でも歩ける距離に学校があってほしい。
- ・児童数の減少によって学校の統合が行われるのは、自治体の選択としては仕方ないと思います。人的資源の確保や施設の維持にも予算を組まなければいけないにもかかわらず、相当の児童数がいなければ見合わないでしょう。ただ、メリット、デメリットはあります。統合すれば児童減少による市政的な諸問題は解消しますが、児童の登下校の負担が増加するのは明らかです。統合すれば1学級の児童数が確保でき、教職員の数も適正化できますが、児童一人の教育機会を考慮すればむしろ20人以上の集団を一人の学級担任が指導する現状の方が課題を有しているといわざるをえません。積極的に他国等の例を取り入れていきたいところです。もしかしたら副担任の役割を見直す時機なのかもしれませんね。「適正化」とは何を基準に行うものですか？現状の日本、桐生市の基準は誰のために設定されていますか？アンケートをとって数値化することも大切ですが、適切な対話と研修も大切にしたいですね。ありがとうございました。

- ・子供の数が少なすぎ、5-(11)で挙げた2項目①多様な意見に接することで人間の幅を広げることができる。②多数の同級生と切磋琢磨しながら学力や体力を伸ばせることが実現難しく思います。そのため、桐生市から太田市への転出を考えています。少子高齢化が進む桐生市においては①(13)の学校の統合を進めて1学級あたりの児童数を増やすか②少人数を活かしたきめ細やかな学習指導などを対策として掲げない限り近隣市町村への転出は避けられないと思います。(もちろん、教育環境の充実だけでなく抜本的な少子化対策は必要ですが)
- ・今後ますます少子化が進む中で、きめ細かな教育を行うことの必要性があると感じているが、令和3年度における市立小学校においては小規模校8校のうちの4校で学級が一つしかない単学級が全ての学年に、残る4校でもいずれかの学年に見られ、教科担任制を充実させるための各教科の担当する教員の配置が厳しくなっていると記載されている。このような状況を改善し、児童の教育環境の充実や多くの友達との関りによる成長などのためには、小学校の統廃合を進めるべきだと考える。具体的には、児童数の少ない梅田南小や新里北小について、最寄りの小学校と統合すべきであると考え。
- ・どの年代にも小学校～いじめの問題は起こりえると考えてます。人数が多いのもよいと考えてますが、そのような問題が起きたとき把握できない状況にならないようにしてほしいと思います。どの子でもいじめられる側、いじめられる側になることは十分あり得るか。
- ・確かに少子化問題は深刻化しているのも実感しております。ただ、桐生市の隣みどり市ではどうでしょう？今でさえ合併、合併と言っている中で、学校を作っております。他の県からの流入、特に若い家族には手厚い対応をしている(小さい子供又は子育て世代)と聞いております。たかが数キロしか離れていないところでは学校を増設、桐生市では学校の合併、この差は何でしょう？たかが市民一人の声です。お金があれば他の土地へ…思いもありますが、私は桐生市で人生の大半を過ごしております。にぎやかで、活気のあった時を知っています。今の子供たちに桐生で生まれてよかったと思うことができる教育環境を切に願います。
- ・出生数が少ないので、学校規模が過少となり、統合されてしまうのは、避けられないのかもしれない。なので、他校との交流や生活地域での交流活動等も工夫することで適正規模に満たないことを補ってほしいと思います。桐生市内に限らず、コロナ禍で普及したりリモートという手段も有効活用する等して適正規模で受けられる教育環境、生まれる交流(人間関係)、等近づける努力を望みます。
- ・プログラミング学習について、どう勉強に取り入れるか具体的に知りたい。また、ご年配の教職員に対し対策をとられているか(教育内容の均質化)不安。
- ・1学年に1クラスの学年が多い学校は他の学校との統合を積極的に考えた方がよい。
- ・他の市と同じにタブレットを利用できるようになればと思う。
- ・みどり市では新しい学校を建設している。みどり市だけの問題とせず、群馬県全体として考えれば、天沼小に入れるなり、もっと最適な方法はあったのではないのでしょうか。これからは、東(みどり市)と黒保根の統合も一つの方法として出てくると思います。大人のけんかに子供を巻き込まないで検討をお願いします。

- ・フリースクールがない。授業というシステムになじめない子が行く場所が市内にほしい。
(バス等があるととっても良い)
- ・学校の統合をするのであれば、それに伴い施設等も新しくしてほしい。統合により学校区が広がった場合にはスクールバスや保護者の送迎が可能になるよう検討してほしい。市の庁舎を新しくできるのならば、子供たちにお金をかけてください。
- ・自分も相生小でずっと人数の多い中で育ってきたので、子供には少なめ(20人以下)で育ってほしいと思う。今、保育園でも28人を先生2人で見ていてとても大変そうだし、目が届いていないこともあるので、小学校に行っても先生の目が届いていないことは怖いので(いじめ、事件、事故など)。学習面よりもいじめや事故などの防止を徹底してほしい。私の兄弟が小学校のとき、授業中にプールで死にかけました。見つけたのは先生ではなく、友達でした。もし友達が見つけてくれなかったら…と思うと、今でもぞっとします。そんなこともあり、今でも正直、学校、先生に対しては不信感があり、子供を預けるのは怖いです。だから、ただ安心、安全を求めます。
- ・コロナ禍の中、学校が休校となった際でも授業が受けられるような教育環境が整ってほしいと思います。
- ・北小は1クラス20名程度しかおらず、とても狭い人間関係、世界と感じます。統合してクラスが増えるのは望ましいですが、通学距離に問題が生じると思うので、集合地を決めてスクールバスの送迎ができるとよいと思います。通学は心配です。特に、1・2年生。今現在も通学に35分かかっているので、バスがあると望ましいです。
- ・桐生市の教育環境や学校規模の適正化をどのようにしているのかわからないので、情報の提供をしてほしい。小学校入学にあたり、市内の学校の様子を知る機会(冊子を配るなど)を与えてほしい。今回、このアンケートをもらうまで、このような状況であることを知りませんでした。せめて、住んでいる地域の学校の情報を教えてほしい。
- ・出生数の減少、人口の減少に伴い、児童数、学級数が減っていくことに対して、統合してある程度の集団の中でいろんな人と出会って学んでほしいです。学校の統合に伴い、学校が徒歩で通えないようになると、体力づくりの機会が減るのは残念です。学校の統廃合とは関係ないですが、なるべく徒歩で通えるように通学路の安全を確保してほしいです。横断歩道→歩道橋、車道と歩道をしっかり分けるガードレールを作る。登下校の時間は警備を強化するなど。
- ・学校の統合は、少子化のため仕方ないと思うが、通学時間が長くなってしまうのは、子供にとって負担になると思う。スクールバス等の運用があれば子供、保護者も安心。
- ・教員の目が行き届くのならば、学校を統合し、団体競技を希望する子が選択できるようすることもよいと思います。その場合、通学範囲が広がるのなら、スクールバス等の検討があるとよいなと思います。
- ・1学級だと先生や生徒とトラブルがあったときに逃げれる手段がなく、追い込まれてしまうと思う。

- ・公立の中・高一貫校もなく、私立の小学校もないので、市外に頼らざるを得ない状況です。子供たちの将来のためにも桐生市内での選択枠を広げてほしいと思います。
- ・地域によって児童の数に差ができてしまうのは仕方がないことですが、やはり人と人との関わりの場になるため、合う合わない(ストレートに言うといじめも含めて)があるので、1学年に1学級では言葉が適切ではないかもしれないが、子供にとって逃げ場のない状況になってしまいます。そうすると不登校や保健室に登校するしかできないようになってしまうのではないのでしょうか。学年が上がればなおさら先生の目の届かないところでひどいことをする子もいるくらいなので、子供の心の安心材料として統合もありだと思えます。桐生市は広場はあるものの、鉄棒や遊具のある公園が少ないように思います。もう少し学校以外で練習したり体を動かして遊べるような整備をしていただけるとありがたいです。
- ・学校の統合には賛成ですが、自宅から近い北小学校の存続を希望します。
- ・オンライン授業が充実した環境になってほしい。
- ・生徒が少なく先生が多いのなら、1クラスに2人ぐらい先生がいてもよいと思います。担任が授業をし、副担任が授業をつまづいている子や苦手な子をまわりながら教えるのもよいと思います。あまり多い人数を1人の担任が見るのは、やはり担任の負担を考えたら、今の時代にはそぐわないと思います。もし、いじめなどがあった場合であっても、1人の担任では見落としてしまう時もあるかもしれません。それなら2人いた方が子供たちには話しやすい先生の方に言える！！という環境ができて先生にも言いやすくなるのではないのでしょうか？あとは桐生市の周りの地域は給食の無償化など良い面がありますが、桐生市は、なぜ給食代がいまだにかかるのでしょうか？
- ・タブレット学習などや学校の学習だけでも（塾にいかなくても）十分な学習ができるようにお願いしたいです。
- ・必要最低限の学習における勉強はある程度必要と考えます。教科内容が増え、時間割も厳しいかと思いますが、「桐生市」で生まれ育つ子供として、地域に密着した学習を取り入れられるといいのかなと思います。私自身、服飾専門学校に通うため、東京の学校に通っていました。服飾の勉強をしているうちに、桐生出身の私以上に他県の仲間の方が桐生について詳しく、出身者なのに桐生市の素晴らしい伝統技術について無知だったことを恥ずかしく感じたことがありました。地域ならではの技術や、残していくべき歴史について、幼い頃から身近に接している機会が増えるといいなと思っています。桐生市は、地元の方が思っている以上に素晴らしい町です。
- ・地元の特徴や伝統、昔ながらの場所などを教えていくことは、とても良いことだと思います。一学級の生徒数が多いと教師の負担が大きくなり、ストレスになり、結果、生徒に対する接し方などが悪い方に傾いてしまう。それだとよくないと思うので、大人数のクラスは私はあまり賛成できません。
- ・子供たちが社会人になる過程で小中学校の教育の中でお金の教育を充実させてほしいと感じています。そのための環境を整えてほしいです。学校の統合に関してもその後の活用方法も含め市民の意見も聞いてほしいと思います。

- ・小規模化し、児童に対する教員の先生方の数が増え、目が届くようになるのであれば賛成です。子供の学習進度等にももっと個別化が図れるようにインターネットの利用等が早い段階から開始できるとよいのではないかと考えます。高学年～中学生になり、イジメなど学校に行きたくない子もそれなりにいると聞きます。人間関係を作るなどの課題もあると思いますが、自宅学習でもよい環境整備も必要と考えます。
- ・市外に住んでおりますので、特にありません。
- ・普段の学校生活は少人数でも仕方ないかと思いますが、運動会や遠足などのイベント(行事)等を他校と合同でやってみるのもよいと思います。
- ・夏はものすごく暑いので、クーラーはどの学校のどの教室にも必ずつけてほしい。少子化で1学年1クラスしかない学校が多いので、先生たちには子供同士の人間関係をしっかり見てほしいと思う。
- ・今どきの子供たちを見ていると(小学生)30人を超える人数では先生の目が届いていなくて、それが結果として教室が荒れることにつながっているように思います。1クラスしかない学年も多く、ずっと固定のクラスメートの中で問題が起きたときにクラス替えのない状況で思い詰めてしまう子もいるだろうし、15~20人ほどで分割できる人数なら複数クラスがある方がよいのにと感じます。
- ・冷暖房を全部の小中学校に完備し、勉強に集中できる環境づくりをしていただきたいです。我慢をするのも大切ですが、昨今の気温上昇を考えると、いち早くすべきだと考えます。
- ・1クラス30人以下に全学年してもらいたい。2クラス以上が望ましい。そのために統廃合し、必要などころにはスクールバスが安全でよいと思う。自宅近くでなくとも、例えば南小〇〇公園とか、その辺りまで歩き、歩く力もつけていく。
- ・小規模校が多くあることにおいて教員数が保てない大変さはあることはわかるが、その分、児童生徒一人一人に目が届いているのではないかとも思い、安心して通わせることができると考えている。また、児童生徒数が少人数である方が親としては友人関係の把握がしやすく安心できる側面もあり、学校統合については反対である。
- ・学年に関わらず1クラスの人数は20人未満が望ましいと思います。理由は担任の目が行き届きやすい人数がその程度であると考えているからです。
- ・小学校入学前なので、今現在学校の教育環境の様子が分からないのが現状です。小学校の宿題が多い話をよく聞きますが、多いからよいわけではないと思うのですが、その辺どうしてなのですか？また、子供によっては宿題すべてやるのが大変な子もいるのでは？その辺配慮されるのですか？
- ・通学バスをつくってほしい。一人で通学は不安。道も狭く、高齢者の運転も目立つため心配。
- ・子供たち各々が、自分らしさが発揮できるような環境を望んでいます。自分のよさや得意なこと(強み)に気がつけるきっかけとなる機会があるといいなと思います。
- ・教員の数を増やし、一人一人の負担を減らしてあげたい。教員が時間に縛られていると子供たちものびのびと学校生活を送れないと思うので。

- ・どんな環境の中でも等しく教育の機会が与えられること。また、ITが進む時代でも生身の体験が重要視されること。保護者と教育者が、お互いに意見を語り合えること。児童一人ひとりの個をおろそかにしないこと。
- ・神明小に上の子が通っています。桜木小に統合になるといううわさも出ていますが、神明小では近く歩いていける距離ですが、桜木や広沢小になると遠くなってしまいます。上の子もこのびと生活できているので、できるだけ廃校にはしないでください。1クラス17人ぐらいですが、先生ともよい関係で過ごせていると思います。
- ・<現職の小学校教諭として>あと1人～3人いれば2クラス、3クラスになるのという場面で、特に高学年31～35、MAX40人（注：R3から県は35になった）のクラスを一人で見るのは正直大変です。全学年30人以下にしてほしいです。<親として>何としても単学級は子供のために避けたいです（人間関係の広がり、クラスがないのもよくないと思います）。小学校が統廃合、合併となると通学距離、通学方法が心配です。
- ・コロナ禍でPC端末の一人一台導入へ向け計画が進んでいると思いますが、子供への身体や心への影響が心配です。安全性等を確認しながら慎重に進めてほしいです。（電磁波等の影響も不安です）
- ・桜木中学校ではまだ自転車通学が認められていません。桜木小、神明小から桜木中へ通い、自宅から少し離れている子もいます。自転車通学を早く認めていただきたいです。
- ・桐生市の人口や子供が減少していて、人口をこれ以上減らさないためには、他の自治体とは違った子育てしやすい桐生市にならないといけないと思います。学びの場にとって一番良いのは、児童一人ひとりにきめ細かい指導をすることだと思います。学校規模が大きくなると、不登校の生徒がそれなりの数生まれます。小規模の方が、生徒に目が行き届き、不登校になりにくいです。金銭的なメリットで学校の統合を考えているのだと思いますが、「桐生らしさ」、きめ細かい指導で不登校ゼロを目指す小規模学校の方が、これからの桐生の魅力になると思います。
- ・長期的な展望を持った政策に期待します。近隣の市町村に負けない子育ての魅力をしっかりと定めていってほしいです。医療費の無料化や給食の充実、市独自の教育政策を積極的に実行し、投資していってほしいです。子育てしたい街にならなければ、当然子供は増えず、教育環境も充実しません。極論を申せば、高齢者へのサービス以上に若年者、子育て世代への投資をしなければ、小規模の自治体は生き残れません。
- ・35人ぎりぎりで一クラスになってしまった場合、ソーシャルディスタンスが叫ばれている現在において密になってしまう。また、教員一人に対しての負担もかなり大きくなってしまいかねない。国の決まりは決まりかもしれないが、何らかの方法で是正できるといいと思う。
- ・通学路について（歩道が狭い等）の対応はどのように検討されているのか知りたい。
- ・地域によって、人数に大きな差ができてしまっているのは確か。しかし、統合した場合の通学時間があまりにもかかってしまうのも大変になってしまう。なので、現段階では分からない。自分の子供の学校が通うのに、もっと時間がかかるようになった場合、共働きなので、毎日の送り迎えは難しい。
- ・他市ではタブレット配布での学習が行われているが、桐生市では行われていない。スピード感が他市と比べると…。

- ・育成会はもういらぬんじゃないかと思えます。
- ・一学年1クラスではさすがに少なすぎると思うので、ある程度の統合は必要かと思えます。ただ、最近は危険な時間などもあるため、学校が遠くなり、通学に時間がかかりすぎると子供の安全について心配です。
- ・教育環境の充実や学校規模の適正よりも通学できるかが重要です。登校方法が整ってほしいです。遠くなればなるほどどのように行けばいいのかが心配になります。勉強方法としては個別化の方がより個人の能力に適して学べると思えます。教科別に生徒の人数を分けていくのもいいと思えます。すべてを集団として見ずに個々を見てもらいたいです。
- ・子供の学習環境も大事ですが、一番気になっているのは、イジメの問題です。正直桐生の現状はわかりませんが、自分のときは軽視されていたと思えます。20年ほど経過していますが、個々の学校ごとに真剣に取り組んでほしいものです。
- ・イジメがあってもすぐ気づいて対応してくれる。
- ・小中学校の教員の一部の方に生徒に対して好き嫌いで対応をかえたり指導をかえたりする先生がいると聞いています。低学年においては子供たちから直接聞くことはありませんが、高学年、中学校においては子供たちから名前をよく聞く先生もおり、不満を持っていることがうかがえ、子供たちのやる気をなくす原因にもなっているようです。授業内容などは今まで見聞きした中でそれほどではなく、問題も少ないと思えますが、先生の一部の対応により、目に見えて子供たちの不平不満を聞いてしまうと心配になります。改善をお願いできると助かります。
- ・合併することによって子供の通学時間が長くなると親としては心配になるので、合併はなるべくしないでいただきたい。もし、15分以上になるとしたらスクールバスなどを用意していただきたいです。
- ・学校の統合に賛成です。是非進めてください。梅田南小で梅田湖より奥より登校する児童にはスクールバスを活用していただきたいです。
- ・少ない学校は合併すべき。
- ・少しずれるかもしれませんが、人としての礼儀や相手の立場になって考えることの重要性を学べる環境を作ってほしい。性に関しての知識についてもっと早い年齢から教えてほしい。
- ・梅田地区は年々少子化が進み、児童生徒数が減少しています。1学年1クラスはあまり望ましくはありません。クラス替えもできず、同じ友達と義務教育の9年間をずっと一緒に過ごすのは、良いことよりもマイナスのことが多いと考えられます。ずっと同じ仲間で成長期を過ごすのは固定した人間関係が続き、新たな人間関係をつくりにくく、多様なものの見方に触れられなくなります。義務教育の9年間は、心身ともに大きく成長するととても大切な時期で、この時期により多くの同級生が一緒の方が切磋琢磨しながら学力、体力、向上心などが伸びていくと考えられます。そのためにも梅田地区の学校の小規模化を見直していただきたいです。子供たちが多様な人や多様な言語活動を通じ、自分のやりたいことを自由に選べるようにしてほしいです。

- ・学校規模適正化において、統合が進められると困る家庭が出てきてしまいます。市の予算等でできる限り不利益が発生しないようにまたは最小限になるように公平な施策をしていただきたいと思います。人口減少社会、少子高齢化の中で、学校統合は「いつか行われること」と捉えています。通学が遠方になる児童にスクールバスの充実、統合される学校の地理や歴史、文化を授業で理解し合える、などの対応をお願いしたいです。適正化でたくましい人間関係、構築の仕方、友情が育まれることを願いたいと思います。
- ・子供の数が少なくなりすぎて、小学校から中学校へ進学したときに通学先が変わっただけで人間関係や集団の空気に変化を期待できないので、学校統合を早く進めてほしいと思っています。小学校では特に低学年で少人数の集団（クラス）にすることで落ち着いて小学校生活をスタートさせて、生活に慣れていけるようにしてもらえると親としては安心です。
- ・私は梅田南小学校へ子供が通っているのですが、自然に恵まれ、人数は少ないけれど、とてもものびのびと学校生活を送れていると思います。一クラス19人なので最低の人数はいるので、よいですが、10人を切ってしまうと、やはり、少なすぎるような気がします。
- ・スマホを早い段階でもっている子も多く、SNSやLINE等も、子供たちにとって身近なものになっているので、「ネットいじめ」「サイバーいじめ」が心配。表に出にくいので学校側がどんな対策をとっているのか気になります。小学校のうちあまり大規模でない方が大人の目が行き届き安心できます。
- ・少子化による学校統合は仕方ないと思いますが、スクールバスなどの通学手段の充実や通学が遠くなる場合、交通安全や見守り、防犯対策にご配慮いただきたいと思います。また、少人数のための学級が1クラスになってしまうことは、良い面もありますが、子供同士の関係にとっても2クラス以上ある方がよいと思います。
- ・小学校が近くてもちゃんと行けるか心配なのに、統合して遠くなったら、場合によって親の送迎が必要となったときに仕事等でできない。スクールバス等で送迎してくれるならよいが、少人数になっても小学校の統合はしないでいただきたいと思います。子供自身が自分の足で通えるところの学校に行くのが一番だと思います。
- ・桐生市に児童館を設置してほしい。子供が遊ぶ場所を増やしてほしい（特に室内施設。雨でも遊べるため）キノピーランドがあるが、規模が小さい。小学生はすぐに飽きてしまう。
- ・桐生市の出生数を見て本当にびっくりしました。その反面、やっぱりという気持ちにもなりました。なぜなら、他の市町村に比べ全く魅力を感じないからです。上の子でも生徒数が少ないため、役員や旗振り当番も他校に比べ多く、少し負担に感じたりします。クラブや部活動も限られてしまいますし、子供たちにとってもよい環境とは思えません。このままでは子供たちというより人口が減り続けていくのではと私たち一般市民でも不安に思います。若い世代の方たちにとっても魅力を感じ、子育てしやすく、子供たちがずっと住み続けたいと思えるような桐生市にしてもらいたいです。ちなみに子供は桐生市にこのまま住みたいとは思わないそうです。

- ・統合への賛否について、統合することにより児童の登校距離が長くなり、徒歩での登校が難しくなる（親の側として心配です）。学校の校舎があるのに使わなくなるなんてもったいない。少人数でもよいから統合はしない方がよいのでは！！
- ・児童をまんべんなく見てもらっているので、現状の環境のまま続けてもらいたい。
- ・学校内のトラブル等があったときに、担任の先生に相談するだけでは教師内の上下関係等の理由で対応に時間がかかることが上の子の時にあった。学校以外に中立な立場で気軽に相談できるところがあるとよいと思う。
- ・小規模化の対応として統合といったことも考えられるが、小学校のうちに英語やICTについて細かく指導していただき、使い方を理解するようになっていく必要があるのではないかと考えます。
- ・1学年1クラスは、クラス替えがなくて、人間関係の幅が狭く、大人数になったときに、自分の意見が言いづらくなってしまふことがある。不登校につながることもあると思います。学校が遠くても、スクールバス等で、人数が多い環境で学校生活を送る方がよいと考えます。
- ・児童数の減少化が進む桐生市と増加するみどり市が連携すると適切な児童数を各学校に割り振れると思う。
- ・先生が目が届いて、個人個人へのフォローをしてもらえるように1クラスの人数は15～20希望。勉強やクラスの中で落ちこぼれになることのないように指導できるクラスになってほしい。
- ・小学生の低学年と高学年では体力の差も大きく、学校が遠方になるのは不安。1～3年生はスクールバスを利用できるようにしたり、1～3年生は小規模学校で4年以上から学校を統合するなどしてほしい。すごく田舎で地方で1時間とかかけて登校しているようなところもあるようだけれど、かわいそうに思う。また、桐生は車どおりも激しい通学路も多く、通学時間が長くなるのは心配。低学年は通学中の事故で亡くなる率が高学年や中学生と比べて高い。小学校へ進学で一番の心配は安全に通学すること。
- ・大人は12：00にお昼を食べています（会社など）。子供たちにも12：00にお昼を食べられるような時間割を願います。宿題が多すぎるのも負担が大きいです。のびのび、楽しく、学べるようよろしくお願いいたします。
- ・地域で子供の人数に差があり、小規模化への懸念はあります。学校での教師の質の差、小規模化でのクラス、教師の数など、各学校の均衡がとれるのか心配でもあります。教育、人に差が出ないようにしていただきたいです。子育て環境が充実と謳っているのならば、しっかり末端の声も聴き、柔軟に対応していただき、子供第一で考えてほしいです。
- ・1学年1クラスは少なすぎると思う。
- ・学校同士が交流できるように行事を企画してほしい。小中高の学校で交流できる縦のつながりも学んでほしい。

- ・子供が笑顔で通える学校づくり。困っていたら状況を改善しようと努力し、おさえこまず、きちんと助けを求める子供に寄り添える先生、学童もそして学校であってほしい。望むのは以上です。（学童を利用している児童、親へのアンケートもぜひ実施していただきたい。学校もですが、定期的に行えたらより充実すると思います。難しいと思いますが）
- ・日本の昔のやり方ではなく、現代に合わせた教育を行っていくべきだと思う。知識詰め込み型ではなく、「個々の才能を伸ばす」ことに重視していった方が、海外などでの活躍なども増え、諸外国にも通用する能力など子供たちの将来の選択の幅が広がると思う。フィンランドやオランダは子供教育においてトップクラス。能力を伸ばすことに重点を置いているので、自然と「ほめること」を大事にし、考えて導き出すことにも重視しています。日本の教育の良い点と他国の良い点を取り入れて、桐生市独自の子供が自分らしく輝ける未来を行政、教師、親と一緒にサポートしていけたらよいと思う。
- ・（上記に書かせていただいたように）、一人ひとりの子供たちが楽しく喜んで自分の思いを出せるのびのびした環境の中で、いろんな社会を学んでほしいと願っております。「食べているもので体はできている」ことも、大人も子供も学びながら楽しく幸せに笑顔で生きてほしいです。命を大切に…。自殺する子が一人でもいなくなりますように。
- ・登校距離が遠くなる。
- ・学級数で教員数が決まっているのが間違っているのではないかと思います。必要な業務に対して教員等が配置されるべきで、児童数で決まるものではないと思います。そのしわ寄せで遠くの学校まで通うことになれば、通学の負担、地域から離れることなど、良くないことの方が多いと思います。人間関係を広げるためには、学校間交流を積極的にしてほしいと思います。
- ・小中学校の小規模化として、学校の統合が考えられますが、この対応については、仕方ないと思い、どちらかという賛成です。今現在自宅から1番近い小学校でも近いうちに統合されてしまうのだろうと予想はしています。うちではたとえ統合されても徒歩30分以内で通うことができるので、通学時の子供の心配がないのでいいのですが、もし、統合することにより通学時間や距離が遠い子供が出てしまうと親御さんや小学校の対応がどうなってくるのか心配です。そして、クラスの数や学年1クラスに対する人数が増えてくると先生の子供への対応など目の届く対応ができるのかが気になります。子供への安心、安全で楽しく学べる小学校であってほしいです。
- ・新型コロナウイルスがなかなか終息しませんが、去年より今年は休校になることもなく、プールの授業も行えて有り難いです。先生方は、毎日消毒検温、ご苦労様です。教員の皆様も早くワクチン接種が進みますよう願います。給食も無言で食べていると子供から聞き、感染が抑えられているのだなども改めて思いつつ、少しでも早く自由におしゃべりして給食が食べられる日を願います。遠足やその他の行事がたくさんできる日が楽しみです。そして、桐生市の人口が増えるといいですね。

- ・上に立つ者（役職）が型にはまり、柔軟な考えを持っていないことが問題であると考え。このようなアンケートをした結果をオープンにしてもらいたい。大規模な学校は職員を増やすか生徒数を分散させてほしい。きめ細かな対応が不十分と言える。
- ・少子化が進む中、学校の統合は必要だと思います。多くのことを学び、経験できる場所であってほしいです。しかし、都市によって、それぞれの学校によって学力差があります。教育差が生まれぬよう願います。
- ・オルタナティブスクールと市の小学校との距離感をもっと縮めて、学びの場にもっと自由な選択があるとよいと思います。子供の居場所は一つではない、いろんなところでたくさんの学びがあると子供の未来への可能性が広がると思います。市からも多様な学びの場を子供自身で選択することについて応援していただけると親としても嬉しく思います。よろしくお願いいたします。

○その他意見

【問1】その他

- ・群馬県立桐生特別支援学校
- ・前橋市立大胡東小学校
- ・前橋市立月田小学校
- ・前橋市立粕川小学校
- ・共愛学園小学校
- ・伊勢崎市立あずま南小学校
- ・伊勢崎市立あずま北小学校
- ・伊勢崎市立赤堀東小学校
- ・伊勢崎市立赤堀南小学校
- ・伊勢崎市立茂呂小学校
- ・太田市立鳥の郷小学校
- ・太田市立藪塚本町小学校
- ・太田市立藪塚南小学校
- ・ぐんま国際アカデミー
- ・みどり市立笠懸小学校
- ・みどり市立笠懸西小学校
- ・みどり市立笠懸東小学校
- ・みどり市立笠懸北小学校
- ・みどり市立大間々東小学校
- ・みどり市立大間々北小学校
- ・足利市立けやき小学校
- ・佐野市立城北小学校
- ・浜松市の小学校
- ・九州の小学校

【問5】その他

- ・保護者送迎
- ・徒歩と自家用車半分ずつ。
- ・障がいがあるので徒歩での通学が難しいため（自家用車で送迎）

【問7】その他

- ・年々児童が少なくなっているところは、バスに乗ったりとかを考えた方がよい。

【問8】その他

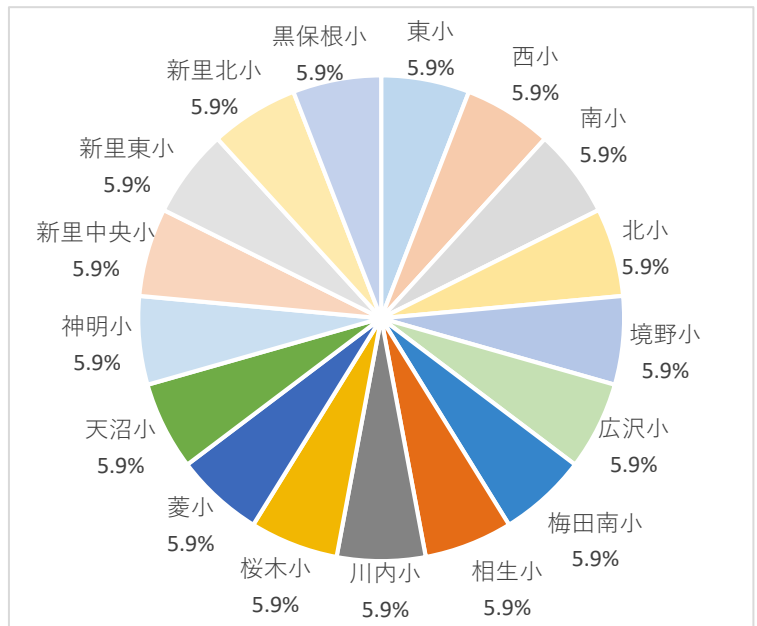
- ・学校での教育、学習は、学校の時間内に終わらせることが望ましいと思います。現在の小学校は宿題が多いなど大変だとよく耳にします。
- ・学校、児童、保護者、地域のネットワークを構築し、学校外の教育力を活用して児童の成長の環境を整えること。
- ・考える力、判断力、応用力をできる限りで伸ばせれば良。一人ひとりの子供たちが本当に困ったときに、「助けて」と言える環境を日々つくってあげる配慮や信頼関係が築けることが一番の希望です。

教職員（小学校）集計結果

1 あなたご自身のことについてうかがいます

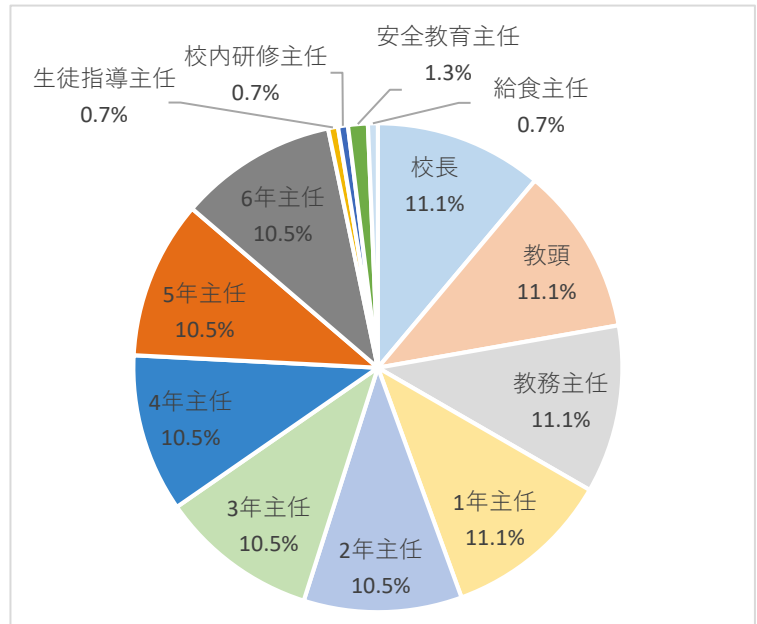
問1 ①あなたの勤務校名を選んでください。（1つ選択）

学校名	回答数	割合
東小	9	5.9%
西小	9	5.9%
南小	9	5.9%
北小	9	5.9%
境野小	9	5.9%
広沢小	9	5.9%
梅田南小	9	5.9%
相生小	9	5.9%
川内小	9	5.9%
桜木小	9	5.9%
菱小	9	5.9%
天沼小	9	5.9%
神明小	9	5.9%
新里中央小	9	5.9%
新里東小	9	5.9%
新里北小	9	5.9%
黒保根小	9	5.9%
回答者総数	153	100.0%



問1 ②あなたの役職等を選んでください。（1つ選択）

役職名	回答数	割合
校長	17	11.1%
教頭	17	11.1%
教務主任	17	11.1%
1年主任	17	11.1%
2年主任	16	10.5%
3年主任	16	10.5%
4年主任	16	10.5%
5年主任	16	10.5%
6年主任	16	10.5%
生徒指導主任	1	0.7%
校内研修主任	1	0.7%
安全教育主任	2	1.3%
給食主任	1	0.7%
回答者総数	153	100.0%



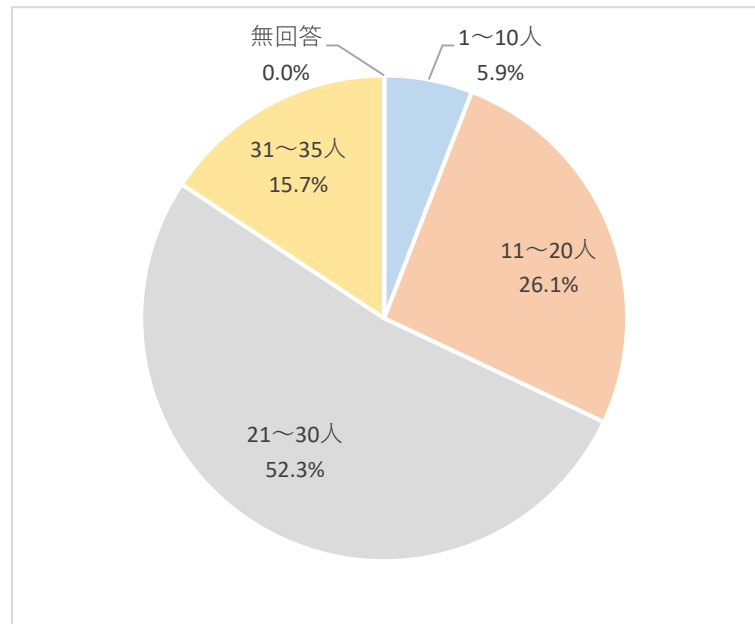
2 学級の人数と、その印象についてうかがいます

問2 あなたの勤務校の一学級あたりの児童数は何人ですか。（1つ選択）

1学級の人数については、「21～30人」の割合が最も高く（52.3%）、次いで「11～20人」（26.1%）、「31～35人」（15.7%）となっている。

（単回答）

選択肢	回答数	割合
1～10人	9	5.9%
11～20人	40	26.1%
21～30人	80	52.3%
31～35人	24	15.7%
無回答	0	0.0%
回答者総数	153	100.0%

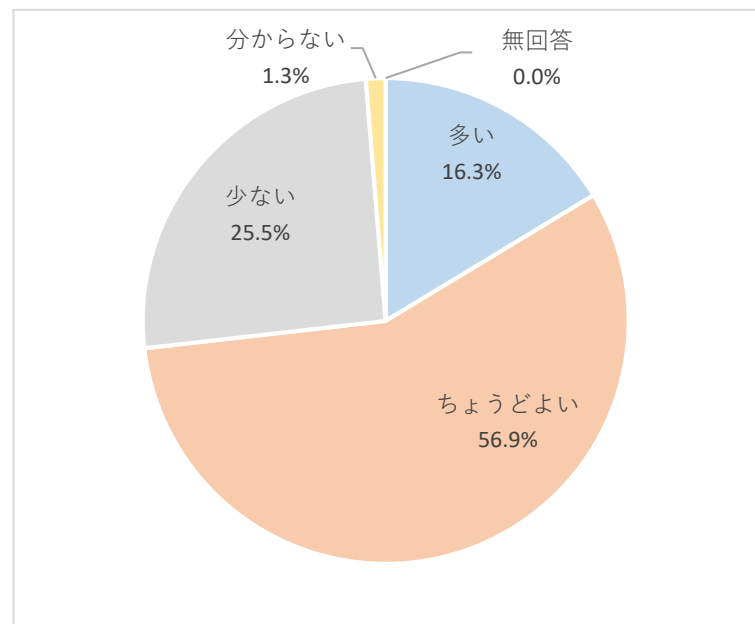


問3 勤務校の所属学年の児童数について、どのように感じていますか。（1つ選択）

1学級の人数の印象については、「ちょうどよい」の割合が最も高く（56.9%）、次いで「少ない」（25.5%）、「多い」（16.3%）となっている。

（単回答）

選択肢	回答数	割合
多い	25	16.3%
ちょうどよい	87	56.9%
少ない	39	25.5%
分からない	2	1.3%
無回答	0	0.0%
回答者総数	153	100.0%

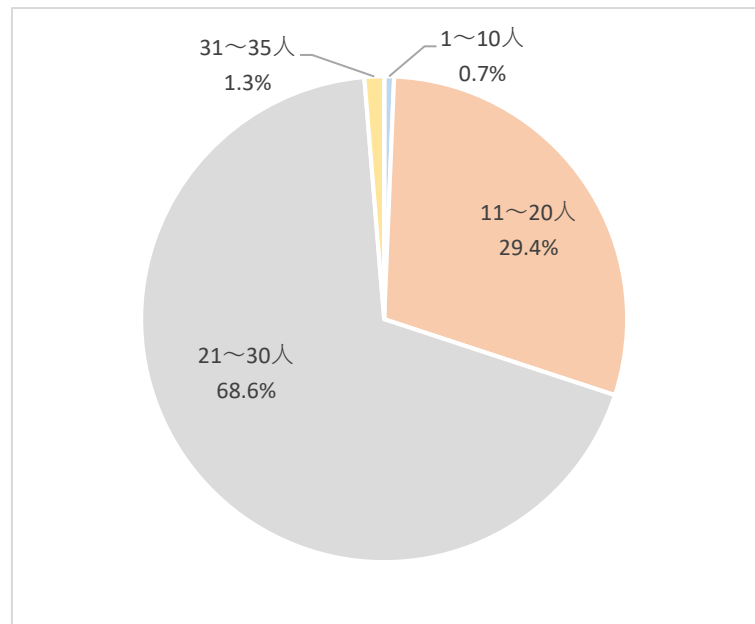


問4 小学校の一つの学級には、何人の児童がいればよいと考えますか。（1つ選択）

1学級の理想的な人数については、「21～30人」の割合が最も高く（68.6%）、次いで「11～20人」（29.4%）となっている。

（単回答）

選択肢	回答数	割合
1～10人	1	0.7%
11～20人	45	29.4%
21～30人	105	68.6%
31～35人	2	1.3%
分からない	0	0.0%
無回答	0	0.0%
回答者総数	153	100.0%



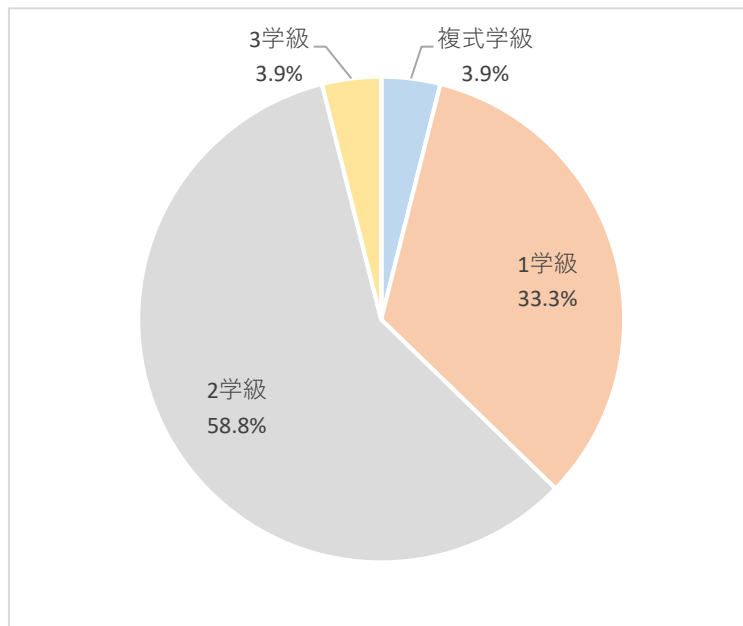
3 学級数についてうかがいます

問5 勤務校の学年には、学級がいくつありますか。(1つ選択)

1学年の学級数については、「2学級」の割合が最も高く(58.8%)、次いで「1学級」(33.3%)となっている。

(単回答)

選択肢	回答数	割合
複式学級	6	3.9%
1学級	51	33.3%
2学級	90	58.8%
3学級	6	3.9%
4学級	0	0.0%
5学級	0	0.0%
6学級以上	0	0.0%
無回答	0	0.0%
回答者総数	153	100.0%

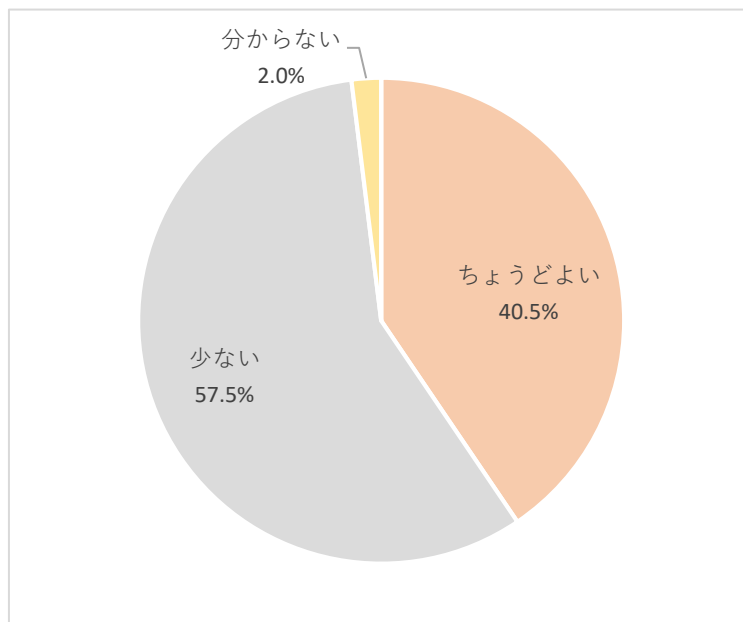


問6 勤務校の一学年当たりの学級数について、どのように感じていますか。(1つ選択)

1学年の学級数の印象については、「少ない」の割合が最も高く(57.5%)、次いで「ちょうどよい」(40.5%)となっている。

(単回答)

選択肢	回答数	割合
多い	0	0.0%
ちょうどよい	62	40.5%
少ない	88	57.5%
分からない	3	2.0%
無回答	0	0.0%
回答者総数	153	100.0%

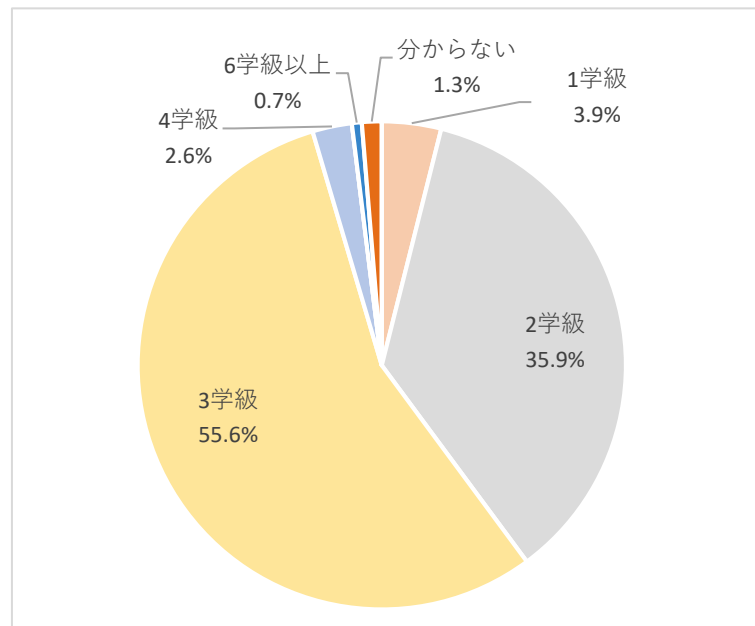


問7 小学校の一つの学年にはいくつの学級があればよいと考えますか。(1つ選択)

1学年の理想的な学級数については、「3学級」の割合が最も高く(55.6%)、次いで「2学級」(35.9%)となっている。

(単回答)

選択肢	回答数	割合
複式学級	0	0.0%
1学級	6	3.9%
2学級	55	35.9%
3学級	85	55.6%
4学級	4	2.6%
5学級	0	0.0%
6学級以上	1	0.7%
分からない	2	1.3%
無回答	0	0.0%
回答者総数	153	100.0%



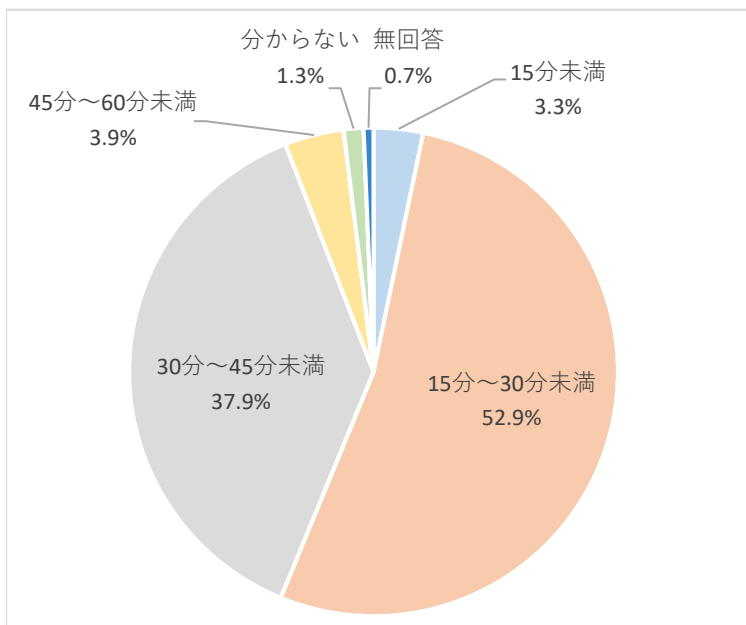
4 通学環境についてうかがいます

問8 小学生にとって通学の限度（最長）と思われる時間はどのくらいですか。
(1つ選択)

通学時間の限度については、「15分～30分未満」の割合が最も高く（52.9%）、次いで「30分～45分未満」（37.9%）となっている。

(単回答)

選択肢	回答数	割合
15分未満	5	3.3%
15分～30分未満	81	52.9%
30分～45分未満	58	37.9%
45分～60分未満	6	3.9%
60分以上	0	0.0%
分からない	2	1.3%
無回答	1	0.7%
回答者総数	153	100.0%

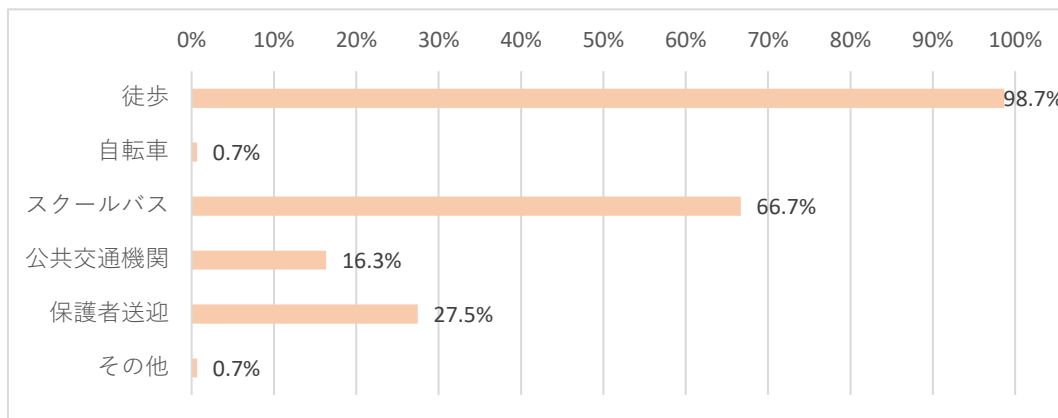


問9 小学生が通学するのに考えられる方法はどれですか。（あてはまるもの全て選択）

小学生の理想的な通学方法については、「徒歩」の割合が最も高く（98.7%）、次いで「スクールバス」（66.7%）、「保護者送迎」（27.5%）となっている。

（複数回答）

選択肢	回答数	割合
徒歩	151	98.7%
自転車	1	0.7%
スクールバス	102	66.7%
公共交通機関	25	16.3%
保護者送迎	42	27.5%
その他	1	0.7%
回答総数	322	



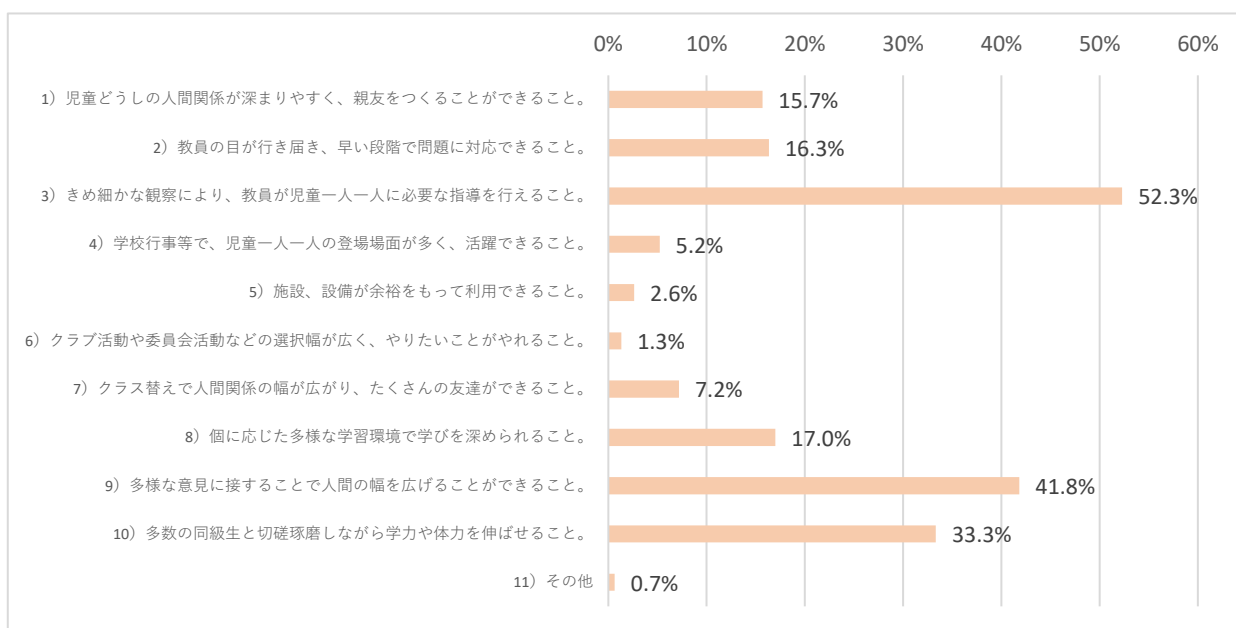
5 学校規模に関わる教育環境についてうかがいます

問10 小学校が社会から期待されている役割を、どのように考えていますか。
(あてはまるもの上位2つ選択)

小学校に期待する事項については、「きめ細かな観察により、教員が児童一人一人に必要な指導を行えること。」の割合が最も高く（52.3%）、次いで「多様な意見に接することで人間の幅を広げることができること。」（41.8%）、「多数の同級生と切磋琢磨しながら学力や体力を伸ばせること。」（33.3%）となっている。

(複数回答)

選択肢	回答数	割合
1) 児童どうしの人間関係が深まりやすく、親友をつくることができること。	24	15.7%
2) 教員の目が行き届き、早い段階で問題に対応できること。	25	16.3%
3) きめ細かな観察により、教員が児童一人一人に必要な指導を行えること。	80	52.3%
4) 学校行事等で、児童一人一人の登場場面が多く、活躍できること。	8	5.2%
5) 施設、設備が余裕をもって利用できること。	4	2.6%
6) クラブ活動や委員会活動などの選択幅が広く、やりたいことがやれること。	2	1.3%
7) クラス替えて人間関係の幅が広がり、たくさんの友達ができること。	11	7.2%
8) 個に応じた多様な学習環境で学びを深められること。	26	17.0%
9) 多様な意見に接することで人間の幅を広げることができること。	64	41.8%
10) 多数の同級生と切磋琢磨しながら学力や体力を伸ばせること。	51	33.3%
11) その他	1	0.7%
回答総数	296	

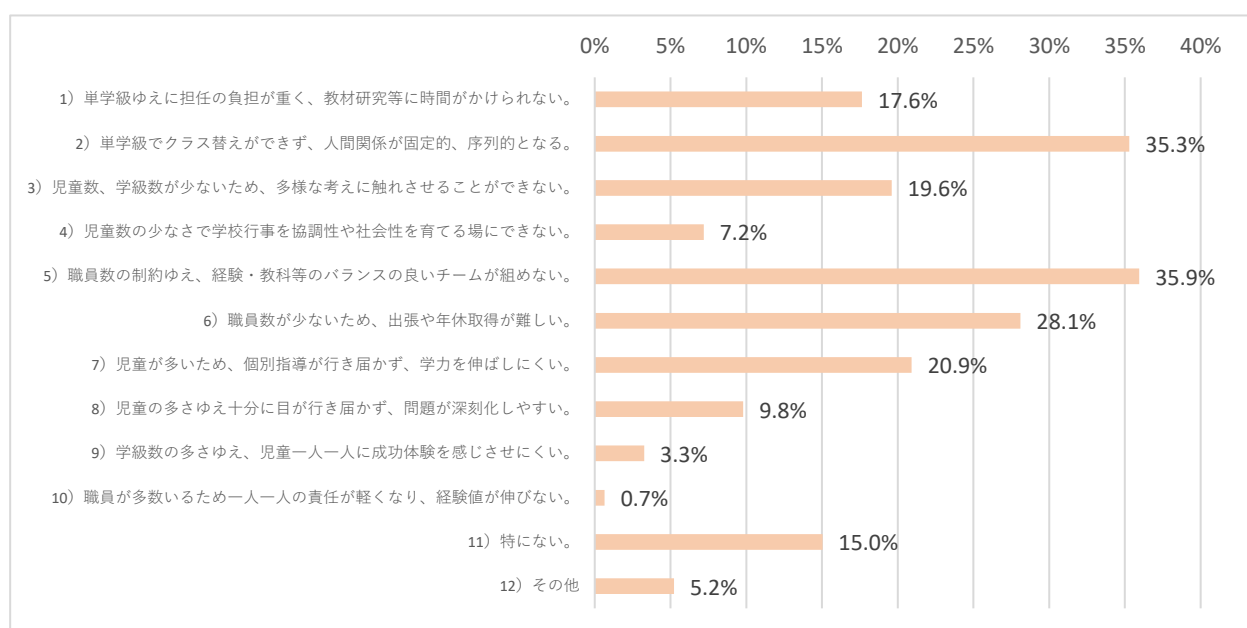


問11 学校規模（児童数、学級数）に関して、日々の業務で困っていることがありますか。
（あてはまるものを全て選択）

学校規模で困難な事項については、「職員数の制約ゆえ、経験・教科等のバランスの良いチームが組めない。」の割合が最も高く（35.9%）、次いで「単学級でクラス替えができず、人間関係が固定的、序列的となる。」（35.3%）、「職員数が少ないため、出張や年休取得が難しい。」（28.1%）となっている。

（複数回答）

選択肢	回答数	割合
1) 単学級ゆえに担任の負担が重く、教材研究等に時間がかけられない。	27	17.6%
2) 単学級でクラス替えができず、人間関係が固定的、序列的となる。	54	35.3%
3) 児童数、学級数が少ないため、多様な考えに触れさせることができない。	30	19.6%
4) 児童数の少なさで学校行事を協調性や社会性を育てる場に行かない。	11	7.2%
5) 職員数の制約ゆえ、経験・教科等のバランスの良いチームが組めない。	55	35.9%
6) 職員数が少ないため、出張や年休取得が難しい。	43	28.1%
7) 児童が多いため、個別指導が行き届かず、学力を伸ばしにくい。	32	20.9%
8) 児童の多さゆえ十分に目が行き届かず、問題が深刻化しやすい。	15	9.8%
9) 学級数の多さゆえ、児童一人一人に成功体験を感じさせにくい。	5	3.3%
10) 職員が多数いるため一人一人の責任が軽くなり、経験値が伸びない。	1	0.7%
11) 特にない。	23	15.0%
12) その他	8	5.2%
回答総数	304	

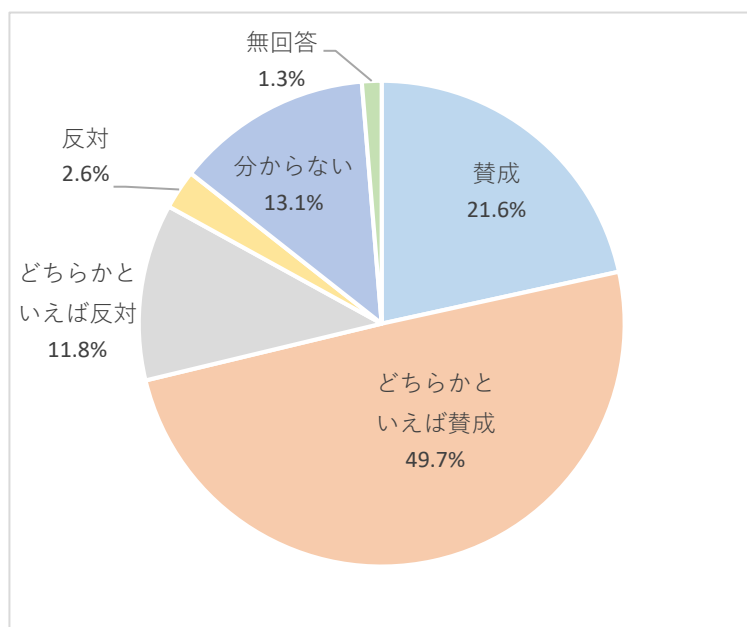


問12 小中学校の小規模化への対応として、学校の統合を進めている自治体もあります。
このような対応についてどのように考えますか。(1つ選択)

学校の統合に関する考えについては、「どちらかといえば賛成」の割合が最も高く
(49.7%)、次いで「賛成」(21.6%)、「分からない」(13.1%)、「どちらかといえば反
対」(11.8%)となっている。

(単回答)

選択肢	回答数	割合
賛成	33	21.6%
どちらかといえば賛成	76	49.7%
どちらかといえば反対	18	11.8%
反対	4	2.6%
分からない	20	13.1%
無回答	2	1.3%
回答者総数	153	100.0%



【問13】 桐生市の教育環境の充実や学校規模の適正化等についてどのように考えますか。

(自由記述)

- ・子どもたちが一定規模の集団の中で学ぶことの意義については総論としては賛成意見が多いと思いますが、学校は社会的な存在でもあるので、各論としては保護者、地域、卒業生など多方面に配慮しなければならないことが、この問題の難しいところであると感じています。「誰のための何のための学校か」という本質をずらさず、議論を進めていくことが大切だと思っています。
- ・校舎の老朽化に伴い、不具合を感じる事が度々あります。黒板、壁、暖房器具など使いやすい状態になるとよいと思います。さらに、電子黒板などICT機器が整備され、児童にとってわかりやすい環境ができるとよいと思います。
- ・将来的に子どもの数が減少していくことを考えると学校の適正配置は、避けて通ることはできないと考えます。
- ・小学校の統合の場合、通学距離が長くなり、徒歩での通学が困難になるため、スクールバスなど通学手段の確保が必要だと思う。
- ・PCを利用する際の制限が多く、効率が悪いため、勤務時間が長くなりました。
- ・勤務時間内に教材研究できる時間をつくる。そのためには、校務を減らす。
- ・職員数を減らし過ぎずに配置し、学力向上特配などを入れ、算数の習熟度別学習や個別指導などを行い、個に応じた教育ができると思います。
- ・自力で登校することを考えると学校統合を望まない。人数が少なくなってしまうとやむを得ないのかなと思います。
- ・極力単学級を回避できるとよい。(合併なしでできるとよい)
- ・統合を進める場合、「児童の通学環境」(距離、時間、通学路状況等)を優先して考えていただきたい。(適正な配置が優先であり、必要に応じて施設の改修を行うことも本格的に考慮していただきたい)
- ・児童数の減少によって教科指導を行いつらいことも過去に経験した。地域の意見・考えなどにより学校の統合は簡単に進まないと思うが、問題を一つ一つクリアーして学校規模を適正にしていく必要があると思われる。
- ・適正配置の基本方針を打ち出すのに時間をかけて丁寧に進めていくことはとても良いことだと思います。具体的な適正配置が行われるまでの小規模校における高学年の教科担任制の実施や教職員の校務支援に関わる人員配置についてこれまで以上に人的環境を整えていただけると幸いです。
- ・中学校が統合された。小学校も統合されるべき。しかし、教育環境の充実にはやることを減らすことが必要である。統合されたらそれでよいではなく統合を機に仕事量や子どもの負担感を減らす方策が必要である。(「～教育」の削除、学校事務の簡素化など)

- ・人数が少ないから統合するとなると小さいものが大きいものに負けたという意識が出てきます。将来どのような街づくりをしたいから複数校を集めてスクールバス通学の新しい学校を作りますということであれば、桐生市の教育環境整備も進むと思われます。こんな街にしたいというビジョンがあっての学校規模適正化を望みます。
- ・低学年で児童数の関係で例えば3クラスだったとしても学年が上がると2クラスになる可能性がある。安定している学年はよいが、困難な学年であると、問題が起きやすい環境になり、課題だと考える。
- ・桐生市全体なのか地域性かはわかりませんが、20～30年前に比べて教育現場に対する理解がなく、学校に対して攻撃的でやりづらいです。他地域（他都市）の保護者の方が理解があったり、協力的でした。教員の頑張りや資質で言えば桐生市の方（この学校の方）がよいと思います。
- ・学校にWi-Fiが整備されたりchrome bookが配られたりICTを使える環境が整ってきているのはよいことだと思う。しかし、制約が多く、より便利な使い方ができない。例えば現状では教室のTV等に無線で映すことができない。常にTVの前にはないと操作ができない。結局、自前の機器を使い以前とあまり変わらない。児童1人ひとりが、chrome bookを使いこなすようになれば、使い道も広がると思うが、無線化できないのは可能性をととても狭めていると思う。管理上様々な課題があると思うが、Wi-Fiのネットワークを有効に使えるようになると便利だと思う。
- ・多様な児童が増えているため、一学級30人以内が有り難いです。
- ・幼小中の連携の大切さはわかりますが、一学年の人数が一桁しかない幼稚園を存続させる意義が見いだせません。送り迎えも確実にあることを考えると統合させる方向がよいと考えます。小学校についても、通学等を考えた上でできる限り3クラス以上のクラス編制になるよう統合した方がよいと考えます。メリットデメリットありますが、中学校についても新しい環境、新しいメンバーで切磋琢磨しながら成長したほうが刺激もあり、良いと考えます。4クラス程度が理想的だと思います。統合することにより税金面でもメリットが考えられます。
- ・単学級や極めて少ない児童数の学校ですと子どもたち同士の間関係の広がりや深まりを認めにくいのではないかと想像します。統合等を行うことにより、児童生徒の通学の難しさもあると思いますが、適した人間関係づくりを適した環境で行うことで「桐生の学校で学べてよかった」と思える児童生徒が増え、桐生を好きな子供が増えることにつながるのではないかと考えています。アンケート調査、大変お世話様になりますが、よろしく願いいたします。
- ・旧黒保根地区だけでなく、旧桐生市内も新過疎法による支援を模索せざるを得ない社会的現状を考えた時に、教育環境以前にその土台となる地域づくりの課題について考えていかなければならないことだと思う。昭和40年代にあいついで新築、改築された校舎が果たして現状の教育環境に合致しているか否かも検討する必要がある。学校数、児童生徒数などの適正規模という数字だけにこだわると例えば夕張市のように交通機関を使ってさえ通学に60分以上かかるという負担がかかることになる。ひいては住みにくい地域となり、さらなる過疎へもつながっている。教育問題だけでなく、様々な面から総合的に過疎問題を論じなければならぬと思う。

- ・地元住民の方々の学校への期待はとても大きいと感じる。児童生徒を取り巻く環境として地域の力は大切であるので、地元の理解を十分にくみ取りながら進めていくことが肝心であると感じます。
- ・小規模のメリット（目が行き届き、きめ細かな指導）を十分に生かした教育に重点を置ける今の環境は素晴らしいと思う。
- ・学校の統廃合は必須。理想は1学年に3クラス。担任3人副担任3人。（一つのクラスに担任と副担任が一人ずつ配置されているパターン）配当される予算は学校の児童数に合わせて増減される方がよい（基準はわからない）。
- ・単学級の学年は児童の人間関係、多様な経験、教師の負担等様々な面から問題がある。ただ、学級の人数が多すぎると教師の目が届きづらく、学習面、生徒指導面で十分な指導ができない。学級の人数20～30人、学年2学級で小中、小小連携の活用、教育活動支援員の増員、DX担当の加配等によりさらに質の高い教育を目指していけるとよいと思う。
- ・以前、統廃合が必要な学校に勤務し、担任として統合までの学校やPTA、地域の動きを見ました。とても難しいことだと実感しています。地域の学校はその出身者にとって大切なものです。しかし、ある学校を全て存続させることは不可能です。また、今回は私の経験と異なり、全市的な傾向への対策を理解してもらう必要があります。少し時間はかかると思いますが、自然体で様々な方から御意見をいただき、方向性を定め議論していくことで、より多くの方々に納得してもらえるこの方法は大切だと思います。「自分の母校が」という考えでなく、「桐生市の将来像」という視点で進めていくことをお願いします。
- ・学校の統合等については、賛成反対の様々な意見があるが、変化した後にはやってよかったと思われるようにしていくことが大切である。
- ・統合となった場合、広範囲にわたる児童の登下校を教員がカバーする現状の仕組みではさらに負担が大きくなるのではないかと気が気ではありません。
- ・このように現場の声を集める機会をつくっていただき、感謝いたします。教育環境の充実、規模の適正化について、もちろん重要な課題だと思います。同時に肝心な中身である教育の質についても、現場の人間を含めてみんなで議論していける場があるとよいのではないかと思います。また、現状では桐生に特区が少なく、既存の枠の中でしか裁量がない状況なので、根本的な改革がしづらいのでは、と思います。例えば、次年度から実施される授業時数の特例校のような学校を一つ設定し、未来の教育の情報発信校という位置づけにしたり、経産省のエドテック導入補助金をもらったり、ガバメントクラウドファンディングで資金と注目を集めたりと、抜本的に在り方を変えていけるような取り組みを期待しております。

- ・単学級が見られることや桐生市内の児童数の減少、出生数の推移からも統廃合が加速していくと思います。子どもたちが学校生活を送る環境としてより良い形を考えていただけるとよいと考えます。
- ・情報機器が充実。（プリンターやプロジェクター、デジカメ、大型モニターなど）会議や研修等オンラインでできるものはオンラインで実施。
- ・ICTを活用した授業改善の難しさを感じる。（理由：ICTリテラシーの向上に時間がかかる。主体的・対話的で深い学びの理解が進んでいない）
- ・児童1人1人端末や高速大容量通信ネットワークの環境等GIGAスクール構想に基づいた整備を進めていただきありがとうございます。Society5.0（超スマート社会）を生き抜く子供たちにとってはICTの活用は不可欠なものとなっています。さらなるICTやネットワークの充実に桐生市が県内でも最先端を行くことを期待します。
- ・C4thの権限をもう少し担任がもてると成績処理が楽になる。特に以下2点①通知表の印刷プレビュー②要録の印刷プレビュー。さらに教頭先生の仕事を減らせる。共有（所属グループ）の通信容量を拡充してもらえると新年度に共有に入れず年度初めに作業が滞ることがなくなる。パソコンの動作の速度が速くなると作業がしやすい。インターネットから資料をダウンロードし、印刷できるまでの工程が複雑すぎる。
- ・小規模の良さもあるが、担当分掌の数などで個人負担が大きいので、適度な職員数は必要であると考えます。
- ・建物や設備の老朽化が激しいので、統合できるところはして、新しくしてほしい。前任校は単学級のみだったので、校務分掌が10個（細かいものも含め）ありました。毎日分掌の仕事に追われて、教材研究もままならなかったのが、適正な数になるのはよいと思います。
- ・地元の意見も尊重しつつ決めるところは決めていただきたい。どんどん小規模化している現状は好ましくないと思います。
- ・今の教員数を維持しつつ統合できるとバランスが良くなると思います。
- ・あと数年で児童数が激減するなら、小学校統合も仕方がないと思う。その中、何度も何度も統合を繰り返すことのないよう、考えてもらいたい。例えば、中学校学区で小中一貫校を桐生市全体で作っていくよう考えていくなど。栃木県塩原市では市をあげて、また、県をあげて小中一貫校を進めているといいます。今後どんどん子供が減っていくことが分かっているなら、大きなメスをこれから入れていくのも必要だと思う。一貫校であれば小、中教員の交流も進められ、小学校の児童も中学校の生徒も各教科において専門的な学習が進められる利点がある。また、行事の面でも一緒に行うことで保護者参観の回数が減り、負担も減る。統合にしろ、一貫校にしろ、桐生市は財政難のため既存の校舎を使っているが、他市町村のように新校舎を作るなど教育にお金をもっと使い、長い目でこれからの小中学校の行く末を考えてほしい。（後々、いい学校になったねと言われるよう）
- ・子どもたちが社会性や協調性を身に付け、多面的な思考や適正な判断力を培うには、多様な考え方や価値観に接することが必要である。学校には一定規模以上の学級数を設けることが望ましいと考える。

- ・学級数が少ない（単学級）ため、子供の間関係が固定化され、問題が深刻化しやすい。できれば学級で2学級あるとよいと思います。
- ・タブレットを含む情報機器の環境の充実を。他郡市に比べ見劣りする。
- ・子供の数は減っているが、きめ細かな指導が必要な児童の数は増えている。高学年ほど子供の身体が大きくなり、教室の広さにあった児童数にすべきと考える。30人以上の学級は大変だと思う。
- ・各学校の現状を丁寧に聞き取り、それに応じて教員の増員が行えるようにしてほしい。
- ・学校統合には地域・保護者の理解が必要不可欠であるのは理解できるが、それを最大限尊重すると、声の大きな地区は適正な学校規模の実現がなされず、結果的に、市民の受益の公平性が保たれない恐れがある。本アンケートの間1は、完全に個人名が特定されます。必要性に疑問を感じました。
- ・極端に少ない・多い児童生徒数では、できることも限られてしまうと思います。そのため、規模の適正化を図っていくことが必要だと感じます。ただ、通学距離があまり遠くなってしまうのも安全面からどうかなと思ってしまいます。
- ・ミライシードが使いづらい。最低でも「ラボ」が入っていたら、他の方の実践が見れて参考になるかもしれません。また、e-ライブラリとミライシードが独立しているので、ドリルパークを使うと「カルテ」等が更に使えると思います。※限りある予算なので無理には言いません。今でも十分活用できています。
- ・昨年度、他市からの異動となりました。1年間桐生市で勤めさせていただきましたが、とても良い環境だと感じております。引き続き、桐生市のため精進してまいります。
- ・桐生市全体を考えた場合には、学校の統合を考えていく必要を感じます。ただ、小学校においては遠距離となる通学問題の対策や、児童数の減少により統廃合を短期間で繰り返す事がないようにするなど、長期的な見通しに立って考えていくことが大切であると思います。
- ・小規模校のメリットもあるとは思いますが、より多くの人間とかかわりを持ち、多様な考えに触れることは、小中学生の時期に必要なことだと思います。その実態に応じて進めていくのがよいと考えています。
- ・理科室のエアコン設置をお願いしたい。
- ・できれば30人以下学級が理想です。
- ・理想としては30人以内の学級児童数で3学級が望ましいと考える。30人以内であれば、教員の目が届きやすく、丁寧な対応ができる。また、児童どうしの間関係や活動における活気等を考えると学年3学級を理想としたい。現在は児童数・学校規模から児童どうしが関わり合う場を確保でき、市内小学校においては恵まれていると言える。適正配置については、中学校区を意識しながら進めていくことが現実的ではあるが、距離の問題は無視できない。スクールバスの活用などが必要になる。

- ・学校の規模は適正規模が望ましいと考える。しかし、統廃合し、学校がなくなってしまう地域は、地域のコミュニケーション崩壊を招く恐れがある。地域づくりと統廃合を一緒に考えていただけることを望みます。
- ・各教員が使用しているPCの動きが悪く、使い勝手が良くないので、改善していただきたいと思います。
- ・単学級や複式学級はなるべくない方がよいと思う（スクールバスで対応できる）。各学年2～3クラス程度がよい。学級内の人数は、桐生市として30人以下学級とすれば、2～3クラスの学年が増え、学校内に活気が戻ると思う。桐生市自体がもっと明るく、もっと元気になってほしいです。
- ・25人程度の人数で1学級ならば、より個々に支援ができます。学級の中に座っているのがやっとなという児童がいます。この児童を支援するには、人数を減らすか、教員を増やすかが必要だと感じてしまいます。（今できることはもちろん行った上で思ったことです）
- ・学校の統合を進め、各校に配属される教職員数が増加されるのであれば、働き方改革が進められ、有り難いと感じます。
- ・地元の人との地価の関係もあり、コミュニティの関係もあり難しい。小学校単位の中学校の統合がありましたが、成功かどうかはわからない。また、私立中学校が増え、親の考え方も多様化し、子供の力の差が大きくなっているように思える。
- ・長期的な視点に立ち、学校の適正配置を考えていかなければならない。統廃合により新しい学校づくりを進める中で、施設設備にも重点的に予算を付けて魅力ある学校づくりができるようにしてほしい。桐生の未来を支える人材を育成する教育のため、桐生市がどれくらい本気になり、市民と一体となって考えられるか、問われている気がします。
- ・現在、学校はどこも子どもの数の減少によって課題が多くなっていると認識しており、学校の統廃合等を行う必要性を感じている。一方で現在の教育の質や環境が低下することは、あってはならない。より良い環境で子どもたちが生活し、成長していけるよう工夫していただくとありがたいと思います。
- ・「主体的・対話的で深い学び」を授業で実現するためには、多様な考えに触れられる場面が大切だと思います。そのため、一学級の児童数が20名程度はいること、複数学級があり、クラス替え等で人間関係に変化が生まれることは、子供たちが多様な考えに触れる機会が増え、良いと思います。しかし、学校規模の適正化により一学級の児童数が増加するが、十分な教員数の配置が見込めなくなると、その細やかな指導が十分に行えないことも心配されます。
- ・多すぎても個が育たないけれど、少なすぎると社会性が育たず、上の学校に行ったときに、（中や高）不適応を起こす割合が高いように感じます。小中の義務教育学校になり、中1ギャップはなくなっても、高1ギャップを乗り越えられるか心配です。単学級でもよいけれど、15人くらいは必要かと。子供同士の自治会もでき、休み時間にボール遊びもクラスでできる（体育も）と思うので。

- ・小学校区は、地域の重要な単位なので、簡単になくしてほしくない。もちろん、議論を重ねて学校統合を進めていることは十分理解している。財源がないので、小さな学校が切り崩されるのは仕方ないとも言えるが、「子どもを育てるなら桐生」の言葉がむなしく感じる。
- ・少なくとも1学年2学級、1学級児童数20~30人程度が児童同士の交流活動を行う上では様々な経験をさせることができると考える。少人数だと個別の指導はとても良く対応できるが、集団生活で学べること、実感としてもてる部分が他校よりも少ない。
- ・今の学校ほど小さい学校はなく、できること、やりやすい差もあるが、できないこと、やりにくさも感じる場面がある。地域の意向などで簡単にはいかないところもあるが、ある程度の人数で同級生もたくさんいる方が小学校は大事だと考える。

○その他意見

【問10】 その他

- ・スムーズに中学生になれるように中1ギャップを取り除く努力をすること（中学校で不登校を作らないようにすること）

【問11】 その他

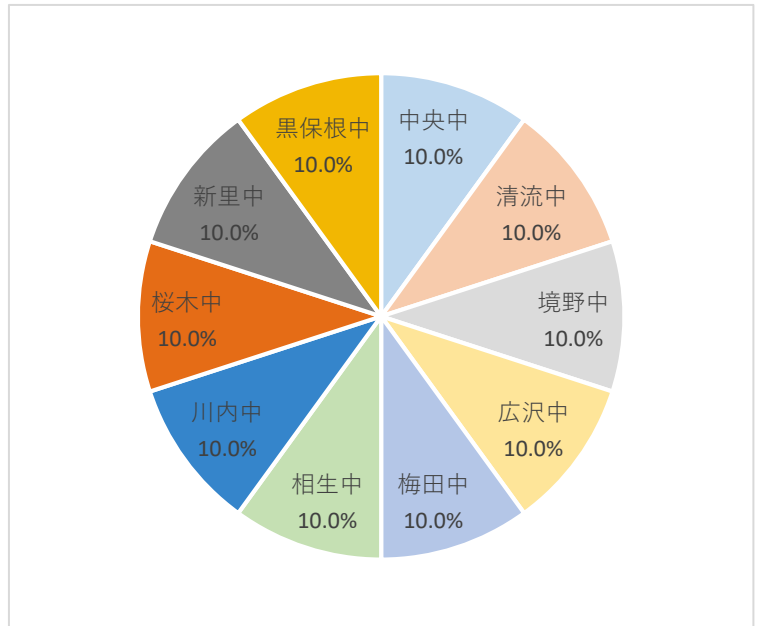
- ・教員数が少ないため、校務分掌をたくさん受け持たなければならなく、時間外勤務が削減できない。児童数が多いため、サッカーやドッジボールなど集団で遊ぶことや体育のボール運動の授業に制限が生じる。
- ・保護者、家庭でのかかわりの影響が子供に多数出ていて、日々の学級指導ではとても対応できない。
- ・2学級の場合、クラス替えを行う際、様々な条件を考えたクラス替えが行えない。学年が上がるにしたがって人間関係が複雑になり、本来の目的としてのクラス替えが行えない。
- ・小規模校ゆえに職員が少なく、以下の問題が生じる。①担外の職員が2名しかおらず、3人出張が出るとクラスが回らない。②一人の職員で複数の校務分掌を分担し、業務が多忙化する。③児童にかかる生徒指導上の問題を担任一人で抱えがちになる。
- ・学級数が少なく、人間関係が固定的になりやすい。
- ・職員数が少ないため、個別指導が行き届かない。
- ・単学級ではありませんが、複雑な人間関係を思うと、3クラス～4クラスくらいほしい。
- ・児童数に対して予備教室がなく、少人数指導や学年室等として活用できる環境ではない。
- ・職員数が少ないため、校務分掌が多く、多忙感がある。

教職員（中学校）集計結果

1 あなたご自身のことについてうかがいます

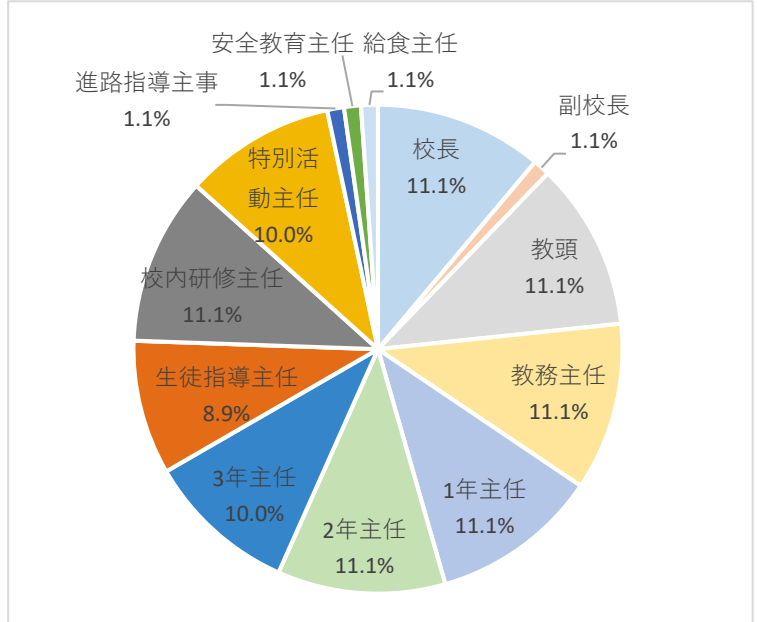
問1 ①あなたの勤務校名を選んでください。（1つ選択）

学校名	回答数	割合
中央中	9	10.0%
清流中	9	10.0%
境野中	9	10.0%
広沢中	9	10.0%
梅田中	9	10.0%
相生中	9	10.0%
川内中	9	10.0%
桜木中	9	10.0%
新里中	9	10.0%
黒保根中	9	10.0%
回答者総数	90	100.0%



問1 ②あなたの役職等を選んでください。（1つ選択）

役職名	回答数	割合
校長	10	11.1%
副校長	1	1.1%
教頭	10	11.1%
教務主任	10	11.1%
1年主任	10	11.1%
2年主任	10	11.1%
3年主任	9	10.0%
生徒指導主任	8	8.9%
校内研修主任	10	11.1%
特別活動主任	9	10.0%
進路指導主事	1	1.1%
安全教育主任	1	1.1%
給食主任	1	1.1%
回答者総数	90	100.0%



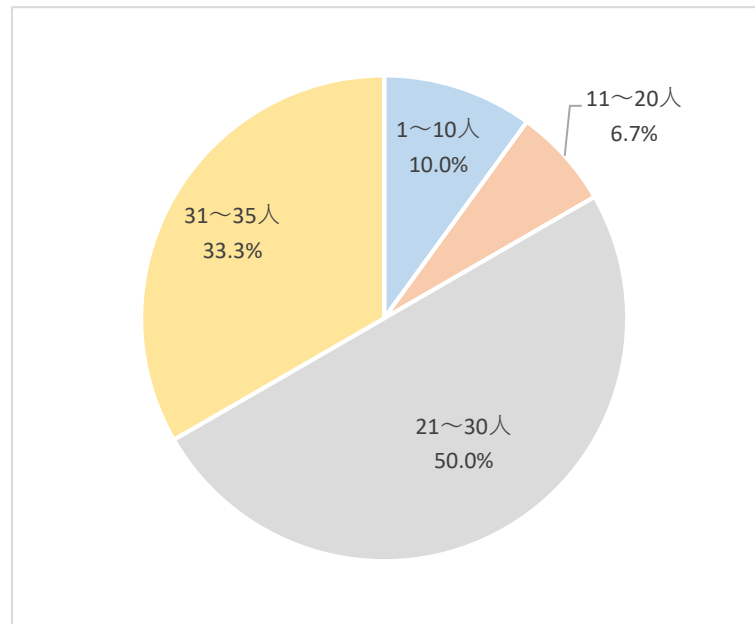
2 学級の人数と、その印象についてうかがいます

問2 あなたの勤務校の一学級あたりの生徒数は何人ですか。（1つ選択）

1学級の人数については、「21～30人」の割合が最も高く（50.0%）、次いで「31～35人」（33.3%）、「1～10人」（10.0%）となっている。

（単回答）

選択肢	回答数	割合
1～10人	9	10.0%
11～20人	6	6.7%
21～30人	45	50.0%
31～35人	30	33.3%
無回答	0	0.0%
回答者総数	90	100.0%

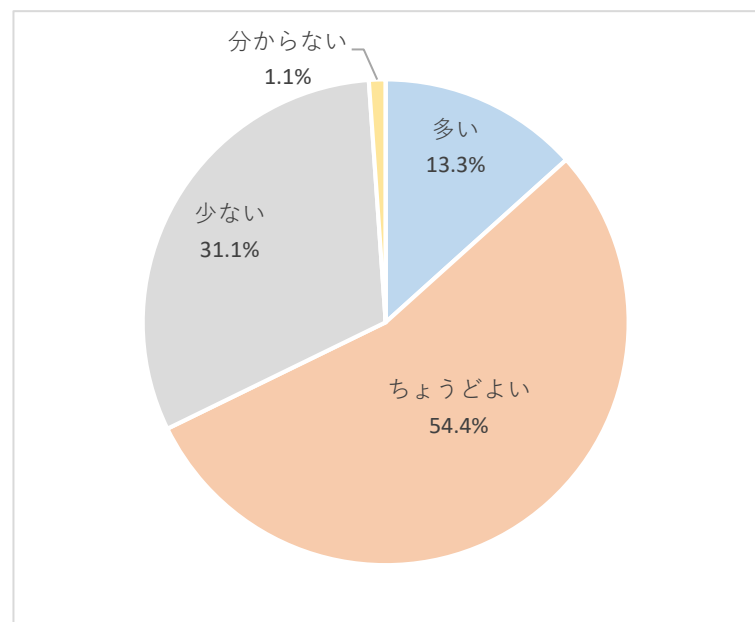


問3 勤務校の所属学年の生徒数について、どのように感じていますか。（1つ選択）

1学級の人数の印象については、「ちょうどよい」の割合が最も高く（54.4%）、次いで「少ない」（31.1%）、「多い」（13.3%）となっている。

（単回答）

選択肢	回答数	割合
多い	12	13.3%
ちょうどよい	49	54.4%
少ない	28	31.1%
分からない	1	1.1%
無回答	0	0.0%
回答者総数	90	100.0%

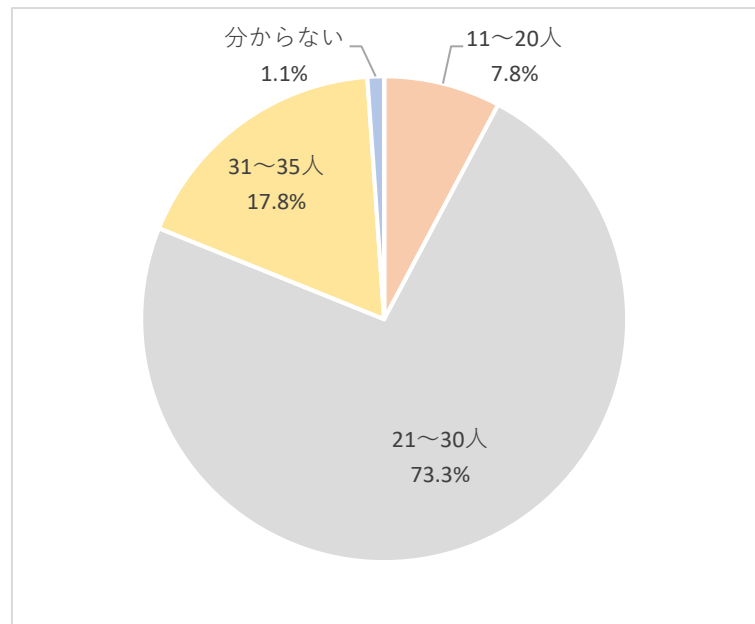


問4 中学校の一つの学級には、何人の生徒がいればよいと考えますか。(1つ選択)

1学級の理想的な人数については、「21～30人」の割合が最も高く(73.3%)、次いで「31～35人」(17.8%)となっている。

(単回答)

選択肢	回答数	割合
1～10人	0	0.0%
11～20人	7	7.8%
21～30人	66	73.3%
31～35人	16	17.8%
分からない	1	1.1%
無回答	0	0.0%
回答者総数	90	100.0%



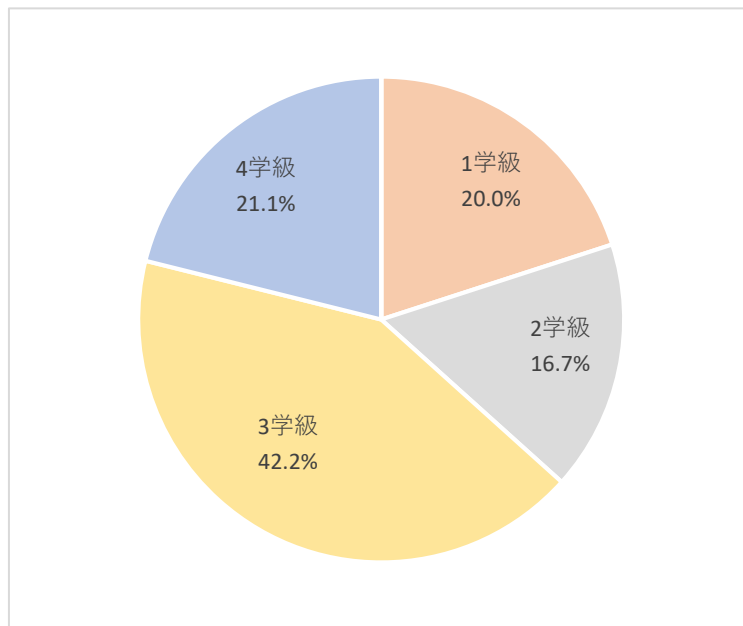
3 学級数についてうかがいます

問5 勤務校の学年には、学級がいくつありますか。(1つ選択)

1学年の学級数については、「3学級」の割合が最も高く(42.2%)、次いで「4学級」(21.1%)、「1学級」(20.0%)、「2学級」(16.7%)となっている。

(単回答)

選択肢	回答数	割合
複式学級	0	0.0%
1学級	18	20.0%
2学級	15	16.7%
3学級	38	42.2%
4学級	19	21.1%
5学級	0	0.0%
6学級以上	0	0.0%
無回答	0	0.0%
回答者総数	90	100.0%

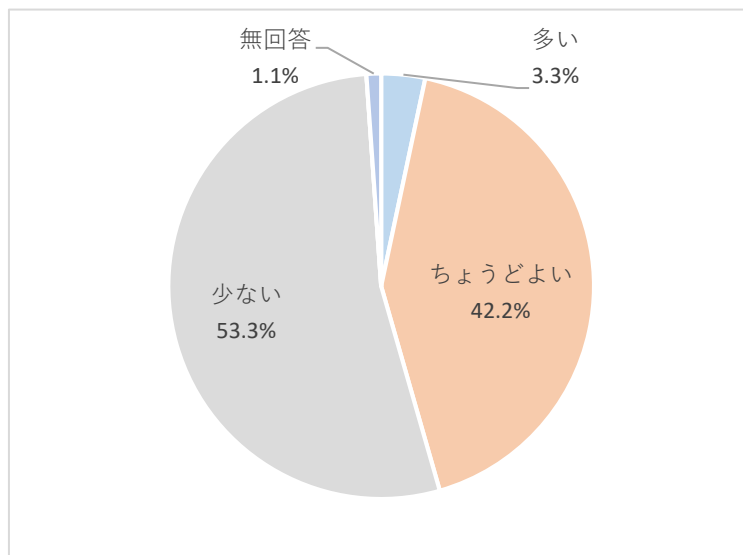


問6 勤務校の一学年当たりの学級数について、どのように感じていますか。(1つ選択)

1学年の学級数の印象については、「少ない」の割合が最も高く(53.3%)、次いで「ちょうどよい」(42.2%)となっている。

(単回答)

選択肢	回答数	割合
多い	3	3.3%
ちょうどよい	38	42.2%
少ない	48	53.3%
分からない	0	0.0%
無回答	1	1.1%
回答者総数	90	100.0%

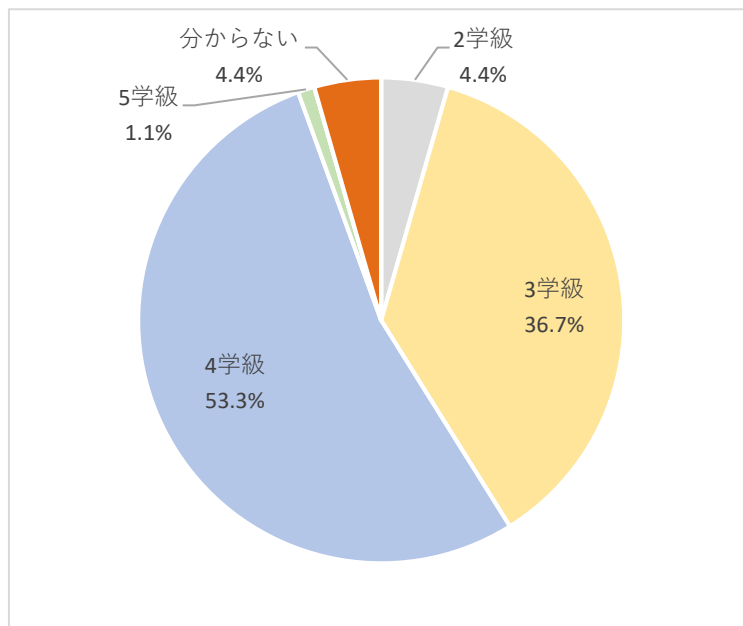


問7 中学校の一つの学年にはいくつの学級があればよいと考えますか。(1つ選択)

1学年の理想的な学級数については、「4学級」の割合が最も高く(53.3%)、次いで「3学級」(36.7%)となっている。

(単回答)

選択肢	回答数	割合
複式学級	0	0.0%
1学級	0	0.0%
2学級	4	4.4%
3学級	33	36.7%
4学級	48	53.3%
5学級	1	1.1%
6学級以上	0	0.0%
分からない	4	4.4%
無回答	0	0.0%
回答者総数	90	100.0%



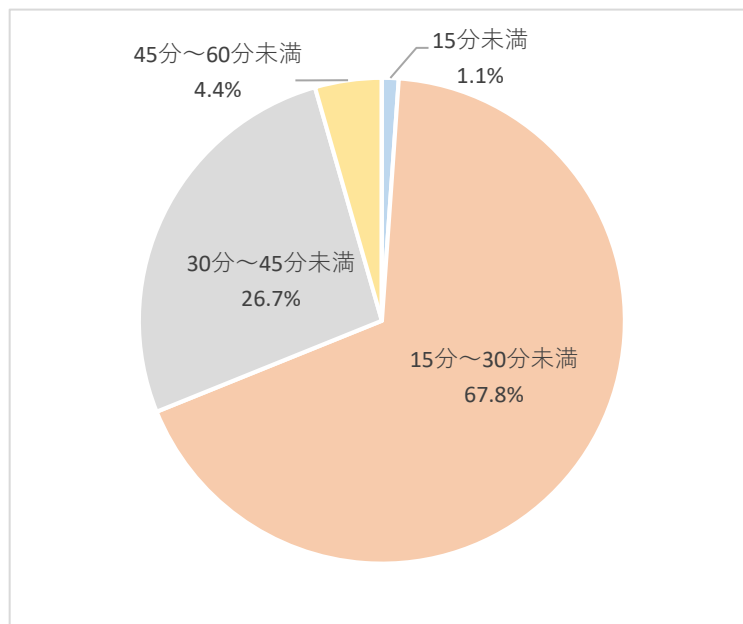
4 通学環境についてうかがいます

問8 中学生にとって通学の限度（最長）と思われる時間はどのくらいですか。
(1つ選択)

通学時間の限度については、「15分～30分未満」の割合が最も高く（67.8%）、次いで「30分～45分未満」（26.7%）となっている。

(単回答)

選択肢	回答数	割合
15分未満	1	1.1%
15分～30分未満	61	67.8%
30分～45分未満	24	26.7%
45分～60分未満	4	4.4%
60分以上	0	0.0%
分からない	0	0.0%
無回答	0	0.0%
回答者総数	90	100.0%

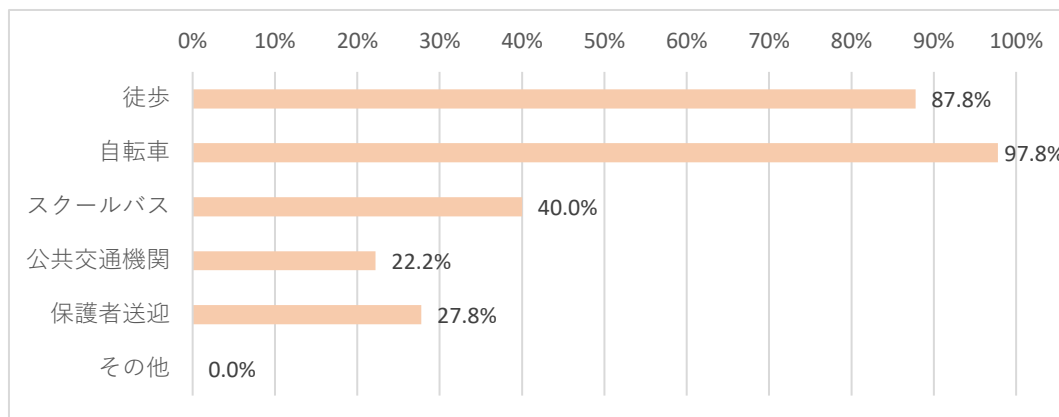


問9 中学生が通学するのに考えられる方法はどれですか。（あてはまるもの全て選択）

中学生の通学方法については、「自転車」の割合が最も高く（97.8%）、次いで「徒歩」（87.8%）、「スクールバス」（40.0%）、「保護者送迎」（27.8%）、「公共交通機関」（22.2%）となっている。

（複数回答）

選択肢	回答数	割合
徒歩	79	87.8%
自転車	88	97.8%
スクールバス	36	40.0%
公共交通機関	20	22.2%
保護者送迎	25	27.8%
その他	0	0.0%
回答総数	248	



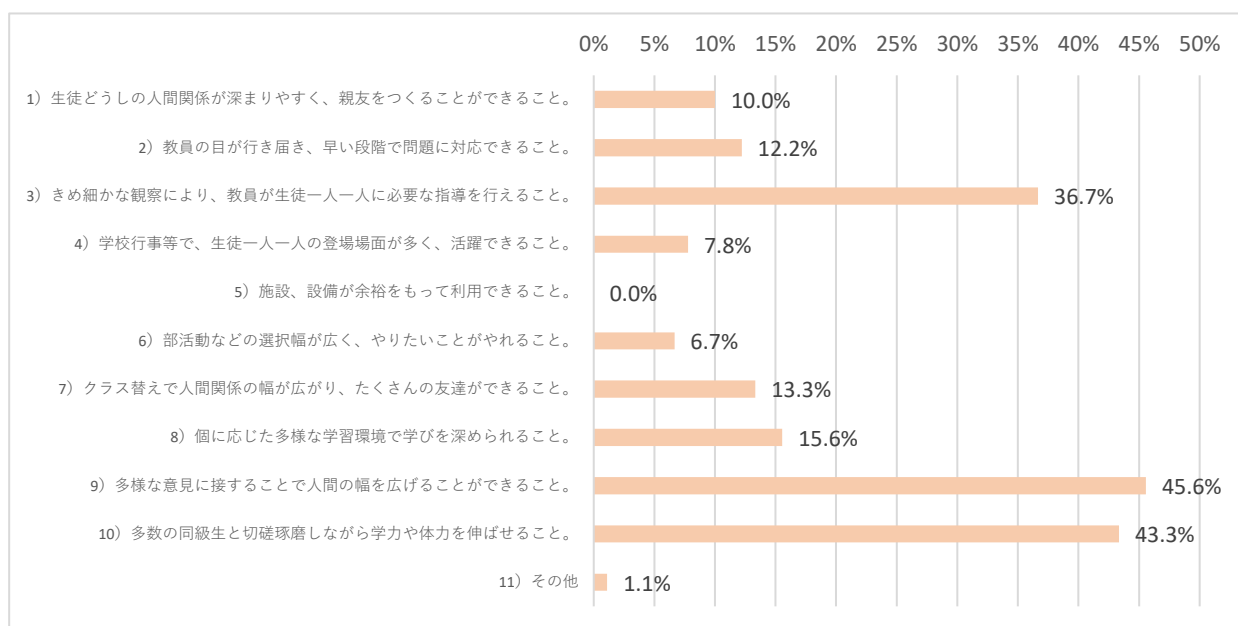
5 学校規模に関わる教育環境についてうかがいます

問10 中学校が社会から期待されている役割を、どのように考えていますか。
(あてはまるもの上位2つ選択)

中学校に期待する事項については、「多様な意見に接することで人間の幅を広げることができること。」の割合が最も高く(45.6%)、次いで「多数の同級生と切磋琢磨しながら学力や体力を伸ばせること。」(43.3%)、「きめ細かな観察により、教員が生徒一人一人に必要な指導を行えること。」(36.7%)となっている。

(複数回答)

選択肢	回答数	割合
1) 生徒どうしの人間関係が深まりやすく、親友をつくることができること。	9	10.0%
2) 教員の目が行き届き、早い段階で問題に対応できること。	11	12.2%
3) きめ細かな観察により、教員が生徒一人一人に必要な指導を行えること。	33	36.7%
4) 学校行事等で、生徒一人一人の登場場面が多く、活躍できること。	7	7.8%
5) 施設、設備が余裕をもって利用できること。	0	0.0%
6) 部活動などの選択幅が広く、やりたいことがやれること。	6	6.7%
7) クラス替えて人間関係の幅が広がり、たくさんの友達ができること。	12	13.3%
8) 個に応じた多様な学習環境で学びを深められること。	14	15.6%
9) 多様な意見に接することで人間の幅を広げることができること。	41	45.6%
10) 多数の同級生と切磋琢磨しながら学力や体力を伸ばせること。	39	43.3%
11) その他	1	1.1%
回答総数	173	0.0%

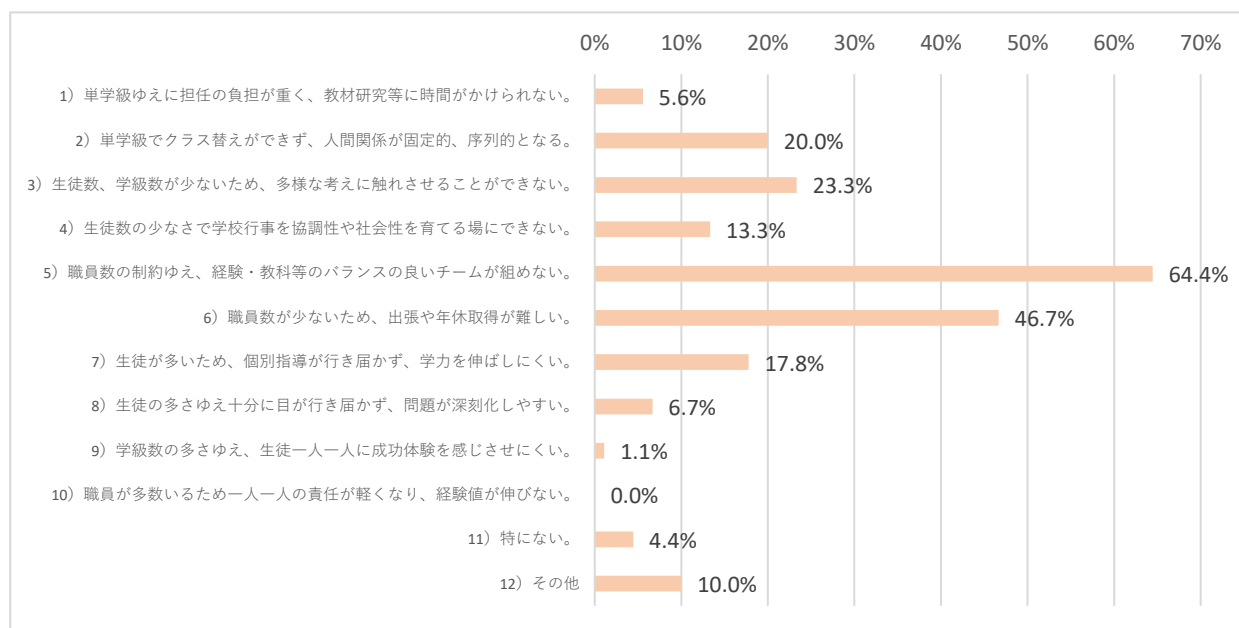


問11 学校規模（生徒数、学級数）に関して、日々の業務で困っていることがありますか。
（あてはまるものを全て選択）

学校規模で困難な事項については、「職員数の制約ゆえ、経験・教科等のバランスの良いチームが組めない。」の割合が最も高く（64.4%）、次いで「職員数が少ないため、出張や年休取得が難しい。」（46.7%）、「生徒数、学級数が少ないため、多様な考えに触れさせることができない。」（23.3%）となっている。

（複数回答）

選択肢	回答数	割合
1) 単学級ゆえに担任の負担が重く、教材研究等に時間がかけられない。	5	5.6%
2) 単学級でクラス替えができず、人間関係が固定的、序列的となる。	18	20.0%
3) 生徒数、学級数が少ないため、多様な考えに触れさせることができない。	21	23.3%
4) 生徒数の少なさで学校行事を協調性や社会性を育てる場にできない。	12	13.3%
5) 職員数の制約ゆえ、経験・教科等のバランスの良いチームが組めない。	58	64.4%
6) 職員数が少ないため、出張や年休取得が難しい。	42	46.7%
7) 生徒が多いため、個別指導が行き届かず、学力を伸ばしにくい。	16	17.8%
8) 生徒の多さゆえ十分に目が行き届かず、問題が深刻化しやすい。	6	6.7%
9) 学級数の多さゆえ、生徒一人一人に成功体験を感じさせにくい。	1	1.1%
10) 職員が多数いるため一人一人の責任が軽くなり、経験値が伸びない。	0	0.0%
11) 特にない。	4	4.4%
12) その他	9	10.0%
回答総数	192	

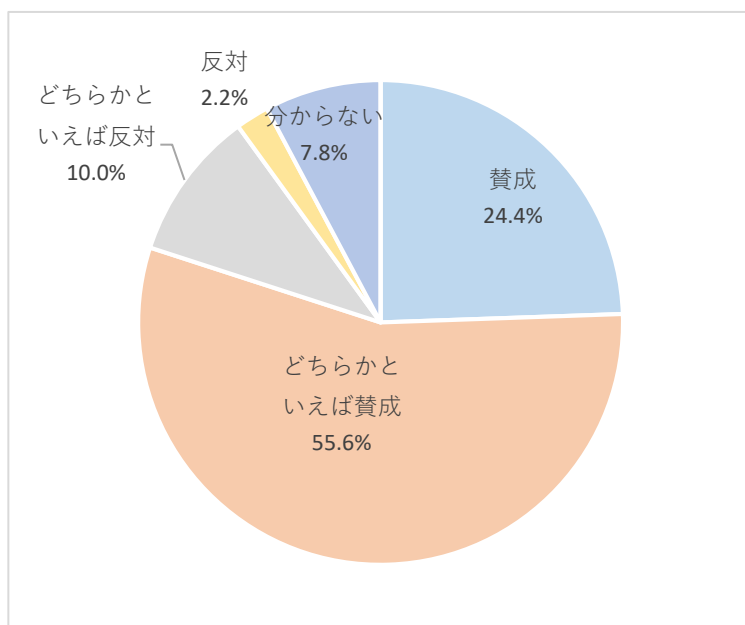


問12 小中学校の小規模化への対応として、学校の統合を進めている自治体もあります。
このような対応についてどのように考えますか。(1つ選択)

学校の統合に関する考えについては、「どちらかといえば賛成」の割合が最も高く(55.6%)、次いで「賛成」(24.4%)、「どちらかといえば反対」(10.0%)となっている。

(単回答)

選択肢	回答数	割合
賛成	22	24.4%
どちらかといえば賛成	50	55.6%
どちらかといえば反対	9	10.0%
反対	2	2.2%
分からない	7	7.8%
無回答	0	0.0%
回答者総数	90	100.0%



【問13】 桐生市の教育環境の充実や学校規模の適正化等についてどのように考えますか。

(自由記述)

- ・現在中学校においては、10校中8校が小規模校（うち2校は単学級）であり、特に学年3学級が多い。学年3学級は生徒にとっても教職員にとっても非常に不効率であると考えて。今後の児童生徒数の減少も鑑み、早急に市内全体を見渡した適正規模化を進める必要があると考える。
- ・学校規模も重要ですが、現状で最も大事なものは教員数です。早急な確実な見直し、配置をお願いいたします。
- ・複数の小学校から生徒を迎えている現状からみて、当該生徒の児童生徒の育成を担うという学校教育本来の観点から考えますと、来年度開校を控える黒保根学園（仮称）のような在り方も選択肢の一つと感じます。入学に際し複数の小学校から入学してくることがいわゆる中1ギャップをより大きなものにしてしまっていないか、という危惧があります。
- ・生徒指導や教育相談、特別支援など多様化しているため、教職員の数が足りないと感じることがあります。
- ・特別教室にも冷房（エアコン）を入れてほしいです
- ・桐生市に限らず、少子化を実際に学校現場で、今、痛感しています。しかし、こればかりは、すぐに改善できることではないので、視点を変えて子供の一人一人にきめ細かな指導ができるか、山積している教育の諸問題に対応していくとか「子供が少ないから楽（らく）ができる」ではなく、そうした状況をチャンスととらえて、更なる教育活動を推進していくことが大切ではないかと考えています。
- ・職員数の少なさからきめ細かい指導ができていない部分があると強く感じています。
- ・時間的にも精神的にもゆとりがないといい教育はできません。経済的効率のみで考えるのではなく、米百俵の精神で教育を考えていくべきである。
- ・学校規模としては、4～5学級×3学年が、各教科が揃う、生徒が交流できる、行事も生かしやすい、部活等も維持できる」という面で一番良いと思います。規模からすれば、統合は十分考えられると思いますが、桐生市では学区内でも遠方の生徒がいるので、ただ統合すると通学が長時間になる場合も出ると思います。かといって「遠くの生徒に合わせて部活が短い、できない」などとなっては、それも本末転倒ではないでしょうか。「地理・方法」的に通いやすい学校ができればよいと思います。
- ・1学級、1学年の人数が増えることによって得られる考えの多様化などのメリットと生徒一人ひとりへのきめ細かな指導が難しくなるなどのデメリットでは、今はデメリットの方が大きいと思う。働き方改革などで、今よりもっと教員が働きやすい環境になれば、話は変わってくると思います。
- ・児童生徒にとって最良の教育環境を整えるために長く先を見通して対策を講じていく今回の取組はとても大切であると思います。人口減少に歯止めをかけるために市レベルの施策のさらなる充実を期待しています。

- ・生徒数が少なくなってしまった場合、統合も仕方ないと考えている。現場には責任をもって授業をすることのできる職員が必要→市費負担の教職員（可能ならば）で、市の考え方によって教職員（授業がもてる人）をその学校にあてられれば、かなり特色が出せると思う。場合によっては単学級でも2クラスにできたり1クラスの人数を変更した特色が出せるのではないかと思う。
- ・小規模校での勤務が多いので、3学級でもよいと感じますが、4～6学級あった方が何かを行う時にも盛り上がりや充実感を感じられると思います。
- ・5教科の担当が各学年1名配置されるような規模が適正と感じます。同じ持ち時数でも学年を複数見る場合、仕事量や負担感は明らかに差が出ます。きめ細かな指導の実現など一つの学年に専念できるメリットは大きいと考えます。特別支援学級の有無や特支学級内の学年構成によって時間割の配慮等負担が大きく変わります。学校によって特支担任、協力学級の担任、教科担当等、負担のかかり方が様々だと思われませんが、そこまで考慮すると、上記の学年構成が望ましいと考えます。
- ・中学校においては多感な思春期の時期に、少人数の学校ではごく限られた構成メンバー内での人間関係づくりしか経験ができない。これは、将来の子供たちの人格形成に大きく関与してくると考える。お互いに他人の持つ価値観に触れ、情報を共有する中で相手を尊重する気持ちも培えると考えます。また、友達との人間関係においてトラブルが発生すると学級数が少ないとクラス替えもできないため、より一層悩みが深くなる。このことから1学年には3学級程度が確保されることが望ましいと考える。指導する教員についても教科担任が一人となり、同一教科の教員との相談や指導・助言を受けることができない。全ての学年を受け持ち、授業は1年間の中では一度きりで、授業の反省を生かす機会は次年度にならないと得られない。授業技術の向上を目指す、とても現状では困難さを感じる。初任者や若手教員では教科指導面だけでなく生徒指導においても悩みが大きいと考える。適正規模・適正配置の問題は、生徒のみならず教職員にとっても大切な課題であると考えます。
- ・現在の年齢別人口推移では、学校としての機能のみを考えると、統合せざるを得ない状況だと思います。ただし、学校の目的や特色ある役目を持たせることにより校数をなるべく維持をして現行規模数を保てると多様化に対応することも可能であると考えます。また、人口減のための工夫努力を行政面からももっと積極的に行い、地域としての魅力や社会雇用などの人口流出を防ぐ方法を模索していきたい。
- ・小規模校化への対応として中学校どうしの統合は必要かと思います。小学校や高校との統合は反対です。学校ごとの役割が異なるからです。
- ・梅田は1学級ゆえのたいへんさがありますが、通学距離を考えると統合は難しいかと思いません。
- ・みどり市との合併を視野に入れることが必要だと思えます。

- ・桐生市には小中高大と学校環境が揃っている。また、高齢化も進んでいる。これを合わせて規模の小さい学校にしていき、空いたB棟等の校舎を老人ホーム等に改築して学校と老人福祉の一体化市として文教福祉の先進市を目指す。これで空き教室だらけを防ぎ、老人福祉を身近に感じる情操教育の充実した学校を目指す。介護士などの労働人口も呼び込めれば、桐生市の活性化にもなる。実際は規制等で難しいと思いますが…。
- ・教員の数が少ないため、一人当たりの授業数が多くなっていると思う。また、働き方改革は難しく、残業時間も昔とあまり変わっていないと思う。
- ・1学級30人以下にすることで、担任が一人一人の生徒と多く関われるため、生徒の変化、変容に気づきやすくなるので、生徒指導、教育相談など家庭職員養護SCなどと連携して素早く対応できる。生徒一人一人を大切にされた早期対応することで家庭（保護者）との信頼関係が築かれ学校への不信感も軽減される。担任が一人で抱え込み、悩むことも減り、学年がチームとして対応できる。また、学級数が増えることで学年の職員も増えるため、一人一人の負担も軽くなり、精神的にも余裕をもって仕事に取り組める。生徒数、職員数が減少している中、各学校の部活数が多く、部活を精選しなくてはならない状況である。一人顧問などで年休など取りにくく、負担に感じている職員は多い。部活が少なくなると生徒の多様な活動が制限され、決まったスポーツしかできなくなる。部活動は、活動を通して人間的に成長することが大切だと感じる。学校ごと同じような部活ではなく、自然体で様々な種目、種類の部活に取り組めるような環境を作る必要があると感じる。経験年数、男女比等を改善し、教員の専門性が生かされることが大切だと思う。
- ・1学級あたりの人数は25～30人くらいが一番良いと感じています。中学生とはいえ、35人以上いると個に応じた指導が行き届きづらいように思います。学校規模が小さいと職員数も少なくなってしまうので、ある程度統合していくのも必要かなと思います。でも、通学があまりにも大変になってしまうのは避けてあげたいと思います。
- ・校務支援PCが不便。タブレットよりも電子黒板が必要。TT(ティームテッチング)や少人数ができるとうい。
- ・市街地の少子化が急速に進んでおり、統廃合や義務教育学校の設置等の検討を進める必要がある。私立の中学校や中等教育学校への流出を防ぐ意味では義務教育学校の設立が有効かと考えます。
- ・桐生市は小規模の学校が増えてきてしまっているため、是非学校教育の活性化を図るためにも規模の適正化と学校の再編を進めていくとよいと思います。地域との話し合いなど難しい点もたくさんあると思いますが、生徒のためにはもう少し規模の大きい学校がよいのではないかと考えます。
- ・子供の数が減ってからすることは統廃合しかないと思います。その前に行政が企業の誘致なりしなければ止まらないと思います。

- ・桐生市は少子化が特に進んでおり、学校施設の老朽化もしている。コンパクトシティー化を推進し、学校も通学方法にスクールバスを導入するなどし、現在の学校数を減少し、集約していくことが必要だと思います。
- ・早くしないと桐生市は泥船のまま沈んでしまいますね。市民の中には自分の市が泥船だと気付いていない人も多いですね。桐生らしくなんて言っているうちに消滅しかありませんね。でも、若い経営者などの多くは、変わらない桐生市を不安に感じています。難しい問題ですが、頑張ってください。
- ・個別指導が必要な生徒が少なくないので、教育支援員の拡充をお願いできたらと思います。
- ・一学級あたりの生徒は30人が理想だと思います（40人以下から35人以下になったことは大変良かったですが、さらに）一人一人に目が届く教員数が増えて負担が減る等の理由です。学校規模の適正化について、小さい学校には小さい学校ならではの良さがあるので、難しいと思います。
- ・小規模、中規模、大規模それぞれにメリット、デメリットはあるが、子供たち及び保護者等の多様なニーズにある程度対応でき、様々な人との触れ合いの中で社会性を高めていくという視点で考えると、個人的に中学校は中規模にしていっての方がよいのではと思います。
- ・教育環境の充実のためには学校規模の適正化はぜひ取り組んでいただきたいと思いますが、あわせて関係団体等（青少愛等）の分け方についても検討していただきたい。
- ・教職員配置のバランスに問題があると感じます。年齢やキャリアなどを考えた職員の配分があるといいと思います。（考えていないとは言いませんが…）
- ・個のニーズや要望、わがままが強くなったり、高まったりしていく中で「適正規模」という枠組みは感覚として「大規模」に相当するように感じる。
- ・児童生徒数の減少に伴い、複式学級が生じるなど、配置される教職員数も少なくなることで、学級経営や教科経営において従来の教育の質の確保が大きな課題となる。一方で、地域の学校を存続させたいという地元の思いもある。他地区との学校の統合でない形でも問題解決を考える必要がある。本地区では、小中一貫教育の在り方及び義務教育学校の新設に向けて研究を進めているが、地域の方により効果的な学校形態や特色ある教育活動を理解していただくために話し合いを進めている。理解を得るためには、時間と労力もかかるが、少しずつ理解を示してくださる方も増えてきた。義務教育学校等の設置は手段であり、目的ではない。子供たちにとってまた地域の学校としてより適した教育環境の整備を進めていくことが大切なことであると考えている。

- ・令和4年度黒保根学園開校準備中です。黒保根地区は土地区域として特別な位置ですので、適正規模という点では課題があると思います。将来どのような学校規模にしていくのか、桐生市全体の課題だと実感しております。
- ・「どちらかといえば賛成」にマークしたが、通学のこと、地域の要望等を考えると迷いが生じる。ただ、少なすぎるのも心の成長や学力・体力における切磋琢磨することが難しくなる。市の財政等を考えれば、しかたがないのかもしれないが、教育にお金がかけてられないように感じることもある。例えば、学校図書館。他市では、新聞を1紙以上取っているところが多い。市や県の図書館とインターネットでつながり、貸し出しもできると聞く。それなのに桐生市の中学校はいまだに貸し出しカードを使っている。10年以上遅れていると感じてしまう。
- ・私はみどり市あずま小学校に子供を通わせる保護者という立場でもあります。既に小規模であるという不安を抱き、多くの家庭があずま小を離れるのを見てきました。正直なところ、来年度の統合では遅すぎたと思います。桐生市については、その地域の児童・生徒離れが起こってしまう前に先を見通して（統合には何年もの準備が必要だと思うので）早い段階で判断して学校規模の適正化を進めていただければと思います。
- ・児童生徒だけでなく、教職員にもクロームブックを貸与してほしいです。現状だとICTを活用した授業づくりには限界があると思います。

○その他意見

【問10】 その他

- ・将来のために学力をつけること 人として常識や礼儀を身につけること

【問11】 その他

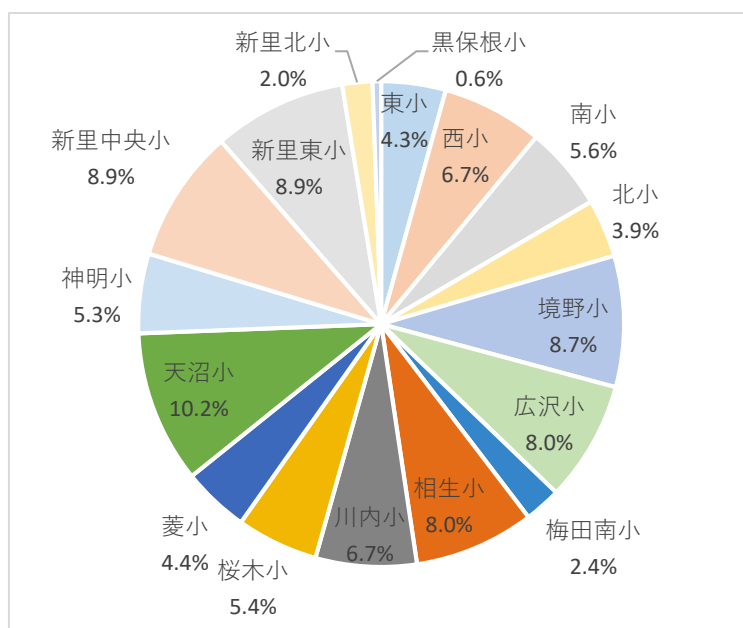
- ・先生方が多忙のため余裕がない。（空き時間が増すとよい）
- ・部活動数に対して教員数が少ないため、一人一人の負担が大きい。
- ・学級数や生徒数に対し職員の数が少ないため、生徒指導が手薄になり、きめ細かな指導がいきわたらなかったり、仕事の多忙感が大きい。（学校全体が感じている）
- ・教育課程が肥大化していて生徒、教職員ともにゆとりがない。部活動や習い事で生徒が疲弊している。
- ・生徒が少ないと教員数も少なくなり、指導力不足の教員がいてもフォローや代替がかなり難しい。結果、フォローする周りの教員の負担も大きくなってしまい、生徒・保護者の信頼も損ねる（不安・不信）ことが出てしまう。
- ・職員数の関係でひとりひとりの持ち時数が大変多くなっている。特に年間140時間確保しなければならない教科担任はきつくなっている。
- ・若い先生が多く、女性の割合も高いため、バランスの取れた教職員集団になっていない。そのため、様々な教育活動、生徒指導などで特定の教員の負担が重くなる状況が生まれる。
- ・かつて学級数・生徒数ともに多かったために、部活動の数も多く、職員の配置が難しい。また、男性教員が激減している。
- ・職員の多忙さゆえ、生徒一人一人に対する個別の学習指導、生徒指導、メンタルケア等の時間が取れない。
- ・複数の教科を担当するため、教材研究の時間が多く取れない。

児童（小学校5年生）集計結果

問1 あなたが通っている小学校の名前を選んでください。（1つ選択）

(単回答)

学校名	回答数	割合
東小	30	4.3%
西小	47	6.7%
南小	39	5.6%
北小	27	3.9%
境野小	61	8.7%
広沢小	56	8.0%
梅田南小	17	2.4%
相生小	56	8.0%
川内小	47	6.7%
桜木小	38	5.4%
菱小	31	4.4%
天沼小	71	10.2%
神明小	37	5.3%
新里中央小	62	8.9%
新里東小	62	8.9%
新里北小	14	2.0%
黒保根小	4	0.6%
回答者総数	699	100.0%

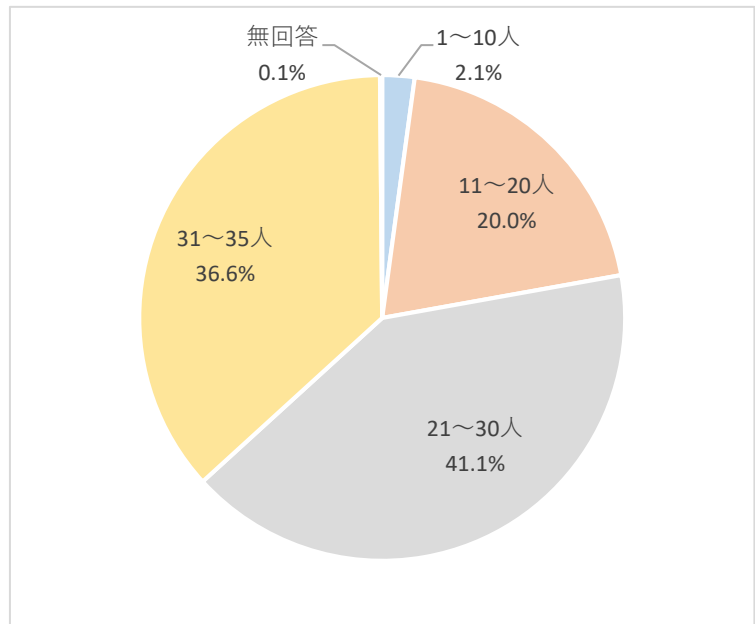


問2 あなたのクラスには何人の児童がいますか。(1つ選択)

1学級の人数については、「21～30人」の割合が最も高く(41.1%)、次いで「31～35人」(36.6%)、「11～20人」(20.0%)となっている。

(単回答)

選択肢	回答数	割合
1～10人	15	2.1%
11～20人	140	20.0%
21～30人	287	41.1%
31～35人	256	36.6%
無回答	1	0.1%
回答者総数	699	100.0%

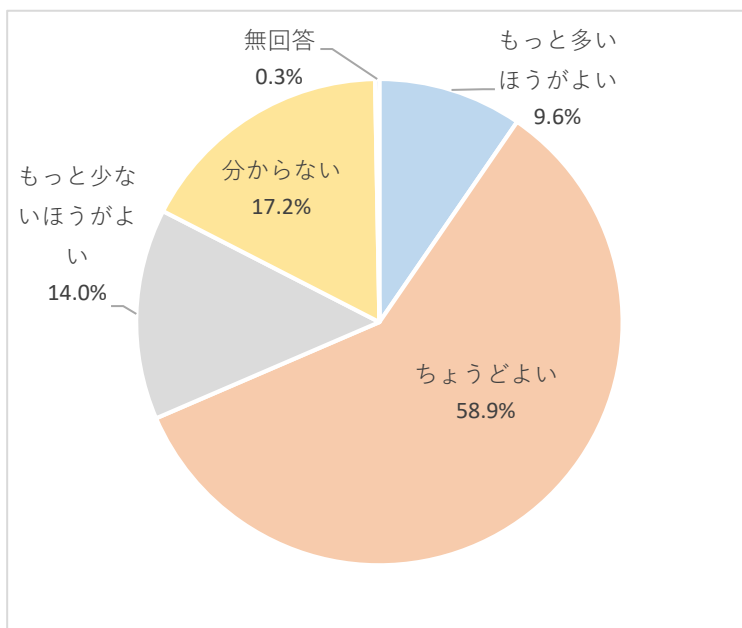


問3 あなたのクラスの人数を、どのように思っていますか。(1つ選択)

1学級の人数の印象については、「ちょうどよい」の割合が最も高く(58.9%)、次いで「分からない」(17.2%)、「もっと少ないほうがよい」(14.0%)となっている。

(単回答)

選択肢	回答数	割合
もっと多いほうがよい	67	9.6%
ちょうどよい	412	58.9%
もっと少ないほうがよい	98	14.0%
分からない	120	17.2%
無回答	2	0.3%
回答者総数	699	100.0%

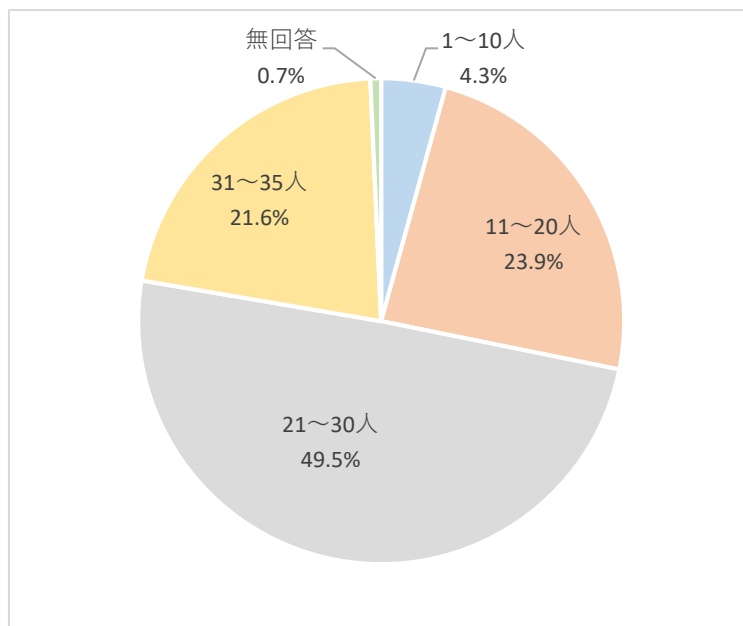


問4 クラスの人数が何人であればよいと考えますか。(1つ選択)

1学級の理想的な人数については、「21～30人」の割合が最も高く(49.5%)、次いで「11～20人」(23.9%)、「31～35人」(21.6%)となっている。

(単回答)

選択肢	回答数	割合
1～10人	30	4.3%
11～20人	167	23.9%
21～30人	346	49.5%
31～35人	151	21.6%
分からない	0	0.0%
無回答	5	0.7%
回答者総数	699	100.0%

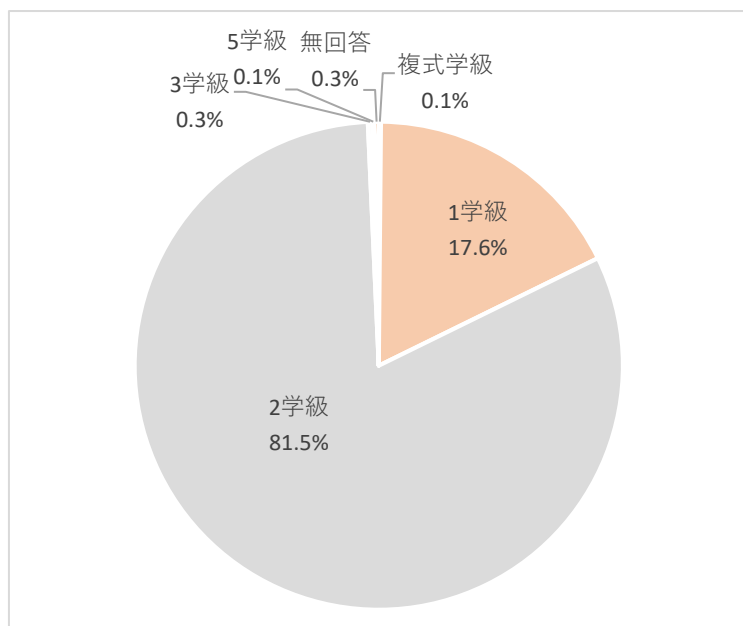


問5 あなたの学年には、クラスがいくつありますか。(1つ選択)

1学年の学級数については、「2学級」の割合が最も高く(81.5%)、次いで「1学級」(17.6%)となっている。

(単回答)

選択肢	回答数	割合
複式学級	1	0.1%
1学級	123	17.6%
2学級	570	81.5%
3学級	2	0.3%
4学級	0	0.0%
5学級	1	0.1%
6学級以上	0	0.0%
無回答	2	0.3%
回答者総数	699	100.0%

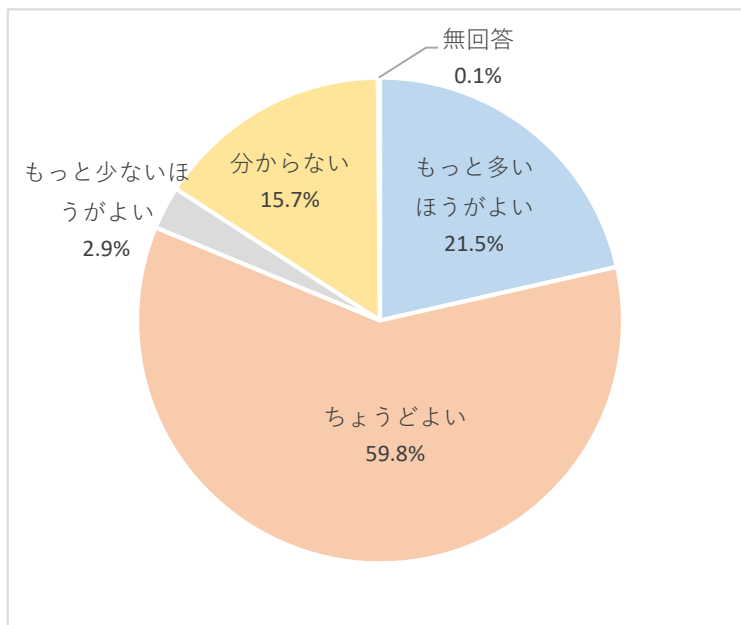


問6 学年のクラス数について、どのように感じていますか。(1つ選択)

1学年の学級数の印象については、「ちょうどよい」の割合が最も高く(59.8%)、次いで「もっと多いほうがよい」(21.5%)、「分からない」(15.7%)となっている。

(単回答)

選択肢	回答数	割合
もっと多いほうがよい	150	21.5%
ちょうどよい	418	59.8%
もっと少ないほうがよい	20	2.9%
分からない	110	15.7%
無回答	1	0.1%
回答者総数	699	100.0%

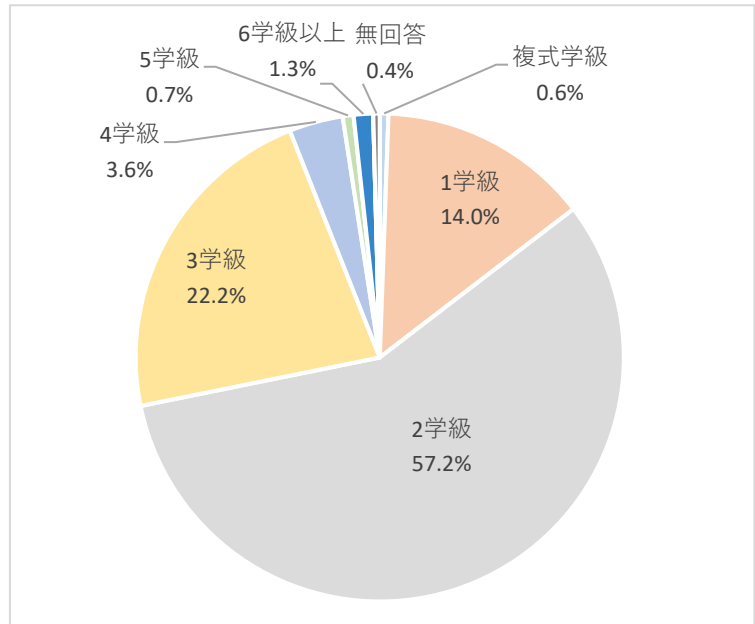


問7 学年のクラス数がいくつあればちょうどよいと考えますか。(1つ選択)

1学年の理想的な学級数については、「2学級」の割合が最も高く(57.2%)、次いで「3学級」(22.2%)、「1学級」(14.0%)となっている。

(単回答)

選択肢	回答数	割合
複式学級	4	0.6%
1学級	98	14.0%
2学級	400	57.2%
3学級	155	22.2%
4学級	25	3.6%
5学級	5	0.7%
6学級以上	9	1.3%
分からない	0	0.0%
無回答	3	0.4%
回答者総数	699	100.0%



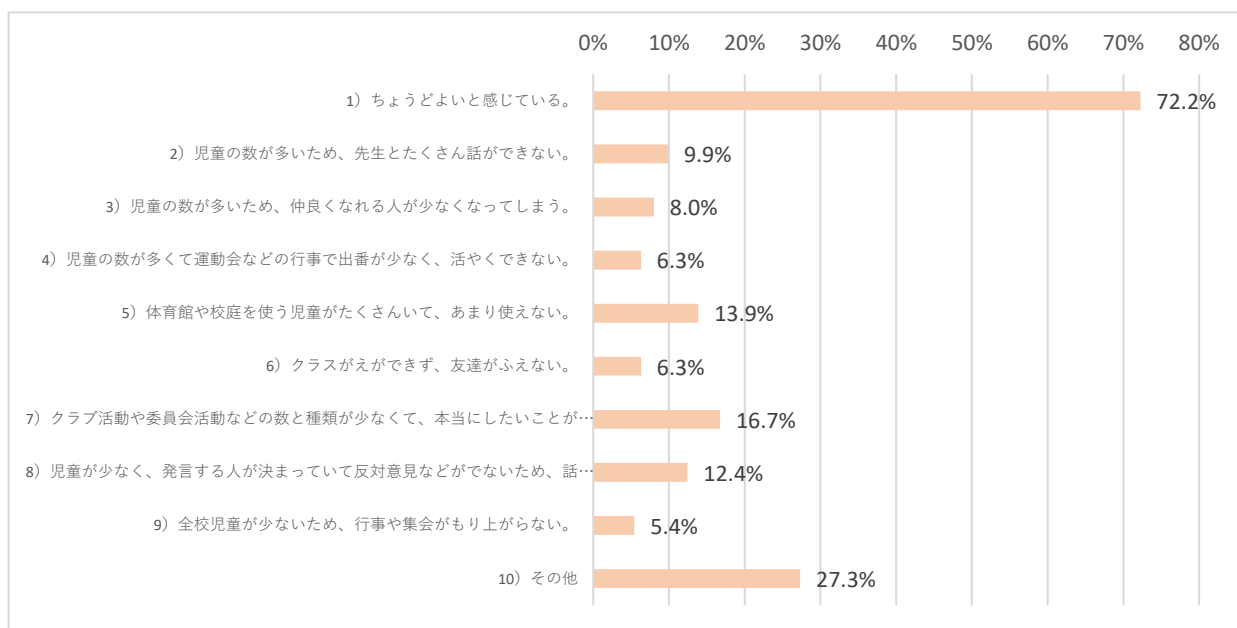
問8 学級の児童数や学年のクラス数について、感じていることはどれですか。

(あてはまるもの上位2つ選択)

1学級の人数や1学年の学級数の印象については、「ちょうどよいと感じている。」の割合が最も高く(72.2%)、次いで「クラブ活動や委員会活動などの数と種類が少なく、本当にしたいことができない。」(16.7%)、「体育館や校庭を使う児童がたくさんいて、あまり使えない。」(13.9%)となっている。

(複数回答)

選択肢	回答数	割合
1) ちょうどよいと感じている。	505	72.2%
2) 児童の数が多いため、先生とたくさん話ができない。	69	9.9%
3) 児童の数が多いため、仲良くなれる人が少なくなってしまう。	56	8.0%
4) 児童の数が多くて運動会などの行事で出番が少なく、活やくできない。	44	6.3%
5) 体育館や校庭を使う児童がたくさんいて、あまり使えない。	97	13.9%
6) クラスがえがができず、友達がふえない。	44	6.3%
7) クラブ活動や委員会活動などの数と種類が少なく、本当にしたいことができない。	117	16.7%
8) 児童が少なく、発言する人が決まっていて反対意見などがでないため、話し合いが活発にならない。	87	12.4%
9) 全校児童が少ないため、行事や集会がもり上がらない。	38	5.4%
10) その他	191	27.3%
回答総数	1,248	



○その他意見

【問8】 その他

- ・授業中うるさい人がいて困る。
- ・クラス替えが無いので、新学期になってもあまりドキドキしない。
- ・クラス替えが無く、クラスの子と仲良くなれる。
- ・人数が多いため、友達がいっぱいいる。
- ・人数が少ないから鬼ごっこがつまらない。
- ・ちょうどよい人数なので友達と遊ぶのが楽しい。
- ・一人がしゃべるとみんながいつせいにしゃべって静かにしてほしいから注意するのに聞かない人がいるからイラついてしまう。

- ・児童の数がちょうどよいので誰とでも仲良くなれる。
- ・マイナス面にはもうありません。
- ・特に悪いところはなくてとてもいい。
- ・楽しい。
- ・教室の人口密度をもっと減らしたい。
- ・児童が少ないため、いろんな人と仲良くなれる。
- ・レクのドッチボールの時、めちゃくちゃ端っこでやるときがある。
- ・学級や児童、学年の多さはちょうどよいと感じている。
- ・数がちょうどいいからよくしゃべれる。
- ・児童が多いから友達ができる。
- ・31人いるが、発言する人がだいたい決まっています意見があまり出ない。
- ・クラス数や人数がちょうどよく困っていない。
- ・児童数が多いため、話をする人が限られる。発言などがしにくい。
- ・少しクラスが狭いから23人くらいがいいです。
- ・リーダーが「これでいいですか」といったときに、自分は嫌なのに、他の人がみんな「いいです」という。

- ・少ないから、クラス替えをしてもあまり変わらないこと。
- ・クラスの数はこのままでよいと思います。
- ・2クラスしかないから、ほとんどのみんなと仲良くなる。
- ・児童が多いのに、発言する人が決まっている。
- ・友達が増えてうれしい。
- ・児童数が少なく、友達が増えなくてさみしい。
- ・クラス替えが無いからずっと同じ人と一緒なのでもっと仲良くなれる。
- ・人数が少ないから手を上げたらさされやすいからよい。人数が少ないため、人数が多いところより静かだと思えるからよい。

- ・多過ぎてうるさいから。（うるさいのはあまり好きではない）
- ・人数もクラスもちょうどよいと思う。
- ・もっと児童がいるといいな。
- ・クラスが少し多いけどちょうどよい。

- ・仲がいい人と同じクラスになれない。
- ・2学級しかないので、これ以上仲の良い友達ができない。
- ・今のままでよい。(23人)
- ・もう少し教室や〇〇室が広い方がいいと思う。
- ・いまのままでちょうどいい。
- ・いまのままでいい！！
- ・特にふまんはない。
- ・児童数が少ないので、もう少し多い方がいい。
- ・今のままでいい！！
- ・今のままでよい。
- ・タブレットが一人一台にしたい。
- ・児童の数が少なすぎて友達が増えない。
- ・発言する人が決まっていて、自分が何か言ってもみんなが反応してくれない。クラス替えしてもみんなが前と同じクラスの人なので、まだ1回も同じクラスになっていない子が5人いる。校庭の遊具が少ない。かえるときかいだんをおりる人がたくさんきておされてあぶない。(かいだんを大きくして)
- ・クラスがえができない。
- ・話し合いで男子の意見だけ反対される。
- ・この5年ずっと転校生が全く来なくて、出ていく方が多い。
- ・特にあまり感じない。
- ・考えたこともない。
- ・楽しいから何も変わらなくてもいい。
- ・ただ人数が多いだけ。
- ・人数が多いと楽しいからです。
- ・クラブをもっと多くしてほしい。
- ・にぎやかで楽しいです。
- ・児童数が少なめなので、いろいろなところに活躍の場があると思う。
- ・元気でいいと思う。
- ・楽しく過ごせている。
- ・児童数がちょうどよく、先生とも友達ともたくさん話せている。
- ・児童の数が多くても、行事で活動、活躍できる。
- ・クラス替えもあって仲がいい友達がちゃんという。
- ・一クラスの人数が少し多くて、どうしても密集してしまう。
- ・クラス人数はちょうどよく、みんなと仲良くできて楽しい。
- ・今のクラスがいいです。
- ・女子の人数が少なくて、仲の良かった友だちと全員クラスが違うのでなかなか会えなくなってしまった。
- ・今のクラスがたくさん友だちがいて楽しい。
- ・今のままだいいです。

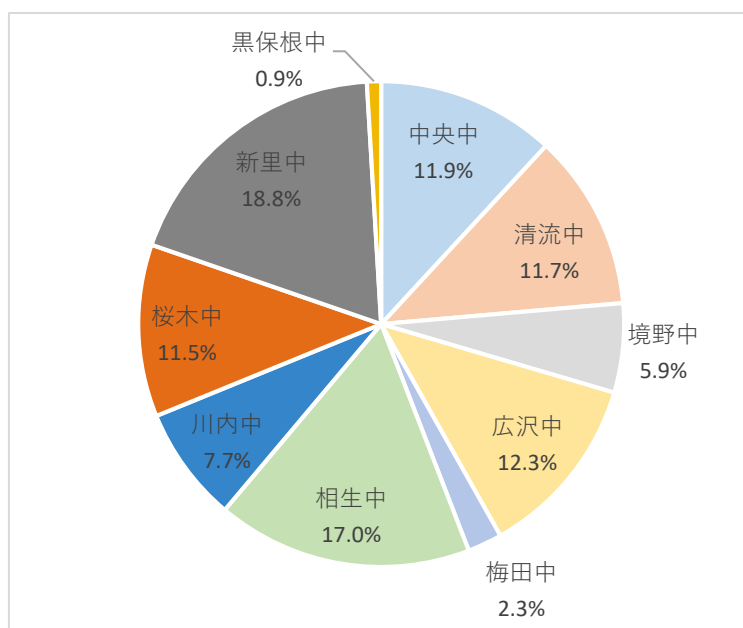
- ・友達だった人がちがうクラスになったのでたくさん話ができない。
 - ・学校の先生ほぼみんないや。
 - ・人数が多くてクラスがまとまらない。
 - ・クラブ、委員会、係の人数が決まっているから、自分が希望するところに入れない。
 - ・人数が多いため、みんなと協力ができる。
 - ・児童が多いため、仲良くなりやすい。
 - ・なんとも思っていない。
 - ・ちょうどよいが、もう少し人数が多いといい。
 - ・児童の数が多いので、たくさん友だちができる。
 - ・静かにしない人が多い。
 - ・大親友の子と1～5年生までクラスが一緒になったことがなくて毎年残念です。
 - ・発言ができる人と苦手な人を公平に分けた方がよいと思う。
 - ・別に何も思っていない（分からない）。
 - ・今のクラスで大丈夫です。みんなと仲がいいので。
 - ・1学級だからみんなクラスが同じで一緒に入れるからちょうどいい。
 - ・足が全員早いから追いつけない。
 - ・このままでも楽しい。
 - ・人数が少ないから、ずっと同じだからみんなと仲良くなれる。
 - ・人が多いといじめなどが起きる。クラス替えするとみんなと離れちゃう。
 - ・昼休みにいろんな人と遊んでいるから楽しいし、運動会も人数は少ないけど十分に楽しい。
-
- ・ほかの学校より少し少ないけど、楽しいからよい。
 - ・クラス替えが無いからクラスの人たちと仲良くできていてうれしい。
 - ・人見知りがあるから。人数が多いと騒がしいから。人混みが苦手だから。
 - ・人が多いと騒がしいから。
 - ・にぎやかさが苦手だから。人混みが苦手だから。
 - ・人数が多いのが嫌だから。

生徒（中学校2年生）集計結果

問1 あなたが通っている中学校の名前を選んでください。（1つ選択）

（単回答）

学校名	回答数	割合
中央中	88	11.9%
清流中	87	11.7%
境野中	44	5.9%
広沢中	91	12.3%
梅田中	17	2.3%
相生中	126	17.0%
川内中	57	7.7%
桜木中	85	11.5%
新里中	139	18.8%
黒保根中	7	0.9%
回答者総数	741	100.0%

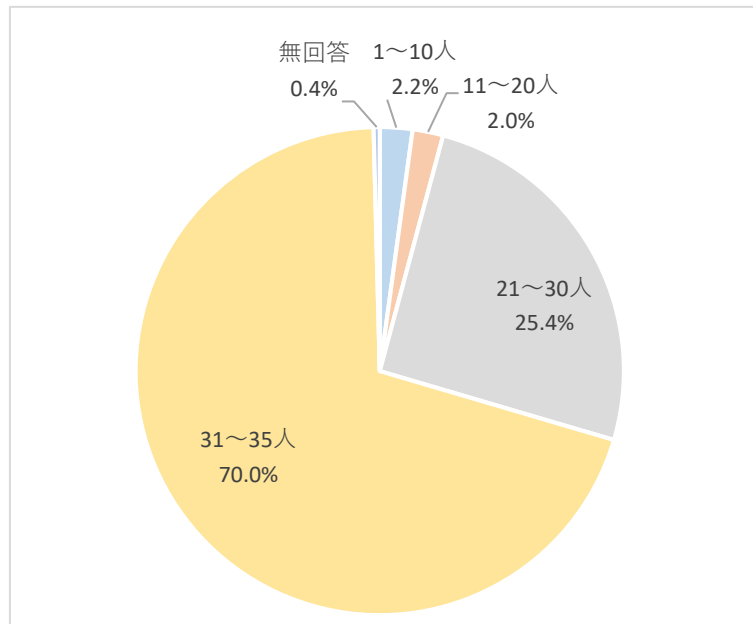


問2 あなたのクラスには何人の生徒がいますか。(1つ選択)

1学級の人数については、「31～35人」の割合が最も高く(70.0%)、次いで「21～30人」(25.4%)となっている。

(単回答)

選択肢	回答数	割合
1～10人	16	2.2%
11～20人	15	2.0%
21～30人	188	25.4%
31～35人	519	70.0%
無回答	3	0.4%
回答者総数	741	100.0%

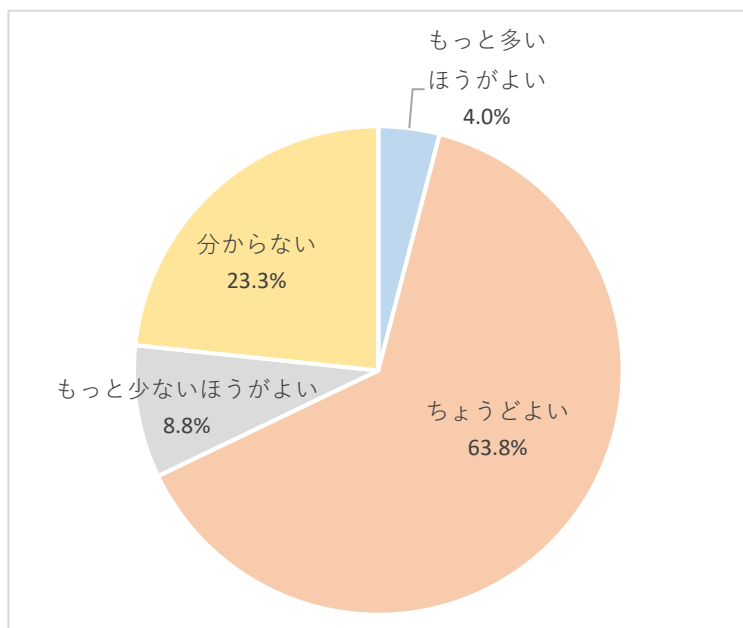


問3 あなたのクラスの人数を、あなたはどのように思っていますか。(1つ選択)

1学級の人数の印象については、「ちょうどよい」の割合が最も高く(63.8%)、次いで「分からない」(23.3%)となっている。

(単回答)

選択肢	回答数	割合
もっと多いほうがよい	30	4.0%
ちょうどよい	473	63.8%
もっと少ないほうがよい	65	8.8%
分からない	173	23.3%
無回答	0	0.0%
回答者総数	741	100.0%

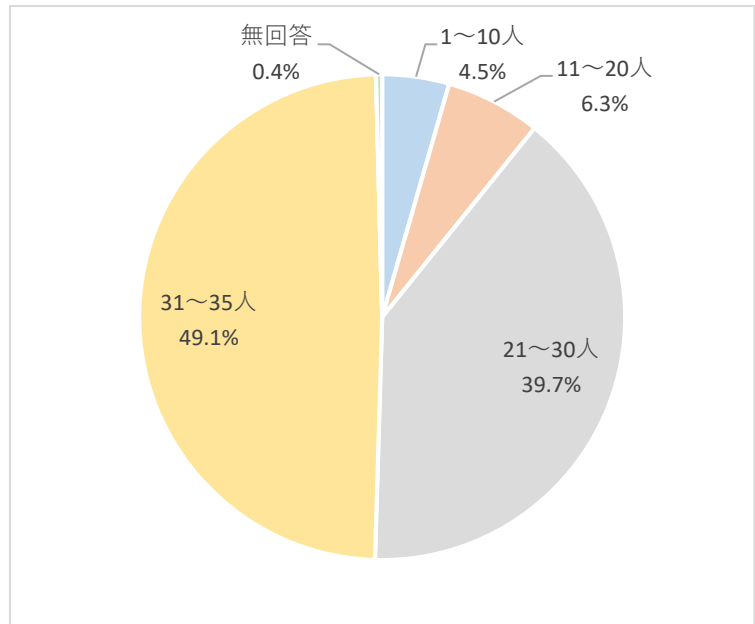


問4 クラスの人数が何人であればよいと考えますか。(1つ選択)

1学級の理想的な人数については、「31～35人」の割合が最も高く(49.1%)、次いで「21～30人」(39.7%)となっている。

(単回答)

選択肢	回答数	割合
1～10人	33	4.5%
11～20人	47	6.3%
21～30人	294	39.7%
31～35人	364	49.1%
分からない	0	0.0%
無回答	3	0.4%
回答者総数	741	100.0%

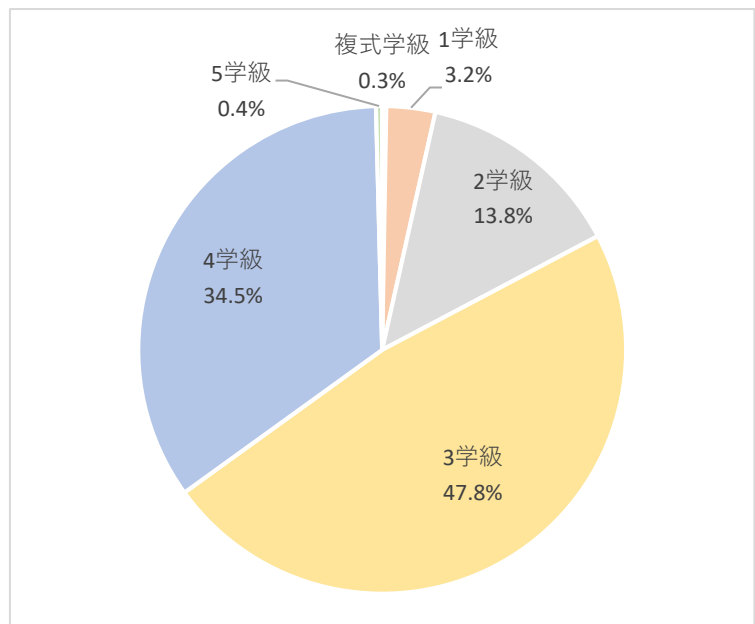


問5 あなたの学年には、クラスがいくつありますか。(1つ選択)

1学年の学級数については、「3学級」の割合が最も高く(47.8%)、次いで「4学級」(34.5%)、「2学級」(13.8%)となっている。

(単回答)

選択肢	回答数	割合
複式学級	2	0.3%
1学級	24	3.2%
2学級	102	13.8%
3学級	354	47.8%
4学級	256	34.5%
5学級	3	0.4%
6学級以上	0	0.0%
無回答	0	0.0%
回答者総数	741	100.0%

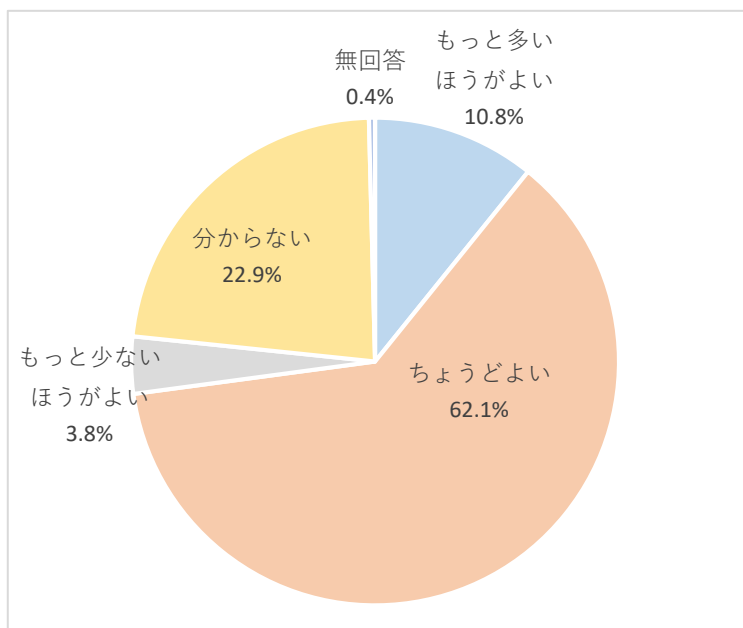


問6 学年のクラス数について、どのように感じていますか。(1つ選択)

1学年の学級数の印象については、「ちょうどよい」の割合が最も高く(62.1%)、次いで「分からない」(22.9%)、「もっと多いほうがよい」(10.8%)となっている。

(単回答)

選択肢	回答数	割合
もっと多いほうがよい	80	10.8%
ちょうどよい	460	62.1%
もっと少ないほうがよい	28	3.8%
分からない	170	22.9%
無回答	3	0.4%
回答者総数	741	100.0%

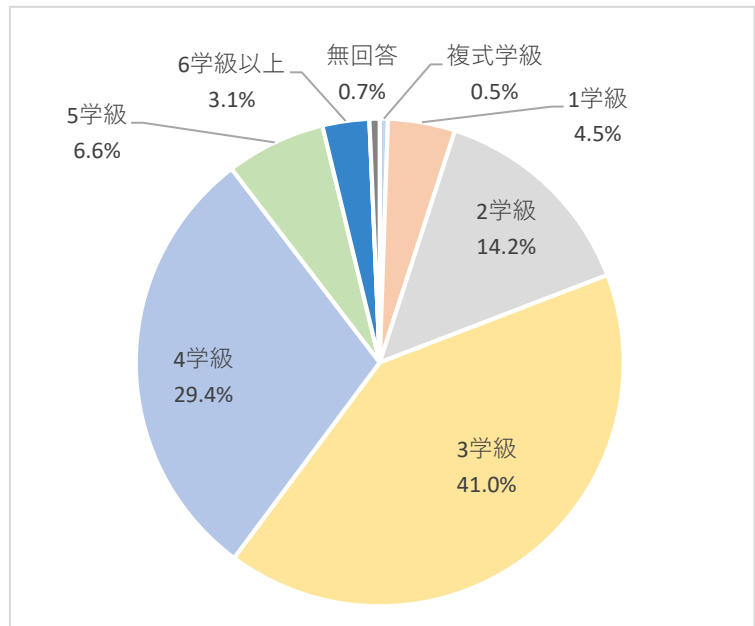


問7 学年のクラス数がいくつあればちょうどよいと考えますか。(1つ選択)

1学年の理想的な学級数については、「3学級」の割合が最も高く(41.0%)、次いで「4学級」(29.4%)、「2学級」(14.2%)となっている。

(単回答)

選択肢	回答数	割合
複式学級	4	0.5%
1学級	33	4.5%
2学級	105	14.2%
3学級	304	41.0%
4学級	218	29.4%
5学級	49	6.6%
6学級以上	23	3.1%
分からない	0	0.0%
無回答	5	0.7%
回答者総数	741	100.0%



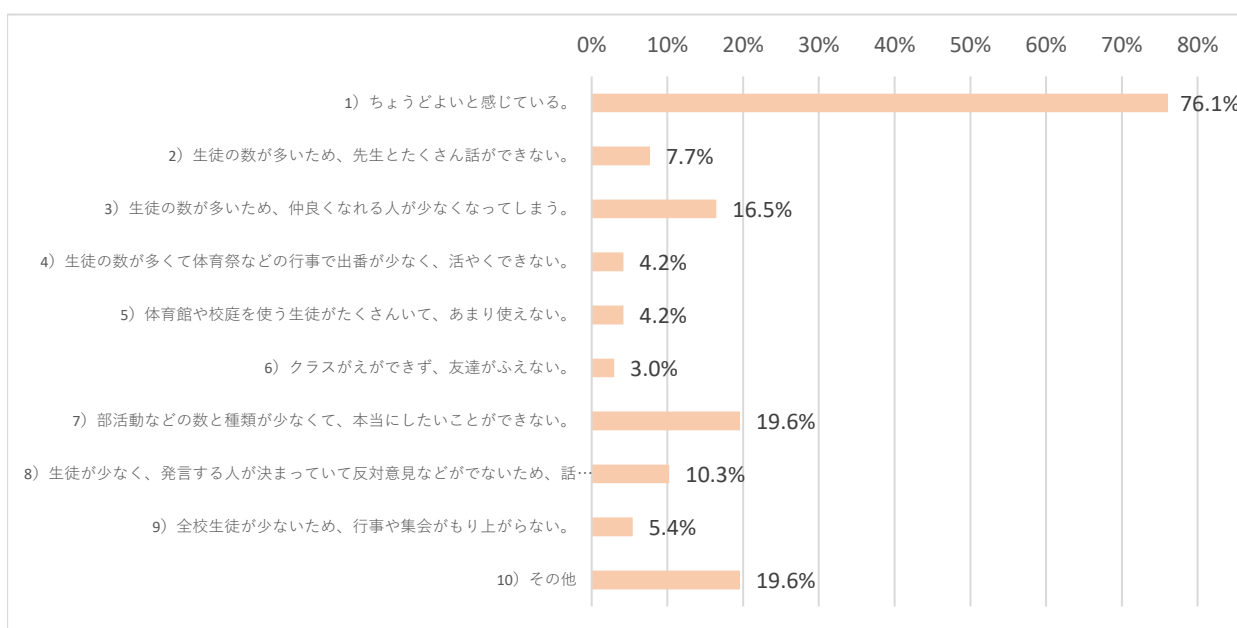
問8 学級の生徒数や学年のクラス数について、感じていることはどれですか。

(あてはまるもの上位2つ選択)

1学級の人数や1学年の学級数の印象については、「ちょうどよいと感じている。」の割合が最も高く(76.1%)、次いで「部活動の数と種類が少なく、本当にしたいことができない。」(19.6%)、「生徒の数が多いため、仲のよくなれる人が少なくなってしまう。」(16.5%)となっている。

(複数回答)

選択肢	回答数	割合
1) ちょうどよいと感じている。	564	76.1%
2) 生徒の数が多いため、先生とたくさん話ができない。	57	7.7%
3) 生徒の数が多いため、仲良くなれる人が少なくなってしまう。	122	16.5%
4) 生徒の数が多くて体育祭などの行事で出番が少なく、活やくできない。	31	4.2%
5) 体育館や校庭を使う生徒がたくさんいて、あまり使えない。	31	4.2%
6) クラスがえができず、友達がふえない。	22	3.0%
7) 部活動などの数と種類が少なく、本当にしたいことができない。	145	19.6%
8) 生徒が少なく、発言する人が決まっていて反対意見などがでないため、話し合いが活発にならない。	76	10.3%
9) 全校生徒が少ないため、行事や集会がもり上がらない。	40	5.4%
10) その他	145	19.6%
回答総数		1,233



○その他意見

【問8】 その他

- ・特に感じていない。最後の物になぜ2つ選ばなければならないのかわからない。
- ・ちょうどいいと思います。
- ・人数がちょうどよくてご飯のじゃんけんが平等。
- ・ちょうどいい感じです。
- ・ちょうど良い。
- ・特に何も感じていない。
- ・ちょうどいいけどうるさい。
- ・変な発言している人がいて、授業に集中できない。
- ・元気で明るいクラス。先生と気軽に話せる。
- ・人数がちょうどいいから班活動がよくできる。
- ・桐生市にも受験をして入れる公立中学校を作ったほうがいいと思う。学校で1学年5人くらいの「トップ校」をねらえるクラスをつくといいと思う。
- ・生徒の数が多いため、名前が分からない人もいる。
- ・部活動の部員が少ない。
- ・一つのクラスの中に学力の違う人が多くいて、ここでレベルに合った勉強ができない。
- ・何も感じていません。
- ・3学級あり、多くの友達と仲良くできる。
- ・部活動であまりいい練習ができない。(せまい)
- ・生徒の数が多いため、友達がたくさんできる。
- ・いつでも明るい子とあまり人と話せない人の間に壁ができていると思う。
- ・クラス内での席替えが似ている結果になってしまう。
- ・1学級の生徒が多いため、教室でも一人一人の距離が近すぎる。
- ・クラスの数と生徒の数がちょうどいいと思う。
- ・生徒の数が多いため、いろんな人と交流ができる。
- ・生徒の数が多くて仲良くなれる人が増えていい。
- ・今の時期で給食などの協力などができる。仲良くなりやすい。少ないため。
- ・生徒の数が少ないため、みんなと仲良くできる。
- ・すぐ泣く女子とか多すぎるから男子多めがいい。
- ・人が少ないので仲良くなる人も少ない。
- ・ちょうどよいと感じている。
- ・学年の人数が多いため、友達や関わる人が多い。人数が多いため、行事がとても盛り上がって楽しい。
- ・小学校・中学校と一緒に学校生活を送っていても一度も同じクラスにならない子がいて、会話ができない。
- ・生徒が少なく仲良くなれる友だちがあまりいない。
- ・少し学級の生徒数が多いので、発言がしにくい。
- ・人数が多いため、クラス内、廊下が少しうるさい。
- ・全部ちょうどよくてとてもいごこちがいい。
- ・3クラスだから、2クラス合同体育で、1クラスはそのクラスだけの体育になってしまう。

- ・少し人数が多いため、騒がしい時がある。
- ・人数が多いため、たくさん友だちができてよい。
- ・生徒が多いので、友達がいっぱいできて仲間が増える。
- ・ベストだと思います。
- ・仲良い人もほどよくつくれていい。
- ・生徒数が多いため、いろいろな人と仲良くなれる。
- ・クラスが4学級あるので、クラス替えで友達があまりかぶらない。(人数が多い)
- ・楽しい。
- ・ちょうどいい。
- ・体育祭が盛り上がる。
- ・ちょうどいい人数、クラスの数だと思う。
- ・何も感じない。それならそれで。
- ・何も思っていない。(わからない)
- ・何も不満もない。普通。
- ・人数が多くて一気に仲良くなれる人数がたくさんいてよい。
- ・部活動の設備が悪くてしたいことができない。
- ・とても楽しい。
- ・頭(成績)の良い人が意見を出さないからつまらない。
- ・人数が多いから盛り上がるけれど、うるさくなってしまう。
- ・ちょうどいい人数のため、友達が作りやすい。
- ・道が混雑する。
- ・それなりに学校に来るのが楽しい。
- ・今のクラス数や人数はちょうどいいし、楽しい。
- ・特にないが、3クラスほどクラスがあればもっと体育祭など勝負感があって楽しいかと思う。
- ・友達がたくさん作れる。
- ・なんとも思っていない。
- ・人数が多いと雑音が聞こえてストレスがたまる。
- ・クラスの数をもっと多いのがいいです。
- ・体育館が狭い。もっと大きくしてほしい。
- ・部活の種類が少ない。
- ・生徒数は少なすぎないが、発言する人はだいたい決まっている。
- ・部活の人数が少なくて、したい練習ができない。
- ・2年連続で前同じだった人とクラスになることが多い。
- ・今のままでも十分ちょうどいいと思います。
- ・もっと一人ひとりと仲良くなりたい。
- ・人数はいますが、みんなあんまり話さない。話し合いのときなどに。
- ・何も思っていない。(わからない)
- ・多いため、元気で楽しい。
- ・人数が多いので、にぎやかで楽しい。
- ・ちょうどいい人数だから、みんな仲良くなれていい。
- ・にぎやか。

- ・いろいろな人と仲良くなれるからいい。
- ・もっとみんなと仲良くなれるし、レクも楽しい。
- ・考えたことがなかったのでわからない。
- ・ちょうどよく不安がないため。
- ・1クラス1クラス全て個性が強くあるけど、いつも一クラスだけうるさいクラスがある。
- ・生徒数が多くて話しづらい。
- ・人が多くて、いろいろな人に話しかけられてめんどうくさい。
- ・一クラスの人数がもうちょっと多い方がいい。
- ・いろいろな人がいるからたくさん話ができる。
- ・人数が多くてすごく楽しい。
- ・ちょうどいい。友だちもできる。
- ・クラスの人数が多いため、意見がまとまらない。クラスのまとまりがない。
- ・よくわからない。
- ・特に考えたこともない。
- ・自分と仲の良い人がたくさんいるため、その子たち同士でグループ（結びつき）ができ、自分が孤立することがある。
- ・生徒が多く発言する人が決まっている。
- ・人数が多いと意見が合う、共感ができる人が増える。
- ・何もないと自分は感じている。
- ・友達の接し方が分からない。